

口腔外科 Oral and Maxillofacial Surgery

1. 所属構成員等

教 授 小林隆太郎
准 教 授 足立 雅利, 石垣 佳希, 荘司 洋文
講 師 藤城 建樹, 山下 憲昭, 吉田 和正
助 教 岡村 尚, 猪俣 徹, 北詰 栄里, 武田 宗矩
非常勤歯科医師 阪本 まり, 嶋田真由美, 丹野 咲貴, 南郷 孝徳, 松野 翠,
麻生 真希, 飯田 昌志, 結城百合子, 小林早紀子, 谷野 明
臨床准教授 林 健博, 荻野 靖人, 増淵 達夫, 石田 勝大
臨床講師 岩重 洋介, 勝山 直彦, 柿崎 真一, 河津 徳敏, 岩田 親子,
新井 康仁, 小笠原健文, 鈴木 茂, 長谷川 功

2. 研究テーマ

- 1) 口腔がんの診断と治療成績の向上および患者の QOL を支える Improvement of diagnosis and treatment grades for oral cancer and supportment for QOL of the oral cancer patients.
- 2) 有病者に対するリスクマネジメント Risk management for medically compromised patient.
- 3) 金属アレルギー患者の診断ならびに治療法に関する研究 Studies on the diagnosis and treatment of patients with metal allergy.
- 4) 顎矯正手術における骨片固定材料に関する臨床的検討 Clinical evaluation of osteosynthesis used in orthognathic surgery.
- 5) CN0 舌癌に対する予防的頸部郭清術の前向き観察研究 Prospective study of prophylactic neck dissection for CN0 tongue cancer.
- 6) 疫学調査「口腔がん」登録 Epidemiological survey “Oral cancer” registration.
- 7) 唾液腺癌に対する TS-1 補助化学療法の有効性に関する研究 Studies on effectiveness of TS-1 adjuvant chemotherapy for salivary gland cancer.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (新規), 平成 29~31 年度, アルツハイマー病三次元病態モデルの構築とヒト歯髄幹細胞を用いた新規治療法の開発,

肖 黎 (代表), 岡村 尚 (分担), 4,680,000 円, 平成 29 年度 1,300,000 円。

8. 研究業績

A. 著 書

- 1) 石垣佳希 (編集委員): 一般社団法人日本有病者歯科医療学会 (編), 今井 裕, 岩渕博史 (監修), 小笠原正, 近藤壽郎, 坂下英明, 佐野公人, 柴原孝彦, 渋谷 鑛, 白川正順, 高井良招, 富永和宏 (編集委員), 有病者歯科学, 永末書店, 京都, 2017, ISBN : 978-4-8160-1335-5.
 - 2) 石垣佳希 (分担執筆): 第 2 章 患者の診察 3. 有病者 (小児・妊婦を含む) 理解に必要な各種検査 2) 生体機能検査 (検体検査は除く) (9) 皮膚検査 (有病者の病態把握に必要なもののみ), 63-64, 一般社団法人日本有病者歯科医療学会 (編), 今井 裕, 岩渕博史 (監修), 有病者歯科学, 永末書店, 京都, 2017, ISBN : 978-4-8160-1335-5.
 - 3) 石垣佳希 (分担執筆): 第 2 章 患者の診察 5. 薬物の有害作用による口腔症状 1) 多形 (滲出性) 紅斑, 101-102, 一般社団法人日本有病者歯科医療学会 (編), 今井 裕, 岩渕博史 (監修), 有病者歯科学, 永末書店, 京都, 2017, ISBN : 978-4-8160-1335-5.
 - 4) 石垣佳希 (分担執筆): 第 2 章 患者の診察 5. 薬物の有害作用による口腔症状 2) 歯肉肥厚 (歯肉増殖), 102, 一般社団法人日本有病者歯科医療学会 (編), 今井 裕, 岩渕博史 (監修), 有病者歯科学, 永末書店, 京都, 2017, ISBN : 978-4-8160-1335-5.
 - 5) 石垣佳希 (分担執筆): 第 2 章 患者の診察 5. 薬物の有害作用による口腔症状 3) 唾液分泌量減少, 唾液分泌量増加, 103-104, 一般社団法人日本有病者歯科医療学会 (編), 今井 裕, 岩渕博史 (監修), 有病者歯科学, 永末書店, 京都, 2017, ISBN : 978-4-8160-1335-5.
 - 6) 石垣佳希 (分担執筆): 第 2 章 患者の診察 5. 薬物の有害作用による口腔症状 4) 味覚異常, 104-107, 一般社団法人日本有病者歯科医療学会 (編), 今井 裕, 岩渕博史 (監修), 有病者歯科学, 永末書店, 京都, 2017, ISBN : 978-4-8160-1335-5.
 - 7) 石垣佳希 (分担執筆): 第 4 章 患者管理の各論 (歯科治療上配慮すべき点) 1. 全身管理に留意すべき疾患と歯科治療上必要な対応や留意点 13) 乳幼児, 193-196, 一般社団法人日本有病者歯科医療学会 (編), 今井 裕, 岩渕博史 (監修), 有病者歯科学, 永末書店, 京都, 2017, ISBN : 978-4-8160-1335-5.
2. 石垣佳希 (分担執筆): ①抜歯 有病高齢者への対応, Chapter.1 巻頭アトラス 10 年先を見据えて 口腔外科医療のパラダイムシフト 特集 2 高齢者に対する歯科・口腔外科治療の“かんどころ” 高齢者に対する治療の実際, 74-79, 日本口腔外科学会 (編), 一般臨床家, 口腔外科医のための口腔外科ハンドマニュアル'17, クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2017, ISBN : 978-4-7812-0570-0.
 3. 小林隆太郎 (共著): 歯科診療行為のタイムスタディー調査, 1-110, 小林隆太郎, 内川喜盛, 小木曾文内, 木下淳博, 佐藤裕二, 新田 浩, 小野沢真一, 日本歯科医学会, 東京, 2017.
 4. 小林隆太郎 (分担執筆): 新歯科医療機器・歯科医療技術産業ビジョン, 46-47, 小林隆太郎, 住友雅人, 堀 憲郎, 田上順次, 園田秀一, 歯科医療技術革新推進協議会, 東京, 2017.

B. 原 著

1. Nagao T, Fukuta J, Seto K, Saigo Y, Hanioka T, Kurita K, Ishigaki Y (16th) and others (23 authors), on behalf of the Tobacco Cessation Intervention Study for Oral Diseases (TISOD) : A national opinion study supports tobacco cessation by oral health professionals in Japan, ○Translational Research

- in Oral Oncology, 2017 ; 2 : 1-8, doi : 10.1177/2057178X17710416.
2. 石垣佳希, 安藤文人, 小林清佳, 北 大樹, 大津光寛, 三代冬彦, 内川喜盛 : 日本歯科大学附属病院における時間外受診患者の臨床統計的観察, ○日歯医療管誌, 2017 ; 52 (2) : 115-119.
Ishigaki Y, Ando F, Kobayashi S, Kita D, Ootsu M, Mishiro F : Clinico-statistical Observation of after-hours consultation patients at The Nippon Dental University Hospital, ○Jpn. J. Dent. Prac. Admin., 2017 ; 52 (2) : 115-119.
 3. 白川正順, 小笠原健文, 石垣佳希, 川村浩樹, 嶋田 淳 : 7年2ヶ月間経過観察し得た歯科用金属による掌蹠膿疱症の1例, ○日メタルフリー誌, 2017 ; 2 (1) : 3-12.
Shirakawa M, Ogasawara T, Ishigaki Y, Kawamura H, Shimada J : A case of 7 years follow-up observation of palmoplantar pustulosis caused by dental metal, ○Japanese Journal of Metal-Free Dentistry, 2017 ; 2 (1) : 3-12.
 4. 鈴木雅之, 石垣佳希, 小笠原健文, 春山秀遠, 白川正順 : 抜歯即時1ピースHAインプラント植立と同時にいったUFMPの臨床応用例, ○日先進インプラント医療会誌, 2017 ; 8 (1) : 51-55.
Suzuki M, Ishigaki Y, Ohgasawara T, Haruyama H, Shirakawa M : Clinical application of UFMP with simultaneous placement of one-piece HA implant immediately after tooth extraction, ○Jpn. J. Adv. Imp. Med. Admin., 2017 ; 8 (1) : 51-55.
 5. 猪俣 徹, 伏見千宙, 菅野千敬, 黒坂正生, 吉田和正, 荘司洋文 : 甲状腺転移をきたした下顎歯肉紡錘細胞癌の1例, ○日口外誌, 2018 ; 64 (3) : 170-174.
Inomata T, Fushimi C, Kanno C, Kurosaka M, Yoshida K, Shoji H : A case of spindle cell carcinoma of the mandibular gingiva with thyroid metastasis, ○Jpn. J. Oral Maxillofac. Surg., 2018 ; 64 (3) : 170-174.
 6. Xiao L, Ide R, Saiki C, Kumazawa Y, Okamura H : Human Dental Pulp Cells Differentiate toward Neuronal Cells and Promote Neuroregeneration in Adult Organotypic Hippocampal Slices In Vitro, ◎☆ Int. J. Mol. Sci., 2017 ; 11 : 18 (8) : pii : E1745, doi : 10.3390/ijms18081745.
 7. 石井マイケル大宜, 村樫悦子, 五十嵐(武内)寛子, 荘司洋文, 沼部幸博 : LPS刺激下ヒト歯肉線維芽細胞に対するα-リポ酸事前添加による炎症性サイトカイン産生抑制効果の検討, ○日歯周誌, 2017 ; 59 (1), 28-38, doi : 10.2329/periodo.59.28.
Ishii H M, Murakashi E, Igarashi-Takeuchi H, Shoji H, Numabe Y : Alpha-Lipoic Acid inhibits NF-κ B signal transduced inflammatory cytokines secretion in LPS-induced Human Gingival Fibroblasts, ○J. Jpn. Socie. Periodontol., 2017 ; 59 (1) : 28-38, doi : 10.2329/periodo.59.28.

C. 総説・解説

1. 長尾 徹, 佐藤泰則, 柴原孝彦, 石垣佳希, 楠川仁悟, 依田哲也 : 本学会員の非喫煙化, ○日口外誌, 63 (10) : 478-489, 2017, doi : 10.5794/jjoms.63.478.

D. 報告(臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 小林隆太郎(分担執筆) : 900号特集 歯科に関わる診療報酬・介護報酬の改定を考える 診療報酬改定における日本歯科医学会の役割—とりわけ歯科医療協議会の活動について, 小林隆太郎, 住友雅人, 日本歯科評論, 77 (10) : 59-64, 2017.
2. 荘司洋文 : 智歯抜歯における大量出血への対応, デンタルダイヤモンド, 41 (9) : 130-131, 2016. (2016年度記載漏れ)
3. 猪俣 徹 : 舌がん術後に低GI・低GL経腸栄養製品で血糖コントロールを行い順調に経口摂取

に移行し得た 1 例, GV Case Report, vol. 3 (211) : 2018.

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 石垣佳希, 吉田和正, 川村浩樹, 五島順子 : 歯科金属アレルギー疑い症例の臨床診断とパッチテスト結果の検討, 日本口腔科学会雑誌, 66 : 94, 2017.
2. 石垣佳希, 安藤文人, 小林清佳, 北 大樹, 大津光寛, 三代冬彦, 内川喜盛 : 日本歯科大学附属病院における時間外受診患者の臨床統計的観察, 日本歯科医療管理学会雑誌, 52 (1) : 40, 2017.
3. 吉田和正, 荘司洋文, 石垣佳希, 白川正順, 滝口昌親, 松村東栄 : 頬粘膜内に迷入したインプラント体摘出の 1 例, 22nd Anniversary Scientific Meeting of WCOI Japan Division in 2017 プログラム, 12, 2017.
4. 結城百合子, 石垣佳希, 吉田和正, 北詰栄里, 丹野咲希, 麻生真希, 小谷田貴之, 阿部恵一, 中村仁也, 森本恵子, 砂田勝久 : Landau-Kleffner 症候群患者の全身麻酔下での抜歯経験, 第 27 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会抄録集, 146, 2018.
5. 松野 翠, 足立雅利, 荘司洋文 : Tongue split の再縫合の経験, 第 62 回日本口腔外科学会総会プログラム・抄録集, 282, 2017.
6. 猪俣 徹, 荘司洋文, 北詰栄里, 岡村 尚, 柳下寿郎, 岡部貞夫, 黒崎弘正 : 異時性に発生し, 早期に副咽頭間隙へ進展した T1 下顎歯肉癌症例, 頭頸部癌, 43 (2) : 228, 2017.
7. 猪俣 徹, 荘司洋文, 田中淳平, 米野貴彦, 北詰栄里, 岡村 尚, 辺見卓男, 出雲俊之, 岡部貞夫, 柳下寿郎, 黒崎弘正 : 当科における頭頸部腫瘍への IMRT による治療経験, 第 36 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 プログラム・抄録集, 177, 2018.
8. 藤城建樹, 荘司洋文, 小林隆太郎 : Hemicconvulsion-Hemiplegia-Syndrome を有した著しい下顎前突症患者の 1 例, 第 27 回日本顎変形症学会総会 (有明) プログラム・抄録号, 162, 2017.
9. 浅野一成, 荘司洋文, 藤城建樹, 柳下寿郎, 井出吉昭, 中原 貫, 松野智宣 : 下顎犬歯と癒着し, 口腔内に露出した複雑性歯牙腫の 1 例, 第 62 回日本口腔科学会総会 (京都) プログラム・抄録号, 216, 2017.
10. 阪本まり, 荘司洋文, 武田宗矩, 岡村 尚, 吉田和正, 藤城建樹 : 私たちが行っている Le Fort I 型骨切り術における上顎骨位置決めについて, 第 62 回日本口腔科学会総会 (京都) プログラム・抄録号, 351, 2017.
11. 結城百合子, 荘司洋文, 猪俣 徹, 岡村 尚, 吉田和正, 山口昌彦, 柳下寿郎 : 腺腫様歯原性腫瘍に関連して埋伏していた後継永久歯を温存し歯列完成させた 1 例, 日本口腔外科学会雑誌, 63 (S), 2017.
12. 辺見卓男, 飯田昌志, 北詰栄里, 荘司洋文, 岩田 洋, 添野雄一, 出雲俊之, 蛭田啓之, 柳下寿郎 : 舌下面部粘膜下病変, 第 28 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 62 (C - 6), 2017.
13. 辺見卓男, 荘司洋文, 飯田昌志, 北詰栄里, 岩田 洋, 林 宗廣, 添野雄一, 出雲俊之, 岡部貞夫, 蛭田啓之, 柳下寿郎 : 舌下面部に生じた血管内筋膜炎の一例, 平成 29 年度日本歯科大学歯学会第 4 回ウィンターミーティングプログラム・抄録集, 12, 2017.
14. 米野貴彦, 荘司洋文, 南郷孝徳, 北詰栄里, 猪俣 徹, 辺見卓男, 岡部貞夫, 柳下寿郎 : 特異

な頸部リンパ節後発転移を示した T1 舌癌の 1 例：予防的頸部郭清術の新たな適応条件の提唱，第 36 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集，31，2018.

15. 辺見卓男，北詰栄里，猪俣 徹，岡村 尚，荘司洋文，出雲俊之，岡部貞夫，柳下寿郎：舌扁平上皮癌における「WPOI-5」陽性症例の臨床病理学的検討，第 36 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集，40，2018.
16. Yanai C, Matuno M, Aso M, Shoji H, Henmi T, Yagishita H : Oral Spindle Cell Lipoma Occurring In The Retromolar Region : An Usual Location of Oral Lipomatous Neoplasm, 24th Congress of European Association for Cranio Maxillo Facial Surgery, 2018.

G. 講 演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 石垣佳希：「処置、手術に関連したその他の有害事象」，「安心してください」と言える障害者歯科診療，第 34 回（一社）日本障害者歯科学会総会および学術大会，シンポジウム，福岡市，2017 年 10 月 29 日.
2. 足立雅利：EBM の本流，システマティックレビューと診療ガイドラインを読みこなす，第 36 回日本口腔腫瘍学会総会，ワークショップ，新潟県新潟市，2018 年 1 月 26 日.
3. 吉田和正：若手口腔外科医向け小外科基本手術手技（抜歯からインプラントまで）—トラブルを事前に回避するためのコツ—，第 62 回日本口腔外科学会総会・学術大会，ミニレクチャー，京都府，2017 年 10 月 20 日.
4. 荘司洋文：よくわかる肩甲骨筋上頸部郭清術：基本手技と要点，第 62 回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会ビデオレクチャー，京都市，2017 年 10 月 20 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 石垣佳希：偶発症に対する緊急時の対応・医療事故，（一社）日本有病者歯科医療学会・（一社）静岡県歯科医師会共催，（公社）日本歯科医師会・日本歯科医学会後援スキルアップセミナー，静岡県浜松市，2017 年 4 月 9 日.
2. 石垣佳希：AED の使用法，睡眠時無呼吸症候群における歯科的アプローチ，平成 29 年度 東京都歯科医師会卒後研修，東京都千代田区，2017 年 7 月 6 日.
3. 石垣佳希：マウスガード実習，Let's Try Sports Mouse Guard—〇〇選手が来院しても大丈夫—，平成 29 年度 東京都歯科医師会卒後研修，東京都千代田区，2017 年 8 月 24 日.
4. 石垣佳希：緊急時の対応・医療事故，（一社）日本有病者歯科医療学会・（公社）茨城県歯科医師会共催，（公社）日本歯科医師会・日本歯科医学会後援スキルアップセミナー，茨城県水戸市，2017 年 9 月 3 日.
5. 石垣佳希：出血傾向を示す患者の抜歯における止血方法，（一社）日本有病者歯科医療学会・（一社）愛知県歯科医師会共催，（公社）日本歯科医師会・日本歯科医学会後援スキルアップセミナー，愛知県名古屋市，2017 年 11 月 12 日.
6. 石垣佳希：歯科における対応事例グループワーク，（公社）日本歯科医師会医療事故調査制度研修会，東京都千代田区，2018 年 1 月 21 日.
7. 石垣佳希：有病者歯科医療のワンポイントセミナー，（一社）日本有病者歯科医療学会専門認定医講習会，東京都千代田区，2018 年 2 月 18 日.
8. 石垣佳希：リスク管理・緊急時の対応，NPO 日本アジア健康科学支援機構主催，歯科医師による歯科医師・歯科医療従事者のための摂食嚥下セミナーアドバンスコース，東京都千代田区，

2018年2月25日.

9. 小林隆太郎：色からみる口腔粘膜病変，日本歯科大学臨床研修歯科医特別講演会、千代田区，2017年4月18日.
10. 小林隆太郎：口腔がんを見落とさない，一関歯科医師会学術講演会，岩手県一関（2017年10月26日），葛飾区歯科医師会学術講演会，葛飾区（2018年2月28日）.
11. 小林隆太郎：食べる，生きる，老いる，東京都診療報酬支払基金特別講演会，豊島区，2017年11月7日.
12. 小林隆太郎：すぐわかる「色と形からみる口腔粘膜病変」，山武郡市開始会学術講演会，千葉県山武郡，2017年11月30日.
13. 小林隆太郎：平成30年度診療報酬改定までの流れ，江戸川区歯科医師会講演会，江戸川区，2018年1月31日.
14. 荘司洋文：もっと知ってほしい口の中の健康～口腔ケアから口腔がんまで～，東亜建設工業株式会社健康増進セミナー，新宿区，2017年10月6日.
15. 荘司洋文：高齢者に処方される内服薬と歯科診療について，小平市歯科医師会，小平市，2017年10月28日.
16. 荘司洋文：日本歯科大学附属病院口腔外科の現状について，日本歯科大学口腔外科同門会学術講演会，千代田区，2018年3月21日.
17. 荘司洋文：日本歯科大学附属病院葉の細胞バンク外来について，歯の細胞バンク認定医講習会，東京，第11回（2017年11月19日），第12回（2017年12月3日）.
18. 吉田和正：すぐに役立つ日常臨床のコツ，平成29年度日本歯科大学校友会豊島支部学術講演会，東京，2017年11月2日.
19. 吉田和正：切開と縫合の実習と講義，（一社）日本有病者歯科医療学会・（一社）愛知県歯科医師会共催（公社）日本歯科医師会・日本歯科医学会後援スキルアップセミナー，愛知県名古屋市，2017年11月12日.
20. 吉田和正：若手口腔外科医向け小外科基本手術手技（抜歯からインプラントまで）ートラブルを事前に回避するためのコツー，モリタ学術セミナー，東京，2017年12月14日.
21. 猪俣 徹：口腔癌患者の摂食嚥下障害，口腔癌術後機能研究会，品川区，2017年12月9日.
22. 足立雅利：口腔粘膜病変の見かた，日本歯科大学京橋校友会総会，東京，2017年12月8日.
23. 浅野一成，荘司洋文，藤城建樹，柳下寿郎，井出吉昭，松野智宣：口腔内に露出した複雑性歯牙腫の1例，日本歯科大学臨床発表会，新潟，2017年6月3日.
24. 浅井まどか，岩田 洋，林 宗廣，浅海利恵子，丹野咲貴，荘司洋文，柳下寿郎，代居 敬：歯原性粘液繊維腫の一例，日本歯科放射線学会第22回臨床画像大会，盛岡，2017年11月10日.
25. 岩田 洋，林 宗廣，荘司洋文，阪本まり，南郷孝徳，柳下寿郎：膿原性肉芽腫の一例，日本歯科放射線学会第226回関東地方会，大宮，2018年1月20日.
26. 米野貴彦，荘司洋文，南郷孝徳，北詰栄里，猪俣 徹，辺見卓男，岡部貞夫，柳下寿郎：頸部リンパ節後発転移が特異な進展を示した T1 舌腺扁平上皮癌の1例，第275回関東地区口腔腫瘍集談会，東京，2017年11月7日.
27. 中原 貴，豊村順子，大山晃弘，石川 博，佐藤英明，吉田和正，荘司洋文：日本歯科大学・セントラルクリニック歯の細胞バンクの現状と将来展望2017，平成29年度日本歯科大学歯学会第4回ウィンターミーティング，東京，2017年12月9日.
28. 中原 貴，豊村順子，大山晃弘，石川 博，佐藤英明，吉田和正，荘司洋文：日本歯科大学・セントラルクリニック歯の細胞バンクの現状と将来展望2018，日本歯科大学校友会学術フォー

ラム 2018, 東京, 2018 年 2 月 25 日.

小児歯科 Pediatric Dentistry

1. 所属構成員等

教 授 内川 喜盛
准 教 授 白瀬 敏臣
講 師 梅津糸由子, 楊 秀慶, 村松 健司, 山崎てるみ
助 教 波多野宏美, 松崎 祐樹, 新見 嘉邦
臨 床 助 手 芦澤みなみ, 亀岡 亮, 宮山 友紀, 高橋 紗耶, 卷 竜也,
林 (吉田) 陽佳, 甲田彩理沙
臨 床 教 授 小方 清和, 上原 正美, 倉治 七重
臨 床 講 師 浜地 宏哉, 辻 裕子, 大出リエ子, 荻原 栄和, 鈴木 淳子,
三井 園子, 三宅 真帆, 黒田 暁洋
レ ジ デ ン ト 西村 歩 (アドバンス), 萩原 岳, 松尾 恭子, 山井 綾子

2. 研究テーマ

- 1) 小児の唾液中フッ化物がミュータンス連鎖球菌に及ぼす影響 Influence of fluoride in saliva on mutans streptococci in children.
- 2) 唾液中における低濃度フッ化物イオンの動態について Changes in the salivary fluoride concentration after adding low-concentrated Fluoride.
- 3) 頭蓋顎顔面の先天奇形症候群における特徴とその対応について Feature and management of patients with craniofacial anomalies.
- 4) 乳前歯ならびに永久前歯の外傷に関する研究 Dental traumatology for primary and permanent incisors.
- 5) 障害児における歯科治療時の対応法に対する保護者の認識 Desire of caretakers of disabled individuals for behavior management techniques.
- 6) 摂食嚥下機能障害児・者に対して用いた可撤式装置の有効性 Effect of removal type appliance for dysphagia.
- 7) 被虐待小児の臨床調査 Clinical studies of abused children.
- 8) 抗てんかん薬の歯肉増殖に対する影響 The effect of antiepileptic drugs on gingival overgrowth.
- 9) 口唇圧と顔貌の関連 Relationship with Facial Profile and lip Pressure

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (継続), 平成 27~30 年度, 幼児の唾液中フッ化物イオンの至適濃度とそのコントロール法の検討, 内川喜盛 (代表), 4,810,000 円, 平成 29 年度 1,300,000 円.
- 2) 株式会社松風, 委託研究 (新規), 平成 29 年度, 口唇圧と歯列形態ならびに口腔容積との関連について, 楊 秀慶 (代表), 松崎祐樹 (分担), 巻 竜也 (分担), 萩原 岳 (分担), 422,000 円.
- 3) 千代田区助成金 千代田学 (新規), 平成 29 年 4 月 1 日~平成 30 年 3 月 31 日, ようこそ日本・千代田区へ! おもてなしの歯科診療視覚的説明用タブレット実用化, 山崎てるみ (代表), 内川喜盛 (分担), 白瀬敏臣 (分担), 梅津糸由子 (分担), 松崎祐樹 (分担), 亀岡 亮 (分担), 甲田彩理沙 (分担), 吉田陽佳 (分担), 342,000 円.

8. 研究業績

A. 著 書

1. 内川喜盛 (共著): 歯科診療行為のタイムスタディー調査, 1-110, 小林隆太郎, 小木曾文内, 木下淳博, 佐藤裕二, 新田 浩, 小野沢真一, 日本歯科医学会, 東京, 2017.

B. 原 著

1. 石垣佳希, 安藤文人, 小林清佳, 北 大樹, 大津光寛, 三代冬彦, 内川喜盛: 日本歯科大学附属病院における時間外受診患者の臨床統計的観察, ○日歯医療管理誌, 2017 ; 52 (2) : 115-119.
Ishigaki Y, Ando F, Kobayashi S, Kita D, Ootsu M, Mishiro F, Uchikawa Y: Clinico-statistical Observation of After-hours Consultation Patients at The Nippon Dental University Hospital, ○Jpn. J. Dent. Prac. Admin., 2017 ; 52 (2) : 115-119.
2. Yamazaki T, Kameoka R, Shionoya Y, Matsuzaki Y, Ide Y, Uchikawa Y: A submerged tooth possibly caused by biting on a tracheal tube in hospital due to cerebral hemorrhage in childhood, ◎Int. J. Orofacial Myology, 2017 ; 43 : 47-59.
3. 高橋紗耶, 白瀬敏臣, 梅津糸由子, 新見嘉邦, 山崎てるみ, 内川喜盛: 歯科大学附属病院小児歯科における口腔軟組織疾患を主訴とした初診患者の実態調査, ○小児歯誌, 2018 ; 56 (1) : 42-49.
Takahashi S, Shirase T, Umezumi Y, Niimi Y, Yamazaki T, Uchikawa Y: Factual Survey of First-time Patients Treated for Oral Mucosa Disease at University Hospital Pediatric Dentistry Department, ○The Japanese Journal of Pediatric Dentistry, 2018 ; 56 (1) : 42-49.

C. 総説・解説

1. 白瀬敏臣, 松崎祐樹, 内川喜盛: 症例と対応 歯髄から考える小児の歯の外傷—変色した乳歯の治療は必要か?—, 歯学, 105 (秋季特集号) : 22-30, 2017.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 白瀬敏臣, 内川喜盛: 小児の外傷歯の生理的固定法, 小児歯科臨床, 22 (7) : 68-72, 2017.
2. 白瀬敏臣, 高橋紗耶, 内川喜盛: Obturation Gutta®を用いた病的歯根吸収を認める乳歯の暫間保存, 小児歯科臨床, 22 (8) : 66-70, 2017.
3. 西村 歩, 白瀬敏臣, 松崎祐樹, 北村和夫, 内川喜盛: 歯根未完成下顎第二小臼歯の歯髄処置後の変化を精査確認し対応した 1 例, 小児歯誌, 56 (1) : 73-80, 2018.
4. 青柳ひとみ, 野村明美, 白瀬敏臣: 歯科衛生士のしごと in 小児歯科 子どもの口腔機能を育む

低年齢児に対して歯科衛生士が早期より介入指導した一例, 小児歯科臨床, 23 (2) : 98-101, 2018.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載学会講演抄録

1. 石垣佳希, 安藤文人, 小林清佳, 北 大樹, 大津光寛, 三代冬彦, 内川喜盛: 日本歯科大学附属病院における時間外受診患者の臨床統計的観察, 日本歯科医療管理学会雑誌, 52 (1) : 40, 2017.
2. 吉田陽佳, 山崎てるみ, 芦澤みなみ, 梅津糸由子, 白瀬敏臣, 内川喜盛: パズルを応用して Prader-Willi 症候群患児の口腔衛生習慣確立に取り組んだ 1 例, 日本口腔ケア学会雑誌, 11 (3) : 115, 2017.
3. 芦澤みなみ, 久保田一見, 亀岡 亮, 大出リエ子, 内川喜盛: 骨形成不全症患者に対して歯科的管理を行った 2 例, 小児歯誌, 55 (2) : 223, 2017.
4. 高橋紗耶, 白瀬敏臣, 村松健司, 上原正美, 黒田暁洋, 甲田彩理沙, 梅津糸由子, 内川喜盛: 下顎乳臼歯を Obturation Gutta で暫間保存し永久歯を萌出誘導した 3 例, 小児歯誌, 55 (2) : 230, 2017.
5. 西村 歩, 梅津糸由子, 芦澤みなみ, 荻原栄和, 三井園子, 白瀬敏臣, 内川喜盛: 外胚葉異形成症による部分無歯症の患児に対し早期から介入し歯科的管理を行った 1 例, 小児歯誌, 55 (2) : 247, 2017.
6. 亀岡 亮, 山崎てるみ, 新見嘉邦, 鈴木淳子, 吉田陽佳, 三宅真帆, 白瀬敏臣, 内川喜盛: 歯科用 CT から見る病態が異なる低位乳歯, 小児歯誌, 55 (2) : 255, 2017.
7. 巻 竜也, 楊 秀慶, 松崎祐樹, 辻 裕子, 浜地宏哉, 村松健司, 白瀬敏臣: 小児歯科能動的学習プログラムに対する臨床実習生の評価, 小児歯科学雑誌, 55 (2) : 378, 2017.
8. Yoh H, Yoshida H, Matsuzaki Y, Shirase T, Uchikawa Y, Okamura H, Karibe H : Semi-rigid Splint Method for Severe Dental Trauma, Int. Dent. J., 67 (Suppl. 1) : 358, 2017.
9. 宮坂孝弘, 内川喜盛ほか: チーム基盤型学習法 (TBL) を活用した活用した禁煙支援教育への取り組み, 第 36 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 134, 2017.
10. 鈴木 恵, 内川喜盛ほか: 日本歯科大学東京短期大学におけるコミュニケーション学の効果と問題点, 第 36 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 133, 2017.
11. 八若保孝, 内川喜盛: 日本小児歯科学会主催 CBT 問題作成ワークショップの実施, 第 36 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 151, 2017.
12. 金子 治, 須藤豊哉, 小林 颯, 佐野裕士, 花島直樹, 澁谷英介, 白瀬敏臣, 内川喜盛: 当歯科衛生センターにおける障がい者歯科担当医の意識調査, 障害歯誌, 38 : 281, 2017.
13. 上田 豊, 横田祐司, 猪俣英理, 石渡氏利幸, 船田淳子, 毛利 徹, 前田 亮, 市川敬一, 佐藤和義, 梅津糸由子, 山崎てるみ, 野本たかと, 湊 耕一: 当センターにおける摂食機能療法 システムの立ち上げ, 障害歯誌, 38 (3) : 355, 2017.
14. 新見嘉邦, 梅津糸由子, 村松健司, 鈴木淳子, 山崎てるみ, 松崎祐樹, 安田麻子, 酒井有沙, 砂田勝久, 菊谷 武: 当クリニックにおける全身麻酔下で歯科治療を行った患者の実態調査, 障歯誌, 38 : 398, 2017.
15. 野杵明美, 山崎てるみ, 楊 秀慶, 松崎祐樹, 青柳ひとみ, 上石恵里, 小林邦枝: 3 面ブラシの導入によって口腔衛生習慣が改善された 3 例, 障歯誌, 38 : 440, 2017.
16. 内川喜盛, 朝田芳信, 井上雄温, 高野博子: 平成 28 年度社会保険診療報酬改定に関するアンケート

ト調査結果について, 小児歯誌, 56 (1) : 104, 2018.

17. 梅津糸由子, 白瀬敏臣, 内川喜盛 : 附属病院小児歯科における新人研修小児患者への歯科的対応について, 小児歯誌, 56 (1) : 114, 2018.
18. Uchikawa Y, Yamazaki T, Shirase T : Predicting caries in preschool children using salivary mutans streptococci, Int. Dent. J., 67 (Suppl. 1) : 113, 2017.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 新見嘉邦, 梅津糸由子, 西村 歩, 白瀬敏臣, 内川喜盛 : 外肺葉異形成症による部分無歯症の患児に対し早期から介入し歯科的管理を行った一例, 平成 29 年度日本歯科大学臨床発表会, 新潟, 2017 年 6 月 3 日.
2. 山崎てるみ : 子供のお口の中、どの位知ってますか? 目指せ 8020 始めの一步, 平成 29 年度歯科保健関係指導者講習会, 山梨県立文学館, 山梨県甲府市, 2017 年 8 月 9 日.
3. 内川喜盛 : 乳幼児から考える学校歯科保健活動～0 歳から 20 歳になるまで継続的な口腔保健支援を目指して～, 東京都学校歯科医会ブロック学校歯科医研修会, 東京都品川区 (2017 年 9 月 7 日), 東京都北区 (2017 年 10 月 12 日), 東京都国立市 (2017 年 11 月 30 日).
4. 高橋紗耶, 白瀬敏臣, 梅津糸由子, 内川喜盛 : 下顎乳臼歯を Obturation Gutta®で暫間保存し永久歯を萌出誘導した 2 例, 平成 29 年度歯学会学内口頭発表会, 東京, 2017 年 9 月 15 日.
5. 内川喜盛 : 小児う蝕とミュータンスレンサ球菌との関係について, 横浜臨床小児歯科座談会, 神奈川県横浜市, 2017 年 10 月 5 日.
6. 梅津糸由子 : 患者さんにやさしい齲蝕予防, 第 4 回日本成人矯正歯科学会認定矯正歯科衛生士・第 6 回歯並びコーディネーターブラッシュアップセミナー, 東京, 2017 年 11 月 9 日.
7. 村松健司 : 外傷歯に対する簡便かつ適切な固定方法, 東京都日本歯科大学校友会世田谷支部学術講演会, 東京都世田谷区, 2017 年 11 月 14 日.
8. 山崎てるみ, 林 陽佳 : 親子で歯ッピータイム ～歯みがきは楽しい!～ 毎日の歯みがき 苦労していませんか?, 練馬区豊玉保健相談所, 東京都練馬区, 2017 年 11 月 27 日.
9. 内川喜盛 : きれいな歯で健やかな成長を —お子様の歯を守るために知っていただきたいこと—, 日本女子大学附属豊明小学校歯科講演会, 東京都豊島区, 2018 年 1 月 19 日.
10. 内川喜盛 : 東京都大田区大森歯科医師会学校保育園歯科委員会, つなげよう乳幼児からの学校歯科保健活動, 東京都大田区, 2018 年 1 月 24 日.
11. 白瀬敏臣 : 小児の歯の外傷 その 2 —小児患者を診る際のちょっとした工夫—, 荒川区学校歯科医会学術講演会, 東京都荒川区, 2018 年 2 月 28 日.
12. 山崎てるみ : 日本歯科大学附属病院における障がい者歯科診療と地域連携, 足立区歯科医師会, 東京都足立区, 2018 年 3 月 15 日.

矯正歯科 Orthodontics

1. 所属構成員等

教 授 小森 成
准 教 授 後藤 尚昭, 小林さくら子, 宇塚 聡, 安藤 文人
講 師 宮下 渉, 岩崎由香利, 内田 裕子
助 教 片岡 彩乃, 吉田 陽子, 大塚絵里佳, 吉屋 慶章
非常勤歯科医師 土持 宇, 植木健次郎, 小池みずき, 鈴木みすず, 渡邊 尚子
非常勤准教授 宮脇 剛司, 井口 暁
非常勤講師 小林 慶介, 杉山 晶二, 上保 基, 渡邊 浩幸, 島田 達雄,
玉田 一敬, 田村 彰英, 箕浦 雄介, 仲谷 豊, 篠崎 圭太,
安藤 稔, 今野 喜文, 藤田由希子

2. 研究テーマ

- 1) 矯正材料の開発および研究 Research and development of orthodontic materials.
- 2) 口唇・口蓋裂の治療に関する集学的アプローチ Interdisciplinary approach to cleft lip and palate.
- 3) 歯科医学教育シミュレーションシステムの開発に関する研究 Development of simulation systems for dental education.
- 4) 現代人モンゴル人と日本人の正常咬合者の比較 Comparison of dental models in modern Mongolian and Japanese with normal occlusion.
- 5) 歯列弓・歯槽基底弓の三次元的分析 Three-dimensional morphometric analysis of dental and basal arch form.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 第10回日本健康医療学会記念大会, 東京, 2017年9月17-18日, 佐藤元彦.

6. 国際交流状況

- 1) アリゾナ大学との共同研究. 「不正咬合者における顎関節の形態的評価」(新規) 2017.

7. 外部・学内研究費

- 1) 平成29年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金), 基盤研究(C)(継続), 平成26~30年度, 小児における睡眠時無呼吸症の病態解明へ向けた臨床的検証, 小森 成(代表), 三ツ林裕己(分担), 大津光寛(分担), 宇塚 聡(分担), 4,160,000円, 平成29年度 1,040,000円.

8. 研究業績

A. 著書

1. 後藤尚昭 (共著) : 矯正歯科治療とは, 矯正歯科技工学の意義と目的, 正常咬合と不正咬合, 矯正歯科治療の進め方, 矯正歯科技工の手技, 矯正用口腔模型の制作, 矯正治療の必要条件と分類, 矯正装置の制作法, 保定装置, 1-88, 全国歯科技工士教育協議会 (編), 最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2018, ISBN : 978-4-263-43169-6.

B. 原著

1. Miyashita W, Komori A, Takemoto K : KommonBase - A precise direct bonding system for labial fixed appliances, ©Int. Orthod., 2017 ; 15 (3) : 452-466, doi : 10.1016/j.ortho.2017.06.025.
2. 小池みづき, 宇塚 聡, 吉田陽子, 宮下 渉, 小森 成 : 骨格性下顎後退症の顎矯正手術前後による舌骨位置と気道形態の変化についての検討, ○日本頭蓋顎顔面外科学会誌, 2017 ; 33 (2) : 45-51.
Koike M, Uzuka S, Yoshida Y, Miyashita W, Komori A : Evaluation of Hyoid Bone Position and Pharyngeal Airway Morphology Changes after Orthognathic Surgery for Mandibular Retrusion, ○Journal of the Japan Society of Cranio-Maxillo-Facial Surgery, 2017 ; 33 (2) : 45-51.
3. 宇塚 聡, 早川まい, 坂梨公亮, 黒木みすず, 渡邊尚子, 小池みづき, 宮下 渉, 岩崎由香利 : 下顎骨に限定した異なる顎矯正手術が咽頭部形態与える影響の差異について, ○日本健康医療学会雑誌, 2017 ; 5 (2) : 21-27.
Uzuka S, Hayakawa M, Sakanashi K, Kuroki M, Watanabe N, Koike M, Miyashita W, Iwasaki Y : The differences among different corrective jaw surgeries limited to the mandible on pharyngeal morphology, ○J. Jpn. Soc. Med. Health Sci., 2017 ; 5 (2) : 21-27.
4. 石垣佳希, 安藤文人, 小林清佳, 北 大樹, 大津光寛, 三代冬彦, 内川喜盛 : 日本歯科大学附属病院における時間外受診患者の臨床統計的観察, ○日歯医療管理, 2017 ; 52 (2) : 115-119.
Ishigaki Y, Akdo F, Kobayashi S, Kita D, Ootsu M, Mishiro F, Uchikawa Y : Clinico-statistical Observation of After-hours Consultation Patients at The Nippon Dental University Hospital, ○Jpn. J. Dent. Prac. Admin., 2017 ; 52 (2) : 115-119.
5. 早乙女美緒, 宮下 渉, 佐藤瑤子, 小森 成 : スマイル時の上顎前歯と歯肉の露出量に影響を与える因子, ○東京矯歯誌, 2017 ; 27 (2) : 85-91.
Saotome M, Miyashita W, Sato Y, Komori A : Factors affecting the display of upper incisors and gingiva when smiling, ○J. Tokyo Orthod. Soc., 2017 ; 27 (2) : 85-91.
6. 藤巻 良, 水谷匡佑, 大塚絵里佳, 片岡綾乃, 小森 成 : 下顎第三大臼歯の自然萌出に影響を及ぼす要因の検討, ○東京矯歯誌, 2017 ; 27 (2) : 92-99.
Fujimaki R, Mizutani K, Otsuka E, Kataoka A, Komori A : Evaluation of factors influencing spontaneous eruption of lower third molars, ○J. Tokyo Orthod. Soc., 2017 ; 27 (2) : 92-99.

C. 総説・解説

1. 小森 成 : Class II 早期治療の今日的解釈—その患者説明は正しいか?—, 北海道矯正歯科学会雑誌, 2017 ; 45 : 19-28.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 宇塚 聡 : 「空隙歯列の改善」 (Longevity に繋がる LOT 活用術 8月号), Dental Diamond, 42 (8) :

- 74-85, 2017.
2. 宇塚 聡:「埋伏歯の牽引」(Longevity に繋がる LOT 活用術 10 月号), Dental Diamond, 42 (10) : 72-77, 2017.
 3. 宇塚 聡:「アライナー型矯正装置とインターディプリナリーアプローチの実際」(Longevity に繋がる LOT 活用術 12 月号), Dental Diamond, 42 (12) : 66-73, 2017.
 4. 宮下 渉: 歯周病患者における咬合再構成, Dental Diamond, 42 (15) : 88-91, 2017.
 5. 高村佳子, 宇塚 聡, 小森 成: 前歯部開咬を伴う Angle Class III 症例, Orthod Waves-Jpn. Ed., 76 (2) : 130-135, 2017.
 6. 佐藤 巖, 代居 敬, 沼部幸博, 関野 愉, 倉治竜太郎, 小森 成: 日常臨床における基礎・診断・治療をあらためてとらえる一歯周・矯正・画像診断・解剖からみた重要ポイントと活用一, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 2017 ; 43 (2) : 43-50.
 7. Uzuka S, Chae JM, Tai K, Tsuchimochi T, Park JH : Adult gummy smile correction with temporary skeletal anchorage devices, J. World Fed. Orthod., 7 : 34-46, 2018.
 8. 宇塚 聡:「Longevity に繋がる LOT 活用法」年間エディター (全 12 回), Dental Diamond, デンタルダイヤモンド社, 2017.
 9. 宇塚 聡:「ロボットと人間の共同生活に関するドキュメンタリー映画」, Kloos & Co. Medien (ドイツのドキュメンタリー制作会社), 2017.10.16 撮影. (映画公表未定)

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 石垣佳希, 安藤文人, 小林清佳, 北 大樹, 大津光寛, 三代冬彦, 内川喜盛: 日本歯科大学附属病院における時間外受診患者の臨床統計的観察, 日歯医療管理誌, 52 (1) : 40, 2017.
2. 吉屋慶章, 宇塚 聡, 小森 成: 歯列空隙と下顎両側第一大臼歯欠損を伴う骨格性下顎前突症の 1 症例, 第 27 回日本顎変形症学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 27 (2) : 129, 2017.
3. 宇塚 聡, 黒木みすず, 水谷匡佑: 下顎前歯の先天欠如を伴う上下顎叢生症例, 第 10 回日本健康医療学会記念大会 (東京)・抄録集, 11 : 64, 2017.
4. 小林さくら子, 片岡彩乃, 吉屋慶章, 小森 成, 塩谷翔太, 新井一仁: 矯正歯科における症例検討会に対する参加者の意識調査, 第 36 回日本歯科医学教育学会学術大会プログラム・抄録集, 33 (3) : 147, 2017.
5. 宮坂孝弘, 北原和樹, 小林さくら子, 菊池憲一郎, 新谷明一, 柴田 潔, 佐藤 勉, 内川喜盛, 大津光寛, 小川智久, 筒井健夫, 沼部幸博, 羽村 章: チーム基盤型学習法 (TBL) を活用した禁煙支援教育への取り組み, 第 36 回日本歯科医学教育学会学術大会プログラム・抄録集, 134, 2017.
6. 水谷匡佑, 渡邊尚子, 宇塚 聡: 軽度叢生を伴う骨格性下顎前突症例, 第 10 回日本健康医療学会記念大会 (東京)・抄録集, 11 : 65, 2017.
7. 藤巻 良, 早乙女美緒, 大塚絵里佳, 水谷匡佑, 小森 成: 下顎第三大臼歯の自然萌出に影響する因子について, 東京矯歯誌, 27 (2) : 145, 2017.
8. 安藤文人, 小林みなみ: 矯正歯科における歯科衛生士の役割, 日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 76 : 125, 2017.
9. 早川まい, 宇塚 聡, 鈴木みすず, 渡邊尚子, 小池みづき, 坂梨公亮, 宮下 渉, 岩崎由香利,

- 小森 成：下顎骨に限定した顎矯正手術前後の咽頭部形態の変化についての検討，第 76 回日本矯正歯科学会大会（札幌）プログラム・抄録集，34：154，2017.
10. 水谷匡佑，内田裕子，小森 成：歯冠修復歯と健全歯におけるブラケット脱落率のランダム化比較試験による評価，第 76 回日本矯正歯科学会大会誌，50：154，2017.
 11. 大塚絵里佳，宇塚 聡，宮下 渉，岩崎由香利，内田裕子，片岡彩乃，吉田陽子，吉屋慶章，小森 成：日本歯科大学附属病院卒後研修修了者の矯正歯科臨床実績に関する調査，第 76 回日本矯正歯科学会大会（札幌）プログラム・抄録集，50：221，2017.
 12. 吉田陽子，宮下 渉，水谷匡佑，岩崎由香利，小森 成，宇塚 聡：日本歯科大学附属病院矯正歯科における緊急来院の実態調査，第 76 回日本矯正歯科学会大会（札幌）プログラム・抄録集，50：224，2017.
 13. 水谷匡佑，宇塚 聡，小森 成：動的処置終了後に上顎右側第一大臼歯の抜歯が必要となった骨格性下顎前突症の 1 症例，平成 29 年度日本歯科大学臨床発表会（新潟）プログラム・抄録集，54：259，2017.
 14. 早川まい，吉屋慶章，小森 成，宮脇剛司，積山真也，梅田 剛，波田野智架：永久歯列期から咬合管理を始めた片側性唇顎口蓋裂を伴う反対咬合の 1 症例，第 35 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会プログラム・抄録集，152，2017.
 15. 佐藤瑤子，水谷匡佑，土持 宇，宮下 渉，宇塚 聡：歯科矯正用アンカースクリューを用いてガミースマイルと 2 歯の先天性欠如に対処した一例，第 4 回歯学会ウィンターミーティング（東京），20-21，2017.
 16. 水谷匡佑，佐藤瑤子，柳井智恵，小森 成，宇塚 聡：歯槽骨吸収した下顎前歯先天欠如部へ矯正治療による歯牙移植を行った 1 症例，第 4 回歯学会ウィンターミーティング（東京），5，2017.
 17. Sakanashi K, Uzuka S, Yoshida Y, Iwasaki Y, Komori A : Verification of physiological effect of oral appliance therapy in OSA, CDE-IADR/NOF Oral Health Research Congress Abstract book, 83, 2017.
 18. Yoshida Y, Uzuka S, Miyashita W, Mizutani K, Komori A : Investigation of the duration of orthodontic treatment at the NDUH, CED-IADR/NOF Oral Health Research Congress Abstract book, 137, 2017.
 19. Uchida Y, Uzuka S, Yoshida Y, Otsuka E, Miyashita W, Iwasaki Y, Mizutani K, Komori A : Inter-examiner bias in the assessment of a postgraduate orthodontics program, CED-IADR/NOF Oral Health Research Congress Abstract book, 158, 2017.
 20. Otsuka E, Uzuka S, Uchida Y, Yoshida Y, Miyashita W, Kataoka A, Mizutani K, Komori A : Investigation into course after postgraduate orthodontics program completion at NDUH, CED-IADR/NOF Oral Health Research Congress Abstract book, 158-159, 2017.
 21. Uzuka S, Koike M, Suzuki M, Watanabe N, Sakanashi K, Yoshida Y, Miyashita W, Iwasaki Y, Komori A : Hyoid bone and pharyngeal airway changes after mandibular advancement surgery, CED-IADR/NOF Oral Health Research Congress Abstract book, 165, 2017.
 22. 安藤文人，内川喜盛，宗村 治，山田 幸，岩崎てるみ，宮下 渉，塩谷伊毅，高橋賢晃，林 宗廣，田村 智，佐々木善朗，鈴木洋一，宇多美穂，大西小雪，三代冬彦：歯科大学病院の医療連携についての歯科診療所を対象としたアンケート調査結果，大学病院情報マネジメント部門連絡会議，平成 28 年度抄録集，32，2017.
 23. 佐藤瑤子，早乙女美緒，宮下 渉，小森 成：口唇裂患者のスマイル時における口唇の動態，日本口蓋裂学会雑誌，42（2）：162，2017.
 24. 梅田 剛，積山真也，宮脇剛司，内田裕子，宮下 渉，小森 成：Le Fort III型骨切り術後に鉤状咬合を合併し歯科矯正治療を要した 1 例，第 35 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会プログラム・

抄録集, 149, 2017.

25. 原 節宏, 宇塚 聡, 宮下 渉, 秋山仁志, 三代冬彦, 羽村 章: 日本歯科大学における SIMROID の活用事例, ヒューマノイド歯科教育研究会第1回研究発表会抄録集, 10, 2017.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 小森 成: 転医に際しての返金指針及び臨床・疫学研究倫理審査委員会規定について, 第58回北海道矯正歯科学会総会・学術大会, 北海道, 2017年6月18日.
2. 小森 成: II級治療における期待と実際, 第58回北海道矯正歯科学会総会・学術大会, 北海道, 2017年6月18日.
3. Komori A: Materials and mechanics for logical practice, 7th Meeting of the World Society of Lingual Orthodontics, Bangkok, 2017.06.30.
4. Komori A: KommonBase for precision direct bonding and versatile usage, 30th Taiwan Association of Orthodontists Conference, Taipei, 2017.12.09.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. Mizutani K, Sakaguchi Y, Uchida Y, Komori A: A Prospective Randomized Clinical Trial: Bond Failure Rates with and without Prosthetic Treatment, 117th Annual Session of American Association of Orthodontists, San Diego, 2017.04.21-25.
2. Komori A, Uchida Y, Mizutani K: The king of laboratory study do not show the best survival: A randomized clinical trial of orthodontic adhesives, 117th Annual Session of American Association of Orthodontists, San Diego, 2017.04.21-25.
3. 小森 成: 睡眠時無呼吸症候群の歯科的側面 part 2, 東京都歯科医師会卒後研修, 東京, 2017年7月6日.
4. 小森 成: 歯が移動できる限界と可能性, 日本歯科大学校友会 平成29年度ポストグラデュエートコース, 東京, 2017年7月22日.
5. 小森 成: 早期治療のエビデンスと海外事情, 小児歯科医と一般歯科医のための矯正勉強会, 福岡, 2017年10月1日.
6. 宇塚 聡 (招待タスクフォース): 社団法人東京都歯科医師会卒後研修「平成28年度歯科医師臨床研修指導歯科医講習会」東京, 2018年2月26日.

歯科麻酔・全身管理科 Dental Anesthesia

1. 所属構成員等

教 授 三代 冬彦
准 教 授 中村 仁也
講 師 阿部 恵一, 今井 智明
助 教 小林 清佳, 小谷田貴之, 塩谷 伊毅, 笠間久美子, 安田 麻子
非常勤歯科医師 五井 貴大, 神賀 肇子, 小林 脩也, 中村 瑛史, 山本 麻貴
非常勤講師 新崎 裕一, 岡本 順孝, 鹿島 雅彦, 桑原 靖, 関 慎太郎,
西田 麻子, 森谷 健一, 平林 幹貴, 三井 陽介

2. 研究テーマ

- 1) 口腔内局所麻酔の用法に関する研究 The Study of the use of Dental Local Anesthesia.
- 2) インプラント手術における疼痛管理の臨床的検討 Clinical Study on Pain Control in Dental Implant Surgery.
- 3) 静脈内鎮静法の安全性向上に関する研究 The Study of Safety Measures for Intravenous Sedation.
- 4) 新歯科医学教育技法 A New Approach for Dental Education.
- 5) 口腔内知覚異常の新しい客観的評価法の開発とその臨床応用について Development and clinical application of objective evaluation on oral sensory paralysis.
- 6) 局所麻酔薬使用時の循環動態の変動に関する研究 The study of Human Circulatory Dynamics in the Dental Local Anesthesia.
- 7) 歯科治療のための全身麻酔における前投薬に関する研究 The Study of Premedication in General Anesthesia for Dental Treatment.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) The 10th Annual Meeting of the Federation of Asian Dental Anesthesiology Societies (Seoul, Korea, 2017.06.18), Best poster presentation award, Goi T, Shionoya Y, Sunada K, Nakamura K, One day general anesthesia of a child with glucose-6-phosphate dehydrogenase deficiency.

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著書

1. 中村仁也：(8) 腎機能検査，60-63，一般社団法人日本有病者歯科医療学会（編集），今井 裕，岩淵博史（監修），有病者歯科学，永末出版，東京，2018，ISBN：978-4-8160-1335-5.

B. 原著

1. 石垣佳希，安藤文人，小林清佳，北 大樹，大津光寛，三代冬彦，内川喜盛：日本歯科大学附属病院における時間外受診患者の臨床統計的観察，○日本歯科医療管理学会雑誌，2017；52（2）：115-119.
Ishigaki Y, Ando F, Kobayashi S, Kita D, Ootsu M, Mishiro F, Uchikawa Y: Clinico-statistical Observation of After-hours Consultation Patients at The Nippon Dental University Hospital, ○Jpn. J. Dent. Prac. Admin., 2017；52（2）：115-119.
2. Shionoya Y, Sunada K, Shigeno K, Nakada A, Honda M, Nakamura T: Can nerve regeneration on an artificial nerve conduit be enhanced by ethanol-induced cervical sympathetic ganglion block?, ☆PLoS One, 2017；12（12）：e0189297, doi：10.1371/journal.pone.0189297.
3. Yamazaki T, Kameoka R, Shionoya Y, Matsuzaki Y, Ide Y, Uchikawa Y: A submerged tooth possibly caused by biting on a tracheal tube in hospital due to cerebral hemorrhage in childhood, ◎Int. J. Orofacial Myology, 43：47-59, 2017.

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 笠間久美子，五井貴大，塩谷伊毅，今井智明，砂田勝久，中村仁也：線維筋痛症患者の抜歯にケタミン塩酸塩とジアゼパムを使用し全身管理を行った1症例，日本歯科麻酔学会雑誌，45（3）：346-348，2017.
2. 塩谷伊毅，中村瑛史，神賀肇子，五井貴大，小谷田貴之，砂田勝久，中村仁也：ペースメーカーを装着した多脾症候群患児の唾石摘出術に対する全身麻酔経験，日本歯科麻酔学会雑誌，46（1）：19-21，2017.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Goi T, Shionoya Y, Sunada K, Nakamura K: One day general anesthesia of a child with glucose-6-phosphate dehydrogenase deficiency, The 10th Annual Meeting of the Federation of Asian Dental Anesthesiology Societies (Seoul, Korea, 2017.06.18), Abstract book, 46, 2017.
2. 中村瑛史，山本麻貴，塩谷伊毅，中村仁也：知的障害を伴う高度肥満患者の全身麻酔下歯科治療におけるデスフルランの使用経験，第34回関東臨床歯科麻酔懇話会，平成29年度抄録集，14，2017.
3. 小谷田貴之，小林脩也，神賀肇子，小林清佳，阿部恵一，今井智明，三代冬彦，中村仁也：Landau-Kleffner 症候群患者の全身麻酔管理を経験した1症例，日本歯科麻酔学会雑誌，45（4）：549，

2017.

4. 小林邦枝, 上石恵里, 柳瀬菜木子, 西口はづき, 白井敦子, 野杵明美, 中村仁也, 塩谷伊毅, 砂田勝久: 日本歯科大学附属病院歯科麻酔・全身管理科における新人歯科衛生士に対する歯科麻酔研修の効果, 日本歯科麻酔学会雑誌, 45 (4) : 615, 2017.
5. 麻見千登世, 小林邦枝, 渡部裕子, 安藤真紀, 重井亜紀, 佐藤絵梨, 渋沢美雪, 熊田直子, 中村仁也, 砂田勝久: 日本歯科大学附属病院における日本歯科麻酔学会認定歯科衛生士に対する意識調査, 日本歯科麻酔学会雑誌, 45 (4) : 616, 2017.
6. 安田麻子, 山本麻貴, 中村瑛史, 五井貴大, 笠間久美子, 塩谷伊毅, 中村仁也: ロクロニウムが原因と思われるアナフィラキシー患者に対して, 筋弛緩薬を使用せずに気管挿管を行った症例, 日本歯科麻酔学会雑誌, 45 (4) : 622, 2017.
7. 石垣佳希, 安藤文人, 小林清佳, 北 大樹, 大津光寛, 三代冬彦, 内川喜盛: 日本歯科大学附属病院における時間外受診患者の臨床統計的観察, 日本歯科医療管理学会雑誌, 52 (1) : 40, 2017.
8. 原 節宏, 宇塚 聡, 宮下 渉, 秋山仁志, 三代冬彦, 羽村 章: 日本歯科大学における SIMROID[®] の活用事例, ヒューマノイド歯科教育研究会研究会第 1 回研究発表会プログラム・抄録集, 10, 2017.
9. 新見嘉邦, 梅津糸由子, 村松健司, 鈴木淳子, 山崎てるみ, 松崎祐樹, 安田麻子, 酒井有沙, 砂田勝久, 菊谷 武: 当クリニックにおける全身麻酔下で歯科治療を行った患者の実態調査, 障害者歯科学会雑誌, 38 (3) : 398, 2017.
10. 安田麻子, 今井智明, 北 大樹, 小林邦枝, 白井敦子, 塩谷伊毅, 小谷田貴之, 阿部恵一, 中村仁也: 心因性非てんかん性発作 (PNES) 患者の全身管理経験, 日本有病者歯科学会プログラム・抄録, 33, 2018.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 三代冬彦: 最近の歯科医療裁判事情, 東京都国保審査会研修会, 東京, 2017年5月18日.
2. 中村仁也: 第72回国民体育大会愛顔つなぐえひめ手国体2017国体セーリング競技監督会議, 事例から学ぶアンチドーピング, 愛媛県, 2017年9月30日.
3. 三代冬彦: 歯科医療裁判新制度の導入および再審査について, 新宿区歯科医師会平成29年度第1回保険講習会, 東京, 2017年10月26日.

歯科放射線口腔病理診断科

Division of Oral Diagnosis, Dental and Maxillofacial Radiology and Oral Pathology Diagnostic Services

1. 所属構成員等

教 授 柳下 寿郎, 代居 敬 (併任)
准 教 授 佐藤 健児 (併任), 河合 泰輔 (併任)
講 師 林 宗廣, 岩田 洋, 浅海利恵子 (併任)
助 教 辺見 卓男, 浅井まどか (併任)
客 員 教 授 岡部 貞夫, 出雲 俊之

2. 研究テーマ

- 1) 口腔粘膜上皮内癌の病理組織学的診断基準 Histopathological criteria for diagnosis of carcinoma in situ oral mucosa.
- 2) 扁平上皮癌における浸潤様式と予後との関連 Association with mode of invasion and prognosis in squamous cell carcinoma.
- 3) 口腔がんの診断と治療成績の向上および患者のQOLを支える Improvement of diagnosis and treatment grades for oral cancer, and supportment for QOL of the oral cancer patients.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) NPO 法人日本歯科放射線学会 第23回コンピュータ応用・画像情報研究会, 鹿児島県民交流センター・東棟4F小研修室第2 (鹿児島), 2017年6月2日, 主催者: 佐藤健児.
- 2) 全国公私立歯科大学 (歯学部) 歯科放射線担当者研修会, 穂高ビューホテル (長野県), 2017年8月25・26日, 主催者: 代居 敬, 金田 隆.

6. 国際交流状況

- 1) 河合泰輔が, 姉妹校である香港大学歯学部 (The Prince Philip Dental Hospital: 菲臘牙科医院) に Honorary Associate Professor として留学 (2017年8月~2018年2月) .
- 2) 河合泰輔が, スリランカのペラデニア大学訪問およびスリランカで開かれた香港大学 KE (Knowledge Exchange) プロジェクトに参加 (2018年2月) .

7. 外部・学内研究費

- 1) 学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (新規), 2017~2020年度, 岩田 洋 (代表), 井出吉昭 (分担), 中原 貴 (分担), 放射線による歯胚形成障害のメカニズムの解明~エナメル結節と周囲間葉の遺伝子動態, 4,680,000円, 2017年度 1,170,000円.
- 2) 学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (新規), 2016~2019年度, 歯科用コーンビーム CT の

患者線量推定プログラムの作成，佐藤健児（代表），浅海利恵子（分担），4,960,000 円，2017 年度 910,000 円。

- 3) 学術研究助成基金助成金，基盤研究（C）（継続），2015～2018 年度，相同モデル化理論を応用した歯列石膏模型のデータ化による個人識別法の開発，柳 文修（代表：岡山大学），河合泰輔（分担），3,900,000 円，2017 年度 650,000 円。

8. 研究業績

A. 著書

1. 出雲俊之（分担執筆）：6. 口腔粘膜の感染性疾患，109-126，高木 實 監修，高田 隆，豊澤 悟 編，口腔病理アトラス第3版，文光堂，東京，2018，ISBN：978-4-8306-7004-6.
2. 1) 代居 敬ほか（分担執筆）：顎骨に影響する全身疾患，365-378，岡野友宏ほか（編），歯科放射線学 第6版，医歯薬出版，東京，2018，ISBN：978-4-263-45812-9.
2) 代居 敬ほか（分担執筆）：歯科インプラントの検査，430-438，岡野友宏ほか（編），歯科放射線学 第6版，医歯薬出版，東京，2018，ISBN：978-4-263-45812-9.
- 3) 佐藤健児：放射線の量・単位，31-35，岡野友宏ほか（編），歯科放射線学 第6版，医歯薬出版，東京，2018，ISBN：978-4-263-45812-9.
- 4) 佐藤健児：付表1 放射線に関連する線量と単位，480-483，岡野友宏ほか（編），歯科放射線学 第6版，医歯薬出版，東京，2018，ISBN：978-4-263-45812-9.

B. 原著

1. 神垣友希乃，小倉 晋，岩田 洋，代居 敬：インプラントの経過観察におけるパノラマ X 線写真の有用性，○日本口腔診断学会雑誌，2017；30（2）：231-236，doi：10.15214/jsodom.30.231.
2. Michikawa C, Izumo T, Sumino J, Morita T, Ohyama Y, Michi Y, Uzawa N：Small size of metastatic lymph nodes with extracapsular spread greatly impacts treatment outcomes in oral squamous cell carcinoma patients，◎☆Int. J. Oral. Maxillofac. Surg.，2017；pii：S0901-5027（17）31724-1，doi：10.1016/j.ijom.2017.12.007. [Epub ahead of print]
3. Kawai T, Sato I, Asaumi R, Yosue T：Cone-beam computed tomography and anatomical observations of normal variants in the mandible: variant dentists should recognize，◎☆Oral Radiol.，2017；doi：https://doi.org/10.1007/s11282-017-0307-7. [Epub ahead of print]
4. Hayashi T, Arai Y, Chikui T, Hayashi-Saka S, Honda K, Indo H, Kawai T, Kobayashi K, Murakami S, Nagasawa M, Naitoh M, Nakayama E, Nikkuni Y, Nishiyama H, Shoji N, Suenaga S, Tanaka R：A Committee on Clinical Practice Guidelines Japanese Society for Oral and Maxillofacial Radiology: Clinical guidelines for dental cone-beam computed tomography，◎☆Oral Radiol.，2018；34（2）：89-104，doi：10.1007/s11282-018-0314-3.
5. Miwa Y, Asaumi R, Kawai T, Maeda Y, Sato I：Morphological observation and CBCT of the bony canal structure of the groove and the location of blood vessels and nerves in the palatine of elderly human cadavers，◎☆Surg. Radiol. Anat.，2018；40（2）：199-206，doi: 10.1007/s00276-017-1952-6.

C. 総説・解説

1. 杉浦幹則，赤間亮一，武井正己，富永 毅，岩田 洋，小川智久，北村和夫：歯科人間ドックにおける歯科技工士支援による義歯検査の有用性について，日本歯科人間ドック学会誌，12（1）：31-36，2017.

2. 日本歯科放射線学会防護委員会(佐藤健児ほか):日本歯科放射線学会ガイドライン JSOMR TR-0001:2017, 携帯型口内法 X 線装置による手持ち撮影のためのガイドライン, 2017.
http://jsomfr.sakura.ne.jp/wp-content/uploads/2017/12/portable_guideline.pdf.

D. 報告(臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 八木原一博, 石井純一, 桂野美貴, 土田絵梨, 岡村武志, 松本繁男, 原口美穂子, 石川文隆, 柳下寿郎, 齋藤 喬, 濱畑淳盛, 森 一将, 別府 武, 坂本裕彦:骨吸収抑制薬関連顎骨壊死(ARONJ)が疑われた下顎骨中心性癌の1例, 埼玉県医学会雑誌, 52(1):327-332, 2017.
2. 岡村武志, 石井純一, 八木原一博, 桂野美貴, 土田絵梨, 松本繁男, 原口美穂子, 石川文隆, 柳下寿郎, 原 彰, 別府 武, 坂本裕彦:下顎歯肉原発の稀な粘表皮癌の1例, 埼玉県医学会雑誌, 52(1):333-337, 2017.
3. 坂本彩香, 杉崎貴裕, 佐藤健児:当院における口内法 X 線撮影の撮影条件と患者入射線量の検討, 全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会会誌, 27(2):67-71, 2017.
4. 1) 佐藤健児(分担執筆):第1章 CBCTの基礎 3. 被曝線量とその低減方法, 日高豊彦, 新井嘉則, 寺内吉継(編集委員), DENTAL DIAMOND 増刊号, 43(6)[いまこそ学ぼう CBCT 読像・診断のマスターガイド]:24-27, 2018.
2) 浅海利恵子(分担執筆):第1章 CBCTの基礎 5. CBCT画像と解剖像の比較と誤差, 日高豊彦, 新井嘉則, 寺内吉継(編集委員), DENTAL DIAMOND 増刊号, 43(6)[いまこそ学ぼう CBCT 読像・診断のマスターガイド]:34-43, 2018.
3) 浅海利恵子(分担執筆):第1章 CBCTの基礎 6. 読像の基礎, 日高豊彦, 新井嘉則, 寺内吉継(編集委員), DENTAL DIAMOND 増刊号, 43(6)[いまこそ学ぼう CBCT 読像・診断のマスターガイド]:44-49, 2018.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 須永健一, 小川智久, 岩田 洋, 小堀瑛一, 角田憲祐, 阪奈津子, 木庭圭祐, 藤沼宏治, 竹島明德, 札川 新, 藤倉枝里子, 前田祐貴:各種セメントのエックス線不透過性に関する研究, 日本歯科歯周病学会会誌, 59(春季特別号):146, 2017.
2. 辺見卓男, 柳下寿郎, 佐藤かおり, 田谷雄二, 添野雄一:Ki-67陽性核の上皮内局在様式に基づく舌粘膜上皮の病態評価, 日本病理学会会誌, 106(1):349(3-G-10), 2017.
3. 辺見卓男, 荘司洋文, 飯田昌志, 北詰栄里, 岩田 洋, 林 宗廣, 添野雄一, 出雲俊之, 岡部貞夫, 蛭田啓之, 柳下寿郎:舌下面部に生じた血管内筋膜炎の一例, 平成29年度日本歯科大学歯学会第4回ウィンターミーティングプログラム・抄録集, 12, 2017.
4. 石井純一, 八木原一博, 桂野美貴, 土田絵梨, 岡村武志, 石川文隆, 柳下寿郎:舌癌超音波エラストグラフィの半定量化, 日本口腔外科会雑誌, 63(総会特別号):202, 2017.
5. 結城百合子, 荘司洋文, 猪俣 徹, 吉田和正, 柳下寿郎:腺腫様歯原性腫瘍に関連した後継永久歯を温存し歯列完成させた1例, 日本口腔外科会雑誌, 63(総会特別号):215, 2017.
6. 浅野一成, 荘司洋文, 藤城建樹, 柳下寿郎, 井出吉昭, 中原 貴, 松野智宣:下顎犬歯と癒着し, 口腔内に露出した複雑性歯牙腫の1例, 日本口腔外科会雑誌, 63(総会特別号):216, 2017.
7. 田中惇平, 荘司洋文, 北詰栄里, 猪俣 徹, 岡村 尚, 柳下寿郎, 岡部貞夫:当院における肩甲

- 舌骨筋上頸部郭清術施行症例に関する臨床病理組織学的検討, 日本口腔外科会雑誌, 63 (総会特別号) : 281, 2017.
8. 辺見卓男, 飯田昌志, 北詰栄里, 荘司洋文, 岩田 洋, 添野雄一, 出雲俊之, 蛭田啓之, 柳下 寿郎: 舌下面部粘膜下病変, 第 28 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会・プログラム, C-6, 2017.
 9. 八木原一博, 石井純一, 桂野美貴, 土田絵梨, 岡村武志, 原口美穂子, 柳下寿郎, 石川文隆: 臨床的に悪性腫瘍を疑った口蓋壊死性唾液腺化生の 1 例, 日本口腔科学会雑誌, 66 (2) : 162, 2017.
 10. 猪俣 徹, 荘司洋文, 北詰栄里, 岡村 尚, 柳下寿郎, 岡部貞夫, 黒崎弘正: 異時性に発生し, 早期に副咽頭間隙へ進展した T1 下顎歯肉癌症例, 頭頸部癌, 43 (2) : 228, 2017.
 11. 佐藤健児, 浅海利恵子: 歯科用コーンビーム CT の面積線量から実効線量への換算係数, NPO 法人日本歯科放射線学会第 58 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 63, 2017.
 12. 浅井まどか, 浅海利恵子, 河合泰輔, 佐藤健児, 代居 敬: 犬歯窩における前上歯槽管の走行に関する X 線学的検討, NPO 法人日本歯科放射線学会第 58 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 78, 2017.
 13. 栗田 努, 奥山 祐, 坂本彩香, 後藤賢一, 三島 章, 杉崎貴裕, 虻川亜紀子, 佐藤健児, 有地 榮一郎: 3 大学歯学部・歯科大学附属病院の口内法 X 線撮影における撮影条件, NPO 法人日本歯科放射線学会第 22 回臨床画像大会プログラム・抄録集, 24, 2017.
 14. 浅井まどか, 岩田 洋, 林 宗廣, 浅海利恵子, 丹野咲貴, 荘司洋文, 柳下寿郎, 代居 敬: 上顎骨に発生した歯原性粘液線維腫の 1 例, NPO 法人日本歯科放射線学会第 22 回臨床画像大会プログラム・抄録集, 別紙, 2017.
 15. 佐藤健児, 浅海利恵子: 歯科用コーンビーム CT における患者実効線量を推定するための変換係数, 日本歯科放射線学会第 225 回関東地方会・第 37 回北日本地方会・第 25 回合同地方会, https://www.jsomfr.org/images/pdf/2017_225kanto.pdf, 日本歯科大学新潟生命歯学部, 2017 年 7 月 1 日.
 16. 浅海利恵子, 河合泰輔, 浅井まどか, 佐藤健児, 代居 敬: 歯科用コーンビーム CT 画像を用いた上顎結節部の骨形態の観察, 歯科放射線, 57 (増刊号) : 72, 2017.
 17. Asami R, Mizutani M, Kawai T, Nakagawa A, Kumazawa Y, Yamaguchi A : Observation of the general placement area of orthodontic anchor screw using CT images, The 21th International Congress of Dental-Maxillofacial Radiology, Abstract Book, 93, 2017.
 18. Kawai T, Kumazawa Y, Mizutani M, Asami R, Yamaguchi A, Yosue T : Observation of the anterior loop length in the jaw deformity patients, The 21th International Congress of Dental-Maxillofacial Radiology, Abstract Book, 127, 2017.
 19. 米野貴彦, 荘司洋文, 南郷孝徳, 北詰栄里, 猪俣 徹, 辺見卓男, 岡部貞夫, 柳下寿郎: 特異な頸部リンパ節後発転移を示した T1 舌癌の 1 例: 予防的頸部郭清術の新たな適応条件の提唱, 第 36 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 145, 2018.
 20. 辺見卓男, 北詰栄里, 猪俣 徹, 岡村 尚, 荘司洋文, 出雲俊之, 岡部貞夫, 柳下寿郎: 舌扁平上皮癌における「WPOI-5」陽性症例の臨床病理学的検討, 第 36 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 158, 2018.
 21. 猪俣 徹, 荘司洋文, 田中惇平, 米野貴彦, 北詰栄里, 岡村 尚, 辺見卓男, 出雲俊之, 岡部貞夫, 柳下寿郎, 黒崎弘正: 当科における頭頸部腫瘍への IMRT による治療経験, 第 36 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 177, 2018.
 22. 土田絵梨, 石井純一, 八木原一博, 桂野美貴, 岡村武志, 柳下寿郎, 石川文隆: 骨髓異形成症候群を伴った口腔癌の 2 症例, 第 36 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 183,

2018.

23. 八木原一博, 石井純一, 桂野美貴, 土田絵梨, 岡村武志, 岡田茂治, 柳下寿郎, 石川文隆: 舌エコーによる舌表在性癌の有用性, 第36回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 188, 2018.
24. Miwa Y, Asaumi R, Sunohara M, Sato I: Observation of the greater and lesser palatine foramen in maxilla, 第123回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 168, 2018.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. Kawai T: How much do we know about mandibular canal? Keynote Lecture 3, Faculty Annual Scientific Meeting of Hong Kong University 2017, Prince Philip Dental Hospital, Hong Kong University, Sai-Ying Pun, Hong Kong, 2017.12.14.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 代居 敬: インプラントの画像診断, 日本歯科先端技術研究所, 日本歯科先端技術研究所講堂(東京都), 2017年4月9日.
2. 代居 敬: 画像診断, 新潟再生歯学研究会, 日本歯科大学新潟生命歯学部(新潟市), 2017年4月16日.
3. 代居 敬: インプラントにおけるエックス線診断, 北日本口腔インプラント研究会, 北海道歯科医師会館(札幌市), 2017年5月14日.
4. 浅海利恵子: デンタル・パノラマの診断を最新の三次元画像で検証する, 福井県日本歯科大学校友会学術講演会, ホテルグランディア芳泉(福井県あわら市), 2017年6月24日.
5. 代居 敬: 画像診断(インプラント治療に関連して), 埼玉インプラント研究会, ラフレ埼玉(大宮市), 2017年7月9日.
6. 柳下寿郎: 早期口腔がんを発見する重要性—どうして, 私たち歯科医師が良きスクリーナーを目指すのか?—, 柏市歯科医師会(柏市), 2017年9月6日.
7. Asaumi R, Kawai T, Miwa Y, Sato I: Morphological and histological observation of alveolar bone around maxillary molar region, The 1st Japan-Korea International Conference of Oral and Maxillofacial Radiology, Okinawa, 2017.11.25.
8. 柳下寿郎: 口腔粘膜の変化を視る, 知る!—粘膜病変を知っている歯科医師を目指す—, プレミラインセミナー, 東京, 2017年11月5日, 2017年12月10日, 2018年2月18日.
9. 米野貴彦, 荘司洋文, 南郷孝徳, 北詰栄里, 猪俣 徹, 辺見卓男, 岡部貞夫, 柳下寿郎: 頸部リンパ節後発転移が特異な進展を示した T1 舌腺扁平上皮癌の1例, 第275回関東地区口腔腫瘍集談会, 東京, 2017年11月7日.
10. 須永健一, 小川智久, 岩田 洋, 滑川初枝, 富永 毅, 杉浦幹則, ほか3名: 市民公開講座の概要, 第20回日本歯科人間ドック学会学術大会, 横浜, 2017年12月10日.
11. 佐藤健児: 線量測定の基本—線量と線質—, NPO 法人日本歯科放射線学会, 第4回顎口腔領域エックス線検査に対する被曝線量測定研修会, 坂戸グランドホテル WIN(埼玉), 2018年1月6日.
12. 佐藤健児: 歯科用コンビーム CT 装置の出力特性, NPO 法人日本歯科放射線学会, 第3回顎口腔領域エックス線検査に対する被曝線量測定研修会, 明海大学(埼玉), 2018年1月7日.
13. 岩田 洋, 林 宗廣, 荘司洋文, 阪本まり, 南郷孝徳, 柳下寿郎: 膿原性肉芽腫の一例, 日本歯科放射線学会第226回関東地方会, 大宮, 2018年1月20日.

14. 柳下寿郎：スマホを使って，病診連携！一本当に出来る！？万が一に備えて！，日本歯科大学
校友会主催 2018 学術フォーラム，東京，2018 年 2 月 25 日.
15. 柳下寿郎：検診をとおして，患者さんが獲得できる？なぜ，検診を薦めるのか！，HITS PLAN
セミナー，東京，2018 年 3 月 4 日.

口腔インプラント診療科 Division of Oral Implant

1. 所属構成員等

教 授 柳井 智恵
准 教 授 平賀 泰, 小倉 晋
講 師 山田麻衣子
助 教 石井 通勇, 倉治 真夏, 是澤 和人
非常勤歯科医師 五木田 旬子
非 常 勤 講 師 石崎 勤, 水木 信之, 田外 貴弘, 濱 仁隆, 青木 護,
酒井 康雄, 大島 正充, 新崎 公子

2. 研究テーマ

- 1) 生体材料と成長因子による骨再生医療 Biomaterials and Growth-factor-based engineering of bone tissue.
- 2) 仮骨延長, 骨膜延長による骨形成機序 Mechanics of new bone formation by distraction osteogenesis and periosteal distraction osteogenesis.
- 3) 口腔癌外科切除後にインプラント治療による口腔機能の評価に関する検討 Functional outcome of implant therapy after surgical resection of oral cancer.
- 4) インプラント治療に関係した顎骨の骨量(形態)と骨質について Quantity (Shape) and quality of jaw bone concerning to implant treatment.
- 5) インプラント治療の長期臨床的検討 A study on long term of dental implant treatment.
- 6) 下顎骨形態および下顎管についての放射線学的検討 Radiological examination of mandibular bone shape and mandibular canals.
- 7) インプラント治療前後の咀嚼機能の評価 Evaluation of a masticatory function after implant treatment.
- 8) 顎顔面領域の顎欠損に対する機能再建(骨造成およびインプラント治療) Functional reconstruction to a jaw deficit of maxillofacial. (Bone development and implant treatment)

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 公益社団法人日本口腔インプラント学会第 31 回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会, テーマ:「インプラント歯周炎を多方面から考える—材料学からリカバリー処置まで—」《材料から臨床的対応まで》, 東京都, 2018 年 3 月 18 日, 小倉 晋.
- 2) Spain International Education Week 講習会, 東京都, 2017 年 10 月 19 日, 柳井智恵.

6. 国際交流状況

- 1) 柳井智恵:2017 年 5 月 3 日から 5 月 6 日, スイス・バーゼルにて開催された ITI World Symposium 2017 ITI Fellow 会議に出席し, Women Dental Academy for implantology の会長として, ITI の女性

歯科医師ネットの他国の女性歯科医師代表と交流し情報交換を行った。また、5月4日には姉妹校のスイス・ベルン大学頭蓋顎顔面外科学講座を表敬訪問し、飯塚建行主任教授と面談し情報交換を行った。

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科研費科学研究費助成事業，若手（B）（新規），平成29～30年度，インプラント治療に向けた口腔間葉系幹細胞を用いた3次元骨再生法の開発，倉治真夏（代表），4,030,000円，平成29年度 2,730,000円。

8. 研究業績

A. 著書

記載事項なし

B. 原著

1. 神垣友希乃，小倉 晋，岩田 洋，代居 敬：インプラントの経過観察におけるパノラマ X 線写真の有用性（The Panoramic Radiograph Is Reliable for the Diagnosis of Peri-implant Bone Loss），○日本口腔診断学会誌，2017；30（2）：231-236，doi：10.15214/jsodom.30.231。
Kamigaki Y, Ogura S, Iwata H, Yosue T：The Panoramic Radiograph Is Reliable for the Diagnosis of Peri-implant Bone Loss，○Jpn. Oral Diag. /Oral Med.，2017；30（2）：231-236，doi：10.15214/jsodom.30.231。
2. Morimoto K, Tsutsui Y, Ogura S, Sunda K：Are wireless electronic stethoscopes useful for respiratory rate monitoring during intravenous sedation?, ©Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, 2018；76（1）：70.e1-70.e5，doi：10.1016/j.joms.2017.08.023.

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 柳井智恵：「女性歯科医師とキャリア形成」女性から発信する歯科医療へ，歯学，104（春季特集号）：68-71，2017。
2. Yanai C：「STARGET」WIN—womaen talking over implant dentistry!, <https://www.straumann.com/dk/en/discover/news/about/archive/news.html?path=/content/straumann/dk/en/shared/news/enablement-and-education/win-women-implantology-network-iti-world-symposium-party-2017-women-taking-over-implantology>, (cited 2017.05.22), WDAI—Female dentist empowerment in Japan.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌記載講演抄録

1. Morimoto K, Ogura S, Shinohara K, Sunada K：Respiratory rate is an inadequate parameter of ventilation in non-intubated sedation, FADAS 2017（Seoul, Korea, June 17-18, 2017），Program book, 31, 2017.

2. 森本恵子, 筒井友花子, 小倉 晋, 砂田勝久: 静脈内鎮静法下歯科治療時の無線式電子聴診器の有用性に関する研究, 第 28 回日本臨床モニター学会総会抄録集, 59, 2017.
3. Morimoto K, Tsutsui Y, Ogura S, Sunada K: Usefulness of Electronic Stethoscope as Respiratory Monitor for Intravenous Sedation, FDI 2017 Madrid World Dental Congress (Madrid, Spain, August 29–September 1, 2017), Final Program book, 198, 2017.
4. 石井通勇, 大島正充, 濱 仁隆, 山瀬 勝, 小倉 晋: インプラント治療における各種器具のトルク値再現精度, 第 47 回日本口腔インプラント学会学術大会抄録集, Page. O-2-7-5, 2017.
5. 山田麻衣子, 小倉 晋, 大島正充, 新崎公子, 高森 等: インプラント治療における偶発症・続発症とそのリカバリー—当科を受診したインプラント治療に関する問題症例の検討—, 顎顔面インプラント誌, 16 (3): 164, 2017.
6. 是澤和人, 小倉 晋, 水木信之, 倉治真夏, 石崎 勤, 柳井智恵: 初期固定の臨床的検討, 顎顔面インプラント誌, 16 (3): 218, 2017.
7. 石井通勇, 大島正充, 伊藤 健, 平賀 泰, 小倉 晋: インプラント治療における各種器具の術者の違いによるトルク値再現精度, 顎顔面インプラント誌, 16 (3): 219, 2017.
8. 五木田句子, 小倉 晋, 山田麻衣子, 石井通勇, 是澤和人, 柳井智恵: 交通外傷による欠損部に適応した 1 症例, 顎顔面インプラント誌, 16 (3): 230, 2017.
9. 五木田句子, 石井通勇, 山田麻衣子, 小倉 晋: 外傷による欠損部にインプラント治療を用いた 1 症例, 平成 29 年度日本歯科大学臨床発表会プログラム・抄録集, 3, 2017.
10. Yamada M: Clinical examination of the Astra Tech Implant System over 5-year period in our department, 26th Annual Scientific Meeting of the European Association for Osseointegration, SU-027, 2017.
11. 是澤和人, 小倉 晋, 山田麻衣子, 石井通勇, 五木田句子, 伊藤 健, 柳井智恵: インプラント治療における即時荷重の前向き研究, 日口腔インプラント誌, 公益社団法人日本口腔インプラント学会第 37 回関東・甲信越支部学術大会プログラム・抄録集, 71, 2018.
12. Yanai C, Hiraga Y, Koresawa K, Kuraji M, Ishii M, Oshima M, Yamada M, Ogura S: Feasibility of Implant Treatment Provided by Public Health Insurance in Our Hospital, 23rd International Conference on Oral & Maxillofacial Surgery 2017 Program, 102, 2017.
13. 水谷匡佑, 柳井智恵, 小森 成, 宇塚 聡: 歯槽骨吸収した化学前歯部先天性欠如部へ強制治療による歯の移動を行った 1 症例, 平成 29 年度日本歯科大学歯学会第 4 回ウインターミーティングプログラム・抄録集, 11, 2017.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. Yanai C: Current state of Japanese women oral and maxillofacial surgeon, 23rd International Conference on Oral & Maxillofacial Surgery 2017, シンポジウム, 中国・香港, 2017 年 4 月 2 日.
2. 柳井智恵: 女性口腔外科医—日本と海外事情, 第 62 回日本口腔外科学会総会・学術大会, シンポジウム, 京都, 2017 年 10 月 21 日.
3. 柳井智恵: 広範囲顎骨支持型装置の治療ガイドライン策定に向けて: 日本におけるインプラント義歯に関する診療ガイドラインの現状, 第 21 回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, シンポジウム, 富山, 2017 年 12 月 9 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 小倉 晋: インプラント治療のトラブルシューティング—他院例・自院例での対応について—,

東京都日本歯科大学校友会第1回学術講演会，東京都，2017年7月20日。

2. 小倉 晋（総括）：公益社団法人日本口腔インプラント学会第31回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会，テーマ：「インプラント歯周炎を多方面から考える—材料学からリカバリー処置まで—」《材料から臨床的対応まで》，東京都，2018年3月18日。
3. 柳井智恵：Current state of dental education in Japan—The Nippon Dental University—, Spain International Education Week 講習会，東京都，2017年10月19日。
4. 柳井智恵：インプラント治療の概論と局所解剖，Women Dental Academy for Implantology Basic Course，東京都，2018年3月3日。
5. 柳井智恵：妊産婦の歯科治療—マタニティ歯科外来の取り組み—，平成29年度いわて女性歯科医師の会研修会，盛岡市，2018年3月4日。

顎変形症診療センター Jaw Deformity Clinic

1. 所属構成員等

准 教 授 渡辺 昌司 (併任)

講 師 藤城 建樹 (併任), 今井 智明 (併任)

歯 科 衛 生 士 西口はづき (併任), 川邊 靖子 (併任), 今村安芸子 (併任),
小林千登世 (併任), 小林みなみ (併任)

2. 研究テーマ

1) 顎矯正手術における骨片固定材料に関する臨床的検討 Clinical evaluation of osteosynthesis used in orthognathic surgery.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著 書

記載事項なし

B. 原 著

記載事項なし

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

記載事項なし

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 藤城建樹, 荘司洋文, 小林隆太郎 : Hemiconsulsion-Hemiplegia-Syndrome を有した著しい下顎前突症患者の 1 例, 第 27 回日本顎変形症学会総会 (有明) プログラム・抄録号, 162, 2017.
2. 吉屋慶章, 宇塚 聡, 小森 成 : 歯列空隙と下顎両側第一大臼歯欠損を伴う骨格性下顎前突症の 1 症例, 第 27 回日本顎変形症学会総会 (有明) プログラム・抄録号, 129, 2017.
3. 阪本まり, 荘司洋文, 武田宗矩, 岡村 尚, 吉田和正, 藤城建樹 : 私たちが行っている Le Fort I 型骨切り術における上顎骨位置決めについて, 第 62 回日本口腔外科学会総会 (京都) プログラム・抄録号, 351, 2017.

G. 講演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演
記載事項なし
- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演
記載事項なし

臨床検査室 Department of Clinical Laboratory

1. 所属構成員等

医療職員 藤田 裕紀, 荒井 千明, 比留間 馨, 矢島 知美

2. 研究テーマ

記載事項なし

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著書

記載事項なし

B. 原著

記載事項なし

C. 総説, 解説

記載事項なし

D. 報告(臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

記載事項なし

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

記載事項なし

G. 講 演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演
記載事項なし

- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演
記載事項なし

1. 所属構成員等

教 授 菊谷 武

大 学 院 生 4 年 仲澤裕次郎

3 年 磯田 友子, 五十嵐公美, 光岡 一行

1 年 永島 圭悟, 宮下 大志

2. 研究テーマ

- 1) 摂食・嚥下リハビリテーション Dysphagia rehabilitation.
- 2) 口腔ケア Oral health Care.
- 3) 高齢者に対する歯科診療 Dental treatment for Elderly People.
- 4) 歯科訪問診療 Home Visiting Dental Care.
- 5) 咀嚼器官の運動障害が咀嚼機能に与える影響 Masticatory function affected by masticatory disorders with motor disorder.
- 6) レット症候群の摂食機能 Feeding of Rett syndrome.
- 7) コミュニケーション障害患者のリハビリテーション Speech and language therapy in communication disorders.
- 8) 高次脳機能障害患者の社会復帰支援 Social problem for person with traumatic brain injury and their significant others.
- 9) 誤嚥性肺炎と口腔ケア Aspiration pneumonia and oral health care.
- 10) 障害児の摂食機能 Feeding function of disabled children.
- 11) 小児の摂食機能の発達と障害 Development and disabilities of feeding in children.
- 12) 子供の食の問題と母親の育児負担との関係 Relationship between children's eating problem and mother's parenting burden.
- 13) 原始反射の再出現が摂食機能に与える影響 Effects of reappearance of primitive reflexes on eating function and prognosis.
- 14) 口唇口蓋裂児の吸啜時の舌運動の解析 Analysis of tongue movements during sucking by infants with cleft lip and palate.
- 15) 地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成プログラムの構築 Development of cultivation program for dentist for the regional comprehension system.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 日本障害者歯科学会学術大会優秀発表賞, 仲澤裕次郎, 2017年10月29日, 経管栄養注入前の事前経口摂取が重症心身障害者の脳機能に与える効果について.
- 2) 日本障害者歯科学会学術大会優秀発表賞, 磯田友子, 2017年10月29日, ダウン症候群児の摂食機能に発達一捕食時口唇圧について一.

4. 学位取得者

- 1) 光岡一行, 上頸神経節の解剖学的研究一ヒト上頸神経節の形態による検討と老化モデルマウスを用いた上頸神経節細胞の分子マーカーの動態について一, Anatomical study of superior cervical ganglion —Morphology of human superior cervical ganglion and dynamics of related markers in superior

cervical ganglion cell of senescence-accelerated mouse—, 2018年2月6日, 日本歯科大学.

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

- 1) 摂食・嚥下リハビリテーション分野において, 世界的に有名なアメリカ・レッドランズ大学のマイケル・グロハー教授の嚥下障害研修および症例検討会に参加するとともに, 研究打ち合わせのため, アメリカ・レッドランズ大学を訪問した. 平成29年5月14日~5月19日.
- 2) アメリカ・レッドランズ大学のマイケル・グロハー教授を招聘し, 摂食・嚥下障害コースの受講及び研究打ち合わせを東京で行った. 平成29年11月14日.

7. 外部・学内研究費

- 1) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 基盤研究(C)(継続), 平成27~29年度, 経口摂取は胃瘻患者の認知機能および身体機能の改善に寄与できるか?, 田村文誉(代表), 八重垣健(分担), 菊谷 武(分担), 町田麗子(分担), 水上美樹(分担), 4,680,000円, 平成29年度1,040,000円.
- 2) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 基盤研究(C)(継続), 平成27~29年度, 地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成システムの構築, 須田牧夫(代表), 菊谷 武(分担), 田村文誉(分担), 町田麗子(分担), 4,810,000円, 平成29年度 780,000円.
- 3) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 基盤研究(C)(継続), 平成28~32年度, 新たな摂食嚥下機能プロトコールは早期加齢リスクのあるダウン症候群に有効か?, 水上美樹(代表), 菊谷 武(分担), 田村文誉(分担), 松山美和(分担), 4,810,000円, 平成29年度 780,000円.

8. 研究業績

A. 著書

1. 菊谷 武(分担執筆): 第2章 高齢者に多い内科系疾患の歯科治療前評価と対応 3. 脳血管障害 (3) 脳血管疾患の後遺症, 68-69, 小谷順一郎, 砂田勝久(編集), 高齢者歯科医療—歯科治療につながる医学知識—, 永末書店, 京都, 2017, ISBN: 978-4-8160-1323-2.

B. 原著

1. 戸原 雄, 菊谷 武, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田中康貴, 田村文誉: 市販咀嚼訓練食品を用いた咀嚼能力評価, ○日摂食嚥下リハ会誌, 2017; 21(1): 3-10.
Tohara T, Kikutani T, Yajima Y, Igarashi K, Tanaka Y, Tamura F: An Attempt to Evaluate Masticatory Performance Using Commercially Sold Masticatory Training Food, ○The Japanese Journal of Dysphagia Rehabilitation, 2017; 21(1): 3-10.
2. Yajima Y, Kikutani T, Tamura F, Yoshida M: Relationship between tongue strength and 1-year life expectancy in elderly people needing nursing care, ◎☆Odontology, 2017; 105: 477-483, doi: 10.1007/s10266-016-0289-7.
3. *Mitsuoka K, Kikutani T, Sato I: Morphological relationship between the superior cervical ganglion and cervical nerves in Japanese cadaver donors, ◎☆Brain. Behav., 2016; 7(2): 1-9, doi: 10.1002/brb3.619.
(学位論文)

4. *Mitsuoka K, Kikutani T, Miwa Y, Sato I : Expression of CGRP neurotransmitter and vascular genesis marker mRNA is age-dependent in superior cervical ganglia of senescence-accelerated prone mice, ◎☆ Neurosci. Lett., 2018 ; 664 : 144–151, doi : 10.1016/j.neulet.2017.11.034. (学位論文)
5. Tohara T, Kikutani T, Tamura F, Yoshida M, Kuboki T : Multicentered epidemiological study of factors associated with total bacterial count in saliva of older people requiring nursing care, ◎☆ Geriatrics & Gerontology International, 2017 ; 17 : 219–225, doi : 10.1111/ggi.12695.
6. Nanri H, Yamada Y, Itoi A, Yamagata E, Watanabe Y, Yoshida T, Miyake M, Date H, Ishikawa-Takata K, Yoshida M, Kikutani T (11th), Kimura M (12 authors) : Frequency of Fruit and Vegetable Consumption and the Oral Health-Related Quality of Life among Japanese Elderly: A Cross-Sectional Study from the Kyoto-Kameoka Study, ◎☆ Nutrients, 2017 ; 9 (12) : 1362, doi : 10.3390/nu9121362.
7. Higashiguchi T, Ohara H, Kamakura Y, Kikutani T, Kuzuya M, Enoki H, Sanada H, Matsuzaki M, Maruyama M (9 authors) : Efficacy of a New Post-Mouthwash Intervention (Wiping Plus Oral Nutritional Supplements) for Preventing Aspiration Pneumonia in Elderly People: A Multicenter, Randomized, Comparative Trial, ◎☆ Ann. Nutr. Metab., 2017 ; 71 (3–4) : 253–260, doi : 10.1159/000485044.
8. Tanaka T, Takahashi K, Hirano H, Kikutani T, Watanabe Y, Ohara Y, Furuya H, Tsuji T, Akishita M, Iijima K : Oral Frailty as a Risk Factor for Physical Frailty and Mortality in Community-Dwelling Elderly, ◎☆ J. Gerontol. A Biol. Sci. Med. Sci., 2017 ; doi : 10.1093/gerona/glx225. [Epub ahead of print]
9. Takeuchi K, Furuta M, Okabe Y, Suma S, Takeshita T, Akifusa S, Adachi M, Kinoshita T, Kikutani T (9th), Yamashita Y (10 authors) : Swallowing disorders and 1-year functional decline in community-dwelling older adults receiving home care, ◎☆ J. Oral Rehabil., 2017 ; 44 (12) : 982–987, doi : 10.1111/joor.12577.
10. Yamada Y, Nanri H, Watanabe Y, Yoshida T, Yokoyama K, Itoi A, Date H, Yamaguchi M, Miyake M, Yamagata E, Tamiya H, Nishimura M, Fujibayashi M, Ebine N, Yoshida M, Kikutani T (16th), Yoshimura E, Ishikawa-Takata K, Yamada M, Nakaya T, Yoshinaka Y, Fujiwara Y, Arai H, Kimura M (27 authors) : Prevalence of Frailty Assessed by Fried and Kihon Checklist Indexes in a Prospective Cohort Study: Design and Demographics of the Kyoto-Kameoka Longitudinal Study, ◎☆ J. Am. Med. Dir. Assoc., 2017 ; 18 (8) : 733, doi : 10.1016/j.jamda2017.02.022.
11. Watanabe Y, Hirano H, Arai H, Morishita S, Ohara Y, Eda Hiro A, Murakami M, Shimada H, Kikutani T (9th), Suzuki T (10 authors) : Relationship Between Frailty and Oral Function in Community-Dwelling Elderly Adults, ◎☆ J. Am. Geriatr. Soc., 2017 ; 65 (1) : 66–76, doi : 10.1111/jgs.14355.
12. Koda Y, Aoike I, Hasegawa S, Osawa Y, Nakagawa Y, Iwabuchi F, Iwahashi C, Sugimoto T, Kikutani T (9th) (9 authors) : Feasibility of intermittent back-filtrate infusion hemodiafiltration to reduce intradialytic hypotension in patients with cardiovascular instability: a pilot study, ◎☆ Clin. Exp. Nephrol., 2017, 21 (2) : 324–332, doi : 10.1007/s10157-016-1270-z.

C. 総説・解説

1. 田村文誉, 菊谷 武, 白川哲夫, 秋山茂久, 堤香奈子, 森崎市治郎, 保母妃美子, 玄 景華, 武井浩樹, 高森一乗 (共著) : レット症候群患者の口腔機能障害の把握と歯科医療支援, 障歯誌, 38 (2) : 140–147, 2017.
2. 田村文誉, 菊谷 武 (共著) : 歯科における細菌カウンタの利用, 日本歯科理工学会誌, 36 (4) : 237–240, 2017.

3. 菊谷 武 (単著) : 摂食嚥下リハビリテーション, 総合リハビリテーション, 45 (11) : 1125-1129, 2017.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 佐川敬一郎, 尾関麻衣子, 戸原 雄, 須田牧夫, 菊谷 武 (共著) : “住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアシステムの現場から 外来診療, DENTAL DIAMOND, 42 (4) : 158-161, 2017.
2. 佐川敬一郎, 矢島悠里, 菊谷 武 (共著) : 住み慣れた街で生きるを支援する 地域包括ケアシステムの現場から, DENTAL DIAMOND, 42 (5) : 166-170, 2017.
3. 田村文誉 (分担執筆) : Q&A 小児の摂食嚥下障害に対する検査と支援, DENTAL DIAMOND, 42 (8) : 112-113, 2017.
4. 菊谷 武, 須田牧夫, 田中康貴, 戸原 雄 (共著) : “住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアシステムの現場から 介護保険施設との連携, DENTAL DIAMOND, 42 (8) : 146-150, 2017.
5. 古屋裕康, 矢島悠里, 有友たかね, 菊谷 武 (共著) : “住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアシステムの現場から, DENTAL DIAMOND, 42 (9) : 156-161, 2017.
6. 高島良代, 水上美樹, 橋本久美, 磯田友子, 田村文誉, 菊谷 武 (共著) : 知的特別支援学校における知的障害教育外部専門員としての取り組み, “住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアの現場から 特別支援学校への支援を通じて地域とかがかわる, DENTAL DIAMOND, 42 (11) : 186-190, 2017.
7. 橋本久美, 尾関麻衣子, 高島良代, 西澤加代子, 古屋裕康, 田村文誉, 菊谷 武 (共著) : “住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアの現場から イベントを通じて地域とかがかわる, DENTAL DIAMOND, 42 (12) : 176-181, 2017.
8. 尾関麻衣子, 菊谷 武 (共著) : “住み慣れた街で生きる”を支援する 地域ケアシステムの現場から 栄養指導, DENTAL DIAMOND, 42 (13) : 154-159, 2017.
9. 戸原 雄, 山田裕之, 田村文誉, 菊谷 武 (共著) : “住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアの現場から 地域との連携, DENTAL DIAMOND, 42 (15) : 186-191, 2017.
10. 菊谷 武, 佐川敬一郎, 矢島悠里 (共著) : 地域包括ケアと在宅医療 在宅における摂食嚥下リハビリテーション, MEDICAL REHABILITATION, 217 : 104-111, 2017.
11. 菊谷 武, 戸原 雄, 佐川敬一郎, 古屋裕康 (共著) : 在宅における食支援, MEDICAL REHABILITATION 摂食嚥下障害リハビリテーション ABC, 212 : 51-60, 2017.
12. 菊谷 武 (単著) : 誤嚥性肺炎における細菌叢と口腔ケア, Pharma Medica, 35 (8) : 27-31, 2017.
13. 菊谷 武 (単著) : 認知症高齢者に対する歯科診療所の役割, 医師協 MATE, 301 : 12-13, 2017.
14. 菊谷 武 (単著) : 退院後も安全に食べられる栄養指導を実践し口から食べる幸せを地域に広げる, 栄養経営エキスパート, 2 (3) : 69-71, 2017.
15. 菊谷 武, 丸山道生, 原 純也 (共著) : 在宅でも口から食べるために乗り越えるべき 3 つの課題, 栄養経営エキスパート, 2 (6) : 21-24, 2017.
16. 菊谷 武 (単著) : いつまでも口からおいしく食べるために, 介護の日しんぶん 2017, 1 : 8, 2017.
17. 菊谷 武 (共著) : 高齢者歯科のキーワードは栄養である, 地域で「食べる」を支えるということ 一歯科に求められる役割一, 歯界展望, 特別号 : 99-100, 2017.
18. 菊谷 武 (単著) : 口と歯の病気が「誤嚥性肺炎」を招く, 週刊現代, 59 (23) : 164-169, 2017.
19. 菊谷 武 (単著) : 医原性肺炎に警鐘, 日本歯科新聞, 1997 : 5, 2017年11月21日.

20. 菊谷 武 (分担執筆) : 摂食嚥下障害と口腔健康管理, 歯学協が口腔健康管理をテーマにシンポジウムを有意義に開催, 日本歯科評論, 903 : 174-175, 2018.
21. 田村文誉, 水上美樹 (共著) : 【前編】保護者の悩みの核心と歯科医師への相談内容の差, 日本歯科評論, 77 (10) : 151-154, 2017.
22. 田村文誉, 水上美樹 (共著) : 子どもの摂食嚥下障害にどうかかわるか, 日本歯科評論, 77 (12) : 127-132, 2017.
23. 田村文誉, 山田裕之 (分担執筆) : 妊産婦及び乳幼児の栄養管理の支援のあり方に関する研究, 離乳支援について, 妊産婦及び乳幼児の栄養管理の支援のあり方に関する研究, 159-175, 2017.
24. 田村文誉 (単著) : 嚥下機能の向上を図るために, ひろしまの国保, 769 : 11-12, 2017.
25. 菊谷 武 (分担執筆) : 口が知らせる「病気のサイン」とは?, 口から始まる健康生活, 毎日が発見, 161 : 58-59, 2017.
26. 菊谷 武, 西山耕一朗 (共著) : 誤嚥性肺炎の予防策 のど仏周辺の筋トレを, 毎日新聞, 3, 2017年7月20日.
27. 菊谷 武, 田村文誉 (共著) : 多摩クリニック開院5周年, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 43 (2) : 73, 2017.
28. 古屋裕康, 須田牧夫, 菊谷 武 (共著) : オーラルフレイルを学ぶ第3回 オーラルフレイルをどのように診断するか?, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 21 (3) : 2-6, 2018.
29. 菊谷 武 : あさいち, NHK, 2017年12月4日【テレビ出演】.
30. 菊谷 武 : 深層ニュース, BS日テレ, 2018年1月25日【テレビ出演】.
31. 菊谷 武 : 主治医が見つかる診療所, テレビ東京, 2018年2月1日【テレビ出演】.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 山田裕之, 松田英恵, 小方清和, 佐藤潤子, 鈴木厚子, 田村文誉 : 京都多摩地区における小児在宅歯科医療の取り組み, 小児歯科学雑誌, 55 (2) : 189, 2017.
2. 五十嵐公美, 尾関麻衣子, 佐川敬一朗, 戸原 雄, 須田牧夫, 田村文誉, 菊谷 武 : 舌圧と摂食機能, 栄養状態についての検討, 老年歯学, 32 (2) : 112, 2017.
3. 鈴木いずみ, 岩淵 信, 五十嵐公美, 仲澤裕次郎, 菊谷 武 : 当クリニックにおける介護予防を目的とした短期集中訓練サービスの取り組み, 老年歯学, 32 (2) : 122-123, 2017.
4. 尾関麻衣子, 菊谷 武, 田村文誉, 須田牧夫, 五十嵐公美, 平澤玲子 : 進行性の神経・筋疾患患者に対する管理栄養士による栄養ケア後の変化の検討, 老年歯学, 32 (2) : 126-127, 2017.
5. 佐川敬一朗, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田村文誉, 菊谷 武 : 地域における嚥下調整食の情報提供に関する追跡調査, 老年歯学, 32 (2) : 128-129, 2017.
6. 加藤正浩, 辰野 隆, 宮原隆雄, 蒲地史郎, 鈴木健太郎, 戸原 雄, 菊谷 武 : 介護老人福祉施設における摂食支援カンファレンス4年間の推移と今後の展開, 老年歯学, 32 (2) : 155-156, 2017.
7. 新藤広基, 仲澤裕次郎, 矢島悠里, 田中康貴, 有友たかね, 田中祐子, 田村文誉, 菊谷 武 : 就寝前の口腔清掃が就寝中の高齢者の細菌数に与える効果, 老年歯学, 32 (2) : 160-161, 2017.
8. 鰐原賀子, 高橋賢晃, 児玉実穂, 須釜慎子, 田村文誉, 菊谷 武 : 上顎癌切除後の皮弁再建の有無が顎補綴前後のQOLに与える影響, 老年歯学, 32 (2) : 181-182, 2017.

9. 関野 愉, 沼部幸博, 田村文誉, 菊谷 武: 介護老人福祉施設入居者の口腔衛生状態と歯周疾患罹患状況—検診事業開始 10 年後の観察研究—, 老年歯学, 32 (2) : 188-189, 2017.
10. 永島圭悟, 古屋裕康, 渡邊 裕, 大島克郎, 田村文誉, 菊谷 武: 通所施設における栄養改善および口腔機能向上サービスの実施体制に関する調査, 老年歯学, 32 (2) : 198-199, 2017.
11. 奥山秀樹, 南 温, 占部秀徳, 木村年秀, 岡林志伸, 長谷剛志, 平野浩彦, 菊谷 武, 植田耕一郎: 在宅高齢者の口から食べる楽しみの支援に関する調査 第 1 報 —自治体アンケート調査とヒアリング調査—, 老年歯学, 32 (2) : 220-221, 2017.
12. 岡林志伸, 南 温, 木村年秀, 占部秀徳, 長谷剛志, 奥山秀樹, 平野浩彦, 菊谷 武, 植田耕一郎: 在宅高齢者の口から食べる楽しみの支援に関する調査 第 2 報 —高齢者の「食」に対する意識調査—, 老年歯学, 32 (2) : 225-226, 2017.
13. 田中敏光, 戸原 雄, 新藤広基, 岡澤仁志, 菊谷 武: 入院中から在宅復帰にかけて歯科がシームレスにかかわることができた 1 症例, 老年歯学, 32 (2) : 227-228, 2017.
14. 宮原隆雄, 辰野 隆, 蒲地史郎, 鈴木健太郎, 加島正浩, 田中康貴, 戸原 雄, 菊谷 武: 1 症例を通して 4 年半の摂食支援カンファレンスから見えてきたこと, 老年歯学, 32 (2) : 228-229, 2017.
15. 古屋裕康, 永島圭悟, 岩淵 信, 石黒幸枝, 久保山裕子, 渡邊 裕, 大島克郎, 田村文誉, 菊谷 武: 通所介護施設での口腔機能低下及び低栄養に対する食支援モデルの検討, 老年歯学, 32 (2) : 236, 2017.
16. 後藤優子, 勝部真由, 五味麻里, 戸原 雄, 五十嵐公美, 森光朋子: 倫理的な意思決定を考える～摂食嚥下機能障害についての基礎知識とグループディスカッション～, 日本精神看護学会第 27 回学術大会・総会プログラム・抄録集, 77, 2017.
17. 尾関麻衣子, 矢島悠里, 菊谷 武, 佐川敬一朗, 有友たかね, 田中祐子: 摂食嚥下リハビリテーション専門クリニックにおいて歯科医師と管理栄養士による栄養状態の改善を図った症例, 日本在宅栄養管理学会誌, 4 (1) : 60, 2017.
18. 佐川敬一朗, 原 純也, 松野さおり, 田村文誉, 菊谷 武: 地域における食の情報共有を目的とした食支援ホームページの作成と利用状況に関する報告, 第 23 回摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 525, 2017.
19. 山田裕之, 田村文誉, 關 達也, 石井利明, 永島圭悟, 宮下大志, 菊谷 武: 口腔周囲筋の活動を測定する小型筋電センサーシステムの開発, 第 23 回摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 597, 2017.
20. 光岡一行, 佐藤 巖: ヒト上頸神経節における肉眼解剖学的評価, 第 59 回 歯科基礎医学会学術大会ならびに総会プログラム集, 270, 2017.
21. 菊池真依, 水上美樹, 西澤加代子, 田中祐子, 菊谷 武, 田村文誉: 小児摂食外来における経管栄養患者の実態調査, 日衛学誌 (JJSDH), 12 (1) : 104, 2017.
22. 松田英恵, 小方清和, 山田裕之, 田村文誉, 佐藤潤子, 鈴木厚子, 渡邊里子: 多摩地区における小児在宅歯科医療の支援システム構築と医療連携, 小児歯科学雑誌, 56 (1) : 108, 2017.
23. 荒川いつか, 戸原 雄, 白野美和, 二宮一智, 菊谷 武: 健常高齢者の口腔機能低下と口腔機能トレーニングに関する検討, 日本サルコペニア・フレイル学会誌プログラム&抄録集, 76, 2017.
24. 礪田友子, 田村文誉, 水上美樹, 西澤加代子, 保母妃美子, 菊谷 武: ダウン症候群児の摂食機能の発達—捕食時口唇圧について—, 障歯誌, 38 (3) : 259, 2017.
25. 仲澤裕次郎, 元開早絵, 新藤広基, 礪田友子, 菊池栄子, 元橋功典, 齊藤 峻, 千木良あき子, 田村文誉, 菊谷 武: 経管栄養注入前の事前経口摂取が重症心身障害者の脳機能に与える効果に

- ついて、障歯誌, 38 (3) : 263, 2017.
26. 元開早絵, 町田麗子, 児玉実穂, 須釜慎子, 田村文誉, 菊谷 武 : 18 トリソミー児に対し在宅訪問診療にて摂食指導を行った症例, 障歯誌, 38 (3) : 432, 2017.
 27. 水上美樹, 田村文誉, 磯田友子, 西澤加代子, 松山美和, 菊谷 武 : ダウン症候群児に特化した摂食機能プロトコルの開発に向けての取り組み—新たな分類の有用性についての検討—, 障歯誌, 38 (3) : 436, 2017.
 28. 山田裕之, 田村文誉, 杉本 明, 辰野 隆, 田村光平, 矢島悠里, 水上美樹, 土方深雪, 小方清和, 菊谷 武 : 訪問看護ステーションが対応している重症心身障害児と在宅歯科医療の現状を確認したアンケート, 障歯誌, 38 (3) : 451, 2017.
 29. 田中祐子, 松山美和, 田村文誉, 磯田友子, 菊谷 武 : 口腔リハビリテーションクリニックにおける偏食・拒食を有する発達期障害児の現状, 第 31 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 254, 2017.
 30. 菊谷 武, 矢島悠里, 五十嵐公美, 古屋裕康, 佐川敬一朗, 須田牧夫, 田村文誉 : 摂食嚥下リハビリテーション外来に来院したサルコペニアによる摂食嚥下障害患者についての臨床的検討, 日本静脈経腸栄養学会雑誌, 33 : 462, 2018.
 31. 佐川敬一朗, 田村文誉, 菊谷 武 : 地域における食支援を推進する取組み—地域における嚥下調整食に関する実態調査の結果から—, 第 4 回日本栄養材形状機能研究会学術集会, 2017 年 9 月 30 日, https://www.jstage.jst.go.jp/article/jспен/32/5/32_SUP132/_pdf/-char/ja. (参照 2018 年 3 月 8 日)

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 菊谷 武 : 呼吸器疾患における嚥下障害の病態とアウトカム (誤嚥性肺炎予防と口腔ケア), 第 57 回日本呼吸器学会学術講演会, 講演会, 東京都, 2017 年 4 月 22 日.
2. 菊谷 武 : 高齢者の口から食べる楽しみを支援するために, 第 8 回日本プライマリ・ケア連合学会, シンポジウム, 香川県, 2017 年 5 月 14 日.
3. 菊谷 武 : 歯科と栄養が会う時, 第 28 回日本老年歯科医学会, シンポジウム, 愛知県, 2017 年 6 月 16 日.
4. 菊谷 武 : 地域で食べるを支えるということ, 第 19 回日本在宅医学会大会, ランチョンセミナー, 愛知県, 2017 年 6 月 17 日.
5. 菊谷 武 : 食の情報が地域で共有されるために, 第 5 回日本在宅栄養管理学会, シンポジウム, 神奈川県, 2017 年 7 月 2 日.
6. 菊谷 武 : 地域における食支援—なにをどう食べるかを地域で共有するために—, 全国栄養士大会, 講演会, 神奈川県, 2017 年 8 月 6 日.
7. 菊谷 武 : 在宅医療における口腔機能管理～食べるを支える, 平成 29 年度 公益社団法人日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会, 県民フォーラム, 山口県, 2017 年 8 月 26 日.
8. 菊谷 武 : 食べることに問題のある患者に歯科は何ができるか, 日本口腔インプラント学会, 講習会, 東京都, 2017 年 9 月 10 日.
9. 菊谷 武 : 口腔の機能低下 (オーラルフレイル) が及ぼす病態と対策, 第 10 回日本健康医療学会, 基調講演, 東京都, 2017 年 9 月 17 日.
10. 菊谷 武 : 音声言語における“歯”の役割—忘れていませんか? 歯の問題—, 第 62 回日本音声言語医学会, 教育セミナー, 宮城県, 2017 年 10 月 6 日.
11. 菊谷 武 : いまなぜオーラルフレイルが重要なのか, 日本サルコペニア・フレイル学会, シンポ

ジウム，京都府，2017年10月14日．

12. 菊谷 武：摂食嚥下障害と口腔健康管理，日本歯学系学会協議会，シンポジウム，東京都，2017年11月12日．

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 磯田友子：肢体不自由児の摂食指導，平成 29 年度東京都立八王子東特別支援学校新転任者研修会，東京都八王子市，2017年4月6日．
2. 菊谷 武：地域における食支援～食支援マップの活用と応用～，介護関連職種向け講演会，東京都西東京市，2017年4月18日．
3. 元開早絵：摂食指導研修会，平成 29 年度摂食指導研修会，都立多摩桜の丘学園保護者研修会，東京都多摩市，2017年4月26日．
4. 菊谷 武：「地域で食べるを支えるということ」，平成 29 年度全国厚生連栄養士協議会 所属長会議，東京都渋谷区，2017年5月12日．
5. 菊谷 武：要介護高齢者の口腔機能と食形態，ifia JAPAN 2017「おいしさを創るテクスチャー」セミナー講演，東京都江東区，2017年5月25日．
6. 菊谷 武：摂食えん下障害患者に対する栄養指導，平成 29 年度特定給食施設（病院・福祉施設等）栄養士講習会，東京都荒川区，2017年5月29日．
7. 菊谷 武：「認知症と歯科」～認知症になる前にすること。なったらすること～，県民向け無料公開講座「彩歯健康アカデミー」，埼玉県さいたま市，2017年6月4日．
8. 菊谷 武：高齢者に必要なお口の知識，木曜会，東京都小金井市，2017年6月8日．
9. 菊谷 武：「明日から実践！摂食嚥下に強くなる。」～口から食べ続けるための技術と応用～，臨床栄養学セミナーⅠ，神奈川県海老名市，2017年6月9日．
10. 菊谷 武：認知症と嚥下機能，社会福祉法人青梅白寿会シルバーコート丹三郎研修会，東京都青梅市，2017年6月10日．
11. 菊谷 武：参議院あつとで，歯科口腔医療勉強会，東京都千代田区，2017年6月12日．
12. 菊谷 武：誤えん性肺炎発症を防ぐ歯の健康，お口の歯つらつ元気塾，東京都荒川区，2017年6月22日．
13. 磯田友子：摂食機能の発達と支援，平成 29 年度東京都立小平特別支援学校全校研修会，東京都小平市，2017年6月27日．
14. 菊谷 武：認知症高齢者の歯科検診について，すこやか歯科検診研修会，東京都世田谷区，2017年7月7日．
15. 菊谷 武：『摂食・嚥下障害のある高齢者の「食べる」を支える』，平成 29 年度第 2 回給食施設従事者講習会，東京都江戸川区，2017年7月24日．
16. 菊谷 武：摂食嚥下の栄養管理と地域連携，東京都委託事業 栄養指導従事者教育事業研修会，東京都武蔵野市，2017年7月25日．
17. 佐川敬一郎：地域包括ケアにおける摂食嚥下の取り組み，東京都荒川区薬剤師会研修会，東京都荒川区，2017年7月26日．
18. 菊谷 武：「噛むこと・食べること・飲み込むこと」，平成 29 年度区民(介護者)向け摂食えん下講座，東京都北区，2017年7月27日．
19. 菊谷 武：摂食嚥下障害の評価と対応，日本訪問歯科協会認定医講座，東京都千代田区，2017年7月30日．
20. 菊谷 武：高齢者の低栄養予防と多職種との食支援について，栄養士会佐久支部支部研修会，長

野県佐久市，2017年9月9日。

21. 菊谷 武：食べることに問題のある患者に歯科は何か出来るのか，公益社団法人日本口腔インプラント学会認定講習会，東京都港区，2017年9月10日。
22. 菊谷 武：「摂食能力と食形態～スマイルケア食の活用方法～」，平成29年度農山漁村第6次産業化対策事業「スマイルケア食普及対策事業」，東京都千代田区，2017年9月20日。
23. 菊谷 武：摂食嚥下と口腔ケアの意義，第15回口腔ケア研修会，2017年9月21日。
24. 菊谷 武：いつまでもおいしく口から食べるために、いつまでも楽しく会話ができるために、口腔リハビリの観点から「口」を守ることの大切さを理解するとともにその方策について，法人拡大研修「口腔リハビリテーション～いつまでも口から食事を～」，東京都青梅市，2017年9月29日。
25. 菊谷 武：多職種連携で「食べる」を支える，多職種連携のためのセミナー，神奈川県横須賀市，2017年10月3日。
26. 菊谷 武：「知ってほしい僕たちのこと～歯と入れ歯の話～」，入れ歯感謝デー市民公開講座，東京都江東区，2017年10月8日。
27. 菊谷 武：「オーラルフレイルって知ってますか？—いつまでも楽しくお食事していただくために—」，8020歯っぴい&健康フェスタ世田谷，東京都世田谷区，2017年10月15日。
28. 菊谷 武：「オーラルフレイルって知ってますか？」～いつまでもおいしく食べる方法お教えします～，市民公開講座，東京都小金井市，2017年10月18日。
29. 菊谷 武：高齢者の栄養管理について，「臨床栄養ケアマネジメント論」「臨床栄養ケアマネジメント実習」特別授業，東京都千代田区，2017年10月20日。
30. 菊谷 武：第6回在宅歯科医療研修会，滋賀県近江八幡市，2017年10月22日。
31. 菊谷 武：「知っていますかオーラルフレイル—口腔機能の低下とその対応—」，安佐歯科医師会主催講演会，広島県広島市，2017年10月24日。
32. 菊谷 武：「食」を支える地域づくり～摂食・嚥下機能障害を支援する～，在宅医療・介護連携推進協議会，東京都武蔵野市，2017年10月26日。
33. 菊谷 武：口から食べることの重要性～「食」から考える高齢者の健康と幸せ～，CareTEX One in 横浜 専門セミナー，神奈川県横浜市，2017年11月1日。
34. 菊谷 武：在宅で管理栄養士に望む栄養指導のあり方，第8回摂食・嚥下リハビリテーションと栄養ケアセミナー 摂食嚥下障害のリスク管理と栄養指導の実践，東京都千代田区，2017年11月4日。
35. 菊谷 武：地域における食支援—なにをどう食べるかを地域で共有するために—，群馬県歯科医師会・老年歯科医学会群馬支部，群馬県前橋市，2017年11月5日。
36. 菊谷 武：府中市摂食・嚥下専門相談について，東京都府中市，2017年11月16日。
37. 菊谷 武：「噛むこと・食べる機能を知る～乳幼児から高齢者までの食支援のポイント～」，給食施設管理講習会，東京都品川区，2017年11月20日。
38. 菊谷 武：「口腔ケア」，平成29年度回復期リハビリテーション看護師認定コース 第11期，東京都港区，2017年11月23日。
39. 菊谷 武：『地域で食べるを支えるということ—食の情報を地域でどのように共有するのか？—』，香川県摂食・嚥下障害研究会 第15回講演会，香川県高松市，2017年11月26日。
40. 菊谷 武：地域で「食べる」を支えるということ～在宅食支援からみえてきたこと～，岡山県委託事業 要介護高齢者の低栄養を防ぐための医師・歯科医師と管理栄養士による口腔栄養関連サービスの推進公開セミナー，岡山県岡山市，2017年12月3日。

41. 菊谷 武：「地域で考える摂食嚥下機能支援」，平成 29 年度摂食嚥下機能支援連絡会シンポジウム，東京都調布市，2017 年 12 月 7 日．
42. 菊谷 武：歯科医学教育 up to date③「地域包括ケアシステムにおける歯科医師の役割—なにを、どのように伝えるのか？—」，第 8 回歯科医学教育者のためのワークショップ，千葉県千葉市，2017 年 12 月 8 日．
43. 菊谷 武：「増える歯科難民を救う」—トップランナーが語る訪問診療のコツとツボ—，愛知学院大学歯学部同窓会 平成 29 年度ポストグラデュエートコース，愛知県名古屋市，2017 年 12 月 10 日．
44. 菊谷 武：平成 29 年度品川福祉カレッジ 口腔機能向上・ケア講座ステップアップ講座，東京都品川区，2017 年 12 月 12 日．
45. 菊谷 武：平成 29 年度日本歯科大学学内校友会東京支部特別講演，東京都千代田区，2017 年 12 月 14 日．
46. 菊谷 武：平成 29 年度介護予防ケアマネジメント研修，東京都中央区，2017 年 12 月 14 日．
47. 菊谷 武：『地域における食支援—何をどう食べるかを共有するために—』，第 5 回豊田市在宅医療シンポジウム，愛知県豊田市，2017 年 12 月 16 日．
48. 菊谷 武：地域で支える高齢者の「食」～多職種連携と食形態の共有，平成 29 年度摂食嚥下機能支援基盤整備「摂食嚥下機能支援研修会」，東京都府中市，2017 年 12 月 18 日．
49. 菊谷 武：『オーラルフレイルって知っていますか？—何を診て、どう対応するのか？—』，平成 29 年度口腔保健指導者研修会，岐阜県岐阜市，2018 年 1 月 18 日．
50. 菊谷 武：「多職種連携による食支援について」，多職種連携による研修会，熊本県天草市，2018 年 1 月 20 日．
51. 菊谷 武：「他職種でつなげる食支援について」，在宅歯科従事者研修事業，熊本県熊本市，2018 年 1 月 21 日．
52. 菊谷 武：「地域で“食べる”を支えるということ」～食の情報を地域でどのように共有するのか～，在宅医療・介護連携講演会，三重県熊野市，2018 年 1 月 26 日．
53. 菊谷 武：いつまでも口からおいしく食べるために～怪しい？食のメカニズムを知り対応する～，船橋市主催無料講演会，千葉県船橋市，2018 年 1 月 27 日．
54. 菊谷 武：摂食嚥下にかかわるテーマ，名古屋掖済会病院 NST 講演会，愛知県名古屋市，2018 年 1 月 29 日．
55. 菊谷 武：「多職種による事例検討会」，北区摂食嚥下機能評価医・リハビリテーションチーム養成フォローアップ研修会，東京都北区，2018 年 1 月 30 日．
56. 菊谷 武：「高齢者における摂食嚥下機能維持のための支援について」，平成 29 年度福祉施設栄養士研修会，宮城県仙台市，2018 年 1 月 30 日．
57. 菊谷 武：「お家に行こう！—お家に行って行う事、お家に行く前に行う事—」，平成 29 年度東京都 8020 運動推進特別事業在宅歯科医療研修医会③，東京都小金井市，2018 年 2 月 2 日．
58. 菊谷 武：歯科と認知症，港区緩和ケア講習会，東京都港区，2018 年 2 月 7 日．
59. 菊谷 武：「知っていますか？オーラルフレイル～元気のもとは、お口から～」，オーラルフレイル研修会，静岡県浜松市，2018 年 2 月 12 日．
60. 須田牧夫：認知症の方への摂食嚥下機能支援，平成 29 年度 摂食嚥下機能支援事例検討会，東京都福生市，2018 年 2 月 15 日．
61. 菊谷 武：「摂食・嚥下」，平成 29 年度第 3 回研修会，熊本県熊本市，2018 年 2 月 17 日．
62. 菊谷 武：オーラルフレイル普及にかかわる研修会，山梨県甲府市，2018 年 2 月 18 日．

63. 菊谷 武：高齢者の口腔機能の向上支援，口腔機能向上指導者養成講座，東京都新宿区，2018年2月23日。
64. 菊谷 武：学術・障害者歯科診療・在宅歯科診療合同講習会，大阪府堺市，2018年2月24日。
65. 菊谷 武：「必修！これから歯科はオーラルフレイル」，8020推進地域活動研修会，静岡県浜松市，2018年3月1日。
66. 菊谷 武：「知ってますか？オーラルフレイル—地域で取り組む口腔機能低下対策—」，市民講演会，北海道旭川市，2018年3月4日。
67. 菊谷 武：「認知症に対する歯科医療とは」，軽度認知障害支援歯科医・歯科衛生士認定講習会，大阪府大阪市，2018年3月18日。

口腔リハビリテーション科

Division of Rehabilitation for Speech and Swallowing Disorders

1. 所属構成員等

教授 菊谷 武, 田村 文誉
講師 児玉 実穂, 須田 牧夫, 高橋 賢晃, 町田 麗子, 戸原 雄
助教 山田 裕之, 保母妃美子, 佐々木力丸, 鰐原 (小川) 賀子, 佐川敬一朗,
古屋 裕康, 矢島 悠里
非常勤歯科医師 須釜 慎子, 元開 早絵, 新藤 広基
レジデント 柴崎 育美, 塩原裕一朗, 佐藤 貴信, 殿山 賢
臨床教授 Michael Groher, 鈴木 文晴, 松本 宜明, 米山 武義
臨床準教授 今井 庸子, 五島 朋幸, 花形 哲夫, 吉田 光由
臨床講師 鈴木 亮, 西方 浩一, 池田 登顕, 南雲 健吾, 三好 真人,
佐々木由香, 兵頭 洋子, 下嶋 哲也, 沼田 淳子, 喜屋武ちひろ,
大石 朋子, 田代 晴基, 岡澤 仁志

2. 研究テーマ

- 1) 摂食・嚥下リハビリテーション Dysphagia rehabilitation.
- 2) 口腔ケア Oral health Care.
- 3) 高齢者に対する歯科診療 Dental treatment for Elderly People.
- 4) 歯科訪問診療 Home Visiting Dental Care.
- 5) 咀嚼器官の運動障害が咀嚼機能に与える影響 Masticatory function affected by masticatory disorders with motor disorder.
- 6) レット症候群の摂食機能 Feeding of Rett syndrome.
- 7) コミュニケーション障害患者のリハビリテーション Speech and language therapy in communication disorders.
- 8) 高次脳機能障害患者の社会復帰支援 Social problem for person with traumatic brain injury and their significant others.
- 9) 誤嚥性肺炎と口腔ケア Aspiration pneumonia and oral health care.
- 10) 障害児の摂食機能 Feeding function of disabled children.
- 11) 小児の摂食機能の発達と障害 Development and disabilities of feeding in children.
- 12) 子供の食の問題と母親の育児負担との関係 Relationship between children's eating problem and mother's parenting burden.
- 13) 原始反射の再出現が摂食機能に与える影響 Effects of reappearance of primitive reflexes on eating function and prognosis.
- 14) 口唇口蓋裂児の吸啜時の舌運動の解析 Analysis of tongue movements during sucking by infants with cleft lip and palate.
- 15) 地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成プログラムの構築 Development of cultivation program for dentist for the regional comprehension system.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 日本障害者歯科学会 iADH 研究奨励賞, 矢島悠里, 2017年10月28日, Relationship between tongue

strength and 1-year life expectancy in elderly people needing nursing care.

- 2) 日本障害者歯科学会 iADH 研究奨励賞, 佐川敬一朗, 2017 年 10 月 28 日, Tongue function is important for masticatory performance in the elderly people —A cross-sectional survey of community-dwelling elderly—.
- 3) 日本障害者歯科学会 iADH 研究奨励賞, 古屋裕康, 2017 年 10 月 28 日, Approach to resuming oral food intake in patients receiving gastrostomy tube feeding at home.

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 摂食・嚥下研修会「食べるを支える」～発達期障害の理解を深める！～, 多摩クリニック, 2017 年 7 月 25 日, 12 月 12 日, 2018 年 1 月 23 日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 2) 摂食嚥下研修会, 日本歯科大学附属病院, 2017 年 5 月 11 日, 11 月 9 日, 12 月 7 日, 日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科.
- 3) こども摂食嚥下研修会, 日本歯科大学附属病院, 2017 年 7 月 6 日, 11 月 9 日, 12 月 14 日, 2018 年 3 月 8 日, 日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科.
- 4) Tokyo EAT 研修会, 小金井宮地楽器ホール, 2017 年 4 月 1 日, 11 月 24 日, 2018 年 2 月 19 日, Tokyo EAT (栄養と摂食を考える研究会).
- 5) 医療・介護専門職向け研修セミナー 摂食嚥下研修会「食べるを支える」, 小金井宮地楽器ホール, 2017 年 6 月 30 日, 9 月 21 日, 11 月 17 日, 2018 年 3 月 9 日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 6) 日本歯科大学新潟病院 摂食嚥下研修会, 日本歯科大学新潟生命歯学部, 2017 年 9 月 29 日, 11 月 24 日, 2018 年 1 月 26 日, 戸原 雄 (日本歯科大学新潟病院 訪問歯科口腔ケア科).

6. 国際交流状況

- 1) 摂食・嚥下リハビリテーション分野において, 世界的に有名なアメリカ・レッドランズ大学のマイケル・グロハー教授の嚥下障害研修および症例検討会に参加するとともに, 研究打ち合わせのため, アメリカ・レッドランズ大学を訪問した. 平成 29 年 5 月 14 日～5 月 19 日.
- 2) アメリカレッドランズ大学のマイケル・グロハー教授を招聘し, 摂食・嚥下障害コースの受講及び研究打ち合わせを東京で行った. 平成 29 年 11 月 14 日.
- 3) 中山医学院の Chuan-Hang Yu 教授が, 摂食嚥下障害の診断および診療方法を学び, 摂食嚥下リハビリテーションを台湾で広めることを目的に, 多摩クリニックにおいて見学研修を行った. 平成 29 年 3 月 2 日～4 月 28 日.
- 4) 台湾高雄医学大学口腔医学院の医療関係者が来日し, 多摩クリニックにて見学研修を行った. 平成 29 年 6 月 19 日, 平成 30 年 3 月 27 日.

7. 外部・学内研究費

- 1) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 若手研究 (B) (継続), 平成 27～29 年度, 軽度認知症高齢者の食行動の異常に関する研究, 小川賀子 (代表), 3,900,000 円, 平成 29 年度 780,000 円.

- 2) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，基盤研究 (C) (継続)，平成 27～29 年度，経口摂取は胃瘻患者の認知機能および身体機能の改善に寄与できるか？，田村文誉 (代表)，八重垣健 (分担)，菊谷 武 (分担)，町田麗子 (分担)，水上美樹 (分担)，4,680,000 円，平成 29 年度 1,040,000 円。
- 3) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，基盤研究 (C) (継続)，平成 27～29 年度，地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成システムの構築，須田牧夫 (代表)，菊谷 武 (分担)，田村文誉 (分担)，町田麗子 (分担)，4,810,000 円，平成 29 年度 780,000 円。
- 4) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，研究活動スタート支援 (継続)，平成 28～29 年度，患者および家族の QOL の変化から見た在宅歯科医療のエビデンス構築，古屋裕康 (代表)，2,990,000 円，平成 29 年度 1,430,000 円。
- 5) 厚生労働科学研究，成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 (継続)，平成 28～29 年度，妊産婦及び乳幼児の栄養管理の支援のあり方に関する研究，楠田 聡 (代表)，田村文誉 (分担)，山田裕之 (分担)，9,000,000 円，平成 29 年度 500,000 円。
- 6) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，基盤研究 (C) (継続)，平成 28～32 年，新たな摂食嚥下機能プロトコールは早期加齢リスクのあるダウン症候群に有効か？，水上美樹 (代表)，菊谷 武 (分担)，田村文誉 (分担)，松山美和 (分担)，4,810,000 円，平成 29 年度 780,000 円。
- 7) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，若手研究 (B)，平成 29～30 年度，小児口腔ケアを対象とした新たな医療連携開発：エビデンス構築による医科との関係強化，山田裕之 (代表)，2,300,000 円，平成 29 年度 1,820,000 円。
- 8) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，若手研究 (B) (新規)，平成 29～30 年度，脳血管疾患患者へのニューロフィードバックを用いた摂食嚥下リハビリテーションの確立，元開早絵 (代表)，3,770,000 円，平成 29 年度 1,950,000 円。

8. 研究業績

A. 著 書

1. 菊谷 武 (分担執筆)：第 2 章 高齢者に多い内科系疾患の歯科治療前評価と対応 3. 脳血管障害 (3) 脳血管疾患の後遺症，68-69，小谷順一郎，砂田勝久 (編集)，高齢者歯科医療—歯科治療につながる医学知識—，永末書店，京都，2017，ISBN：978-4-8160-1323-2.
2. 田村文誉，小方清和 (分担執筆)：歯科・口腔外科；重症心身障害児に対する口腔ケア，194-203，浅倉次男 (監修)，重症心身障害児のトータルケア 新しい発達支援の方向性を求めて 改訂第 2 版，へるす出版，東京，2017，ISBN：978-4-89269-934-4.
3. 田村文誉 (分担執筆)：8 章 障害児の歯科治療 脳性麻痺，重症心身障害，摂食嚥下障害，374-382，白川哲夫，飯沼光生，福本 敏 (編集)，小児歯科学 第 5 版，医歯薬出版，東京，2017，ISBN：978-4-263-45807-5.
4. 児玉実穂 (分担執筆)：妊婦による口腔内の変化と赤ちゃんへの影響をこう説明しましょう，126-134，歯科医院で患者さんにしっかり説明できる本—患者教育に重要なトピック 14—，クインテッセンス出版，東京，2017，ISBN：978-4-7812-0581.
5. 田村文誉，児玉実穂 (分担執筆)：特別な支援が必要な人への歯科保健，211-214，泉福英信 (編集)，デンタルスタッフの口腔衛生学・歯科衛生統計，医歯薬出版，東京，2017，ISBN：978-4-263-42246-5.
6. 須田牧夫 (分担執筆)：誤嚥性肺炎の病態と予防策，70-78，下山和弘，羽村 章 (編集)，疾患を有する高齢者の口腔健康管理，口腔保健協会，東京，2017，ISBN：978-4-89605-336-4.

B. 原 著

1. 戸原 雄, 菊谷 武, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田中康貴, 田村文誉 : 市販咀嚼訓練食品を用いた咀嚼能力評価, ○日摂食嚥下リハ会誌, 2017 ; 21 (1) : 3-10.
Tohara T, Kikutani T, Yajima Y, Igarashi K, Tanaka Y, Tamura F : An Attempt to Evaluate Masticatory Performance Using Commercially Sold Masticatory Training Food, ○The Japanese Journal of Dysphagia Rehabilitation, 2017 ; 21 (1) : 3-10.
2. Yajima Y, Kikutani T, Tamura F, Yoshida M : Relationship between tongue strength and 1-year life expectancy in elderly people needing nursing care, ◎☆Odontology, 2017 ; 105 : 477-483, doi : 10.1007/s10266-016-0289-7.
3. *Mitsuoka K, Kikutani T, Sato I : Morphological relationship between the superior cervical ganglion and cervical nerves in Japanese cadaver donors, ◎☆Brain. Behav., 2016 ; 7 (2) : 1-9, doi : 10.1002/brb3.619.
(学位論文)
4. *Mitsuoka K, Kikutani T, Miwa Y, Sato I : Expression of CGRP neurotransmitter and vascular genesis marker mRNA is age-dependent in superior cervical ganglia of senescence-accelerated prone mice, ◎☆Neurosci. Lett., 2018 ; 664 : 144-151, doi : 10.1016/j.neulet.2017.11.034. (学位論文)
5. Tohara T, Kikutani T, Tamura F, Yoshida M, Kuboki T : Multicentered epidemiological study of factors associated with total bacterial count in saliva of older people requiring nursing care, ◎☆Geriatrics & Gerontology International, 2017 ; 17 : 219-225, doi : 10.1111/ggi.12695.
6. Nanri H, Yamada Y, Itoi A, Yamagata E, Watanabe Y, Yoshida T, Miyake M, Date H, Ishikawa-Takata K, Yoshida M, Kikutani T (11th), Kimura M (12 authors) : Frequency of Fruit and Vegetable Consumption and the Oral Health-Related Quality of Life among Japanese Elderly: A Cross-Sectional Study from the Kyoto-Kameoka Study, ◎☆Nutrients, 2017 ; 9 (12) : 1362, doi : 10.3390/nu9121362.
7. Higashiguchi T, Ohara H, Kamakura Y, Kikutani T, Kuzuya M, Enoki H, Sanada H, Matsuzaki M, Maruyama M (9 authors) : Efficacy of a New Post-Mouthwash Intervention (Wiping Plus Oral Nutritional Supplements) for Preventing Aspiration Pneumonia in Elderly People: A Multicenter, Randomized, Comparative Trial, ◎☆Ann. Nutr. Metab., 2017 ; 71 (3-4) : 253-260, doi : 10.1159/000485044.
8. Tanaka T, Takahashi K, Hirano H, Kikutani T, Watanabe Y, Ohara Y, Furuya H, Tsuji T, Akishita M, Iijima K : Oral Frailty as a Risk Factor for Physical Frailty and Mortality in Community-Dwelling Elderly, ◎☆J. Gerontol. A Biol. Sci. Med. Sci., 2017 ; doi : 10.1093/gerona/glx225. [Epub ahead of print]
9. Takeuchi K, Furuta M, Okabe Y, Suma S, Takeshita T, Akifusa S, Adachi M, Kinoshita T, Kikutani T (9th), Yamashita Y (10 authors) : Swallowing disorders and 1-year functional decline in community-dwelling older adults receiving home care, ◎☆J. Oral Rehabil., 2017 ; 44 (12) : 982-987, doi : 10.1111/joor.12577.
10. Yamada Y, Nanri H, Watanabe Y, Yoshida T, Yokoyama K, Itoi A, Date H, Yamaguchi M, Miyake M, Yamagata E, Tamiya H, Nishimura M, Fujibayashi M, Ebine N, Yoshida M, Kikutani T (16th), Yoshimura E, Ishikawa-Takata K, Yamada M, Nakaya T, Yoshinaka Y, Fujiwara Y, Arai H, Kimura M (27 authors) : Prevalence of Frailty Assessed by Fried and Kihon Checklist Indexes in a Prospective Cohort Study: Design and Demographics of the Kyoto-Kameoka Longitudinal Study, ◎☆J. Am. Med. Dir. Assoc., 2017 ; 18 (8) : 733, doi : 10.1016/j.jamda2017.02.022.
11. Watanabe Y, Hirano H, Arai H, Morishita S, Ohara Y, Edahiro A, Murakami M, Shimada H, Kikutani T (9th), Suzuki T (10 authors) : Relationship Between Frailty and Oral Function in Community-Dwelling

Elderly Adults, ©☆J. Am. Geriatr. Soc., 2017 ; 65 (1) : 66-76, doi : 10.1111/jgs.14355.

12. Koda Y, Aoike I, Hasegawa S, Osawa Y, Nakagawa Y, Iwabuchi F, Iwahashi C, Sugimoto T, Kikutani T (9th) (9 authors) : Feasibility of intermittent back-filtrate infusion hemodiafiltration to reduce intradialytic hypotension in patients with cardiovascular instability: a pilot study, ©☆Clin. Exp. Nephrol., 2017, 21 (2) : 324-332, doi : 10.1007/s10157-016-1270-z.

C. 総説・解説

1. 田村文誉, 菊谷 武, 白川哲夫, 秋山茂久, 堤香奈子, 森崎市治郎, 保母妃美子, 玄 景華, 武井浩樹, 高森一乗 (共著) : レット症候群患者の口腔機能障害の把握と歯科医療支援, 障歯誌, 38 (2) : 140-147, 2017.
2. 田村文誉, 菊谷 武 (共著) : 歯科における細菌カウンタの利用, 日本歯科理工学会誌, 36 (4) : 237-240, 2017.
3. 田村文誉 (単著) : 認定衛生士 (障害者歯科) になって活躍しましょう!, 障歯誌, 38 (4) : ii - iii, 2017.
4. 田村文誉 (単著) : 授乳と離乳—小児科医の基礎知識, 小児内科, 50 (1) : 45-49, 2018.
5. 菊谷 武 (単著) : 摂食嚥下リハビリテーション, 総合リハビリテーション, 45 (11) : 1125-1129, 2017.
6. 児玉実穂 (共著) : 金銀パラジウム合金クラスプの変色や腐食に影響を及ぼす因子についての調査研究, 日本歯科人間ドック学会誌, 12 (1) : 11-20, 2017.
7. 田村文誉, 朝田芳信, 白川哲夫, 津賀一弘, 早崎治明, 水上美樹, 山崎要一, 木本茂成, 弘中祥司 (共著) : 小児の口腔機能発達評価マニュアル, 2017, <http://www.jads.jp/date/20180301manual.pdf>.
8. 田村文誉, 近藤博子, 筑比地昌子, 田沼直之, 高橋 智 (共著) : 子どもの食を育む歯科からのアプローチ, 日本歯科医学会誌, 37 : 23-32, 2018.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 佐川敬一朗, 尾関麻衣子, 戸原 雄, 須田牧夫, 菊谷 武 (共著) : “住み慣れた街で生きる” を支援する 地域包括ケアシステムの現場から 外来診療, DENTAL DIAMOND, 42 (4) : 158-161, 2017.
2. 田村文誉 (分担執筆) : 嚥下機能低下, 口腔機能低下症って何? ~診断基準の7項目~, DENTAL DIAMOND, 42 (5) : 66-68, 2017.
3. 佐川敬一朗, 矢島悠里, 菊谷 武 (共著) : 住み慣れた街で生きるを支援する 地域包括ケアシステムの現場から, DENTAL DIAMOND, 42 (5) : 166-170, 2017.
4. 田村文誉 (分担執筆) : Q&A 小児の摂食嚥下障害に対する検査と支援, DENTAL DIAMOND, 42 (8) : 112-113, 2017.
5. 菊谷 武, 須田牧夫, 田中康貴, 戸原 雄 (共著) : “住み慣れた街で生きる” を支援する 地域包括ケアシステムの現場から 介護保険施設との連携, DENTAL DIAMOND, 42 (8) : 146-150, 2017.
6. 古屋裕康, 矢島悠里, 有友たかね, 菊谷 武 (共著) : “住み慣れた街で生きる” を支援する 地域包括ケアシステムの現場から, DENTAL DIAMOND, 42 (9) : 156-161, 2017.
7. 高島良代, 水上美樹, 橋本久美, 礪田友子, 田村文誉, 菊谷 武 (共著) : 知的特別支援学校における知的障害教育外部専門員としての取り組み, “住み慣れた街で生きる” を支援する 地域包括ケアの現場から 特別支援学校への支援を通じて地域とかがわる, DENTAL DIAMOND, 42

- (11) : 186-190, 2017.
8. 橋本久美, 尾関麻衣子, 高島良代, 西澤加代子, 古屋裕康, 田村文誉, 菊谷 武 (共著) : “住み慣れた街で生きる” を支援する 地域包括ケアの現場から イベントを通じて地域とかがわる, DENTAL DIAMOND, 42 (12) : 176-181, 2017.
 9. 尾関麻衣子, 菊谷 武 (共著) : “住み慣れた街で生きる” を支援する 地域ケアシステムの現場から 栄養指導, DENTAL DIAMOND, 42 (13) : 154-159, 2017.
 10. 戸原 雄, 山田裕之, 田村文誉, 菊谷 武 (共著) : “住み慣れた街で生きる” を支援する 地域包括ケアの現場から 地域との連携, DENTAL DIAMOND, 42 (15) : 186-191, 2017.
 11. 菊谷 武, 佐川敬一朗, 矢島悠里 (共著) : 地域包括ケアと在宅医療 在宅における摂食嚥下リハビリテーション, MEDICAL REHABILITATION, 217 : 104-111, 2017.
 12. 菊谷 武, 戸原 雄, 佐川敬一朗, 古屋裕康 (共著) : 在宅における食支援, MEDICAL REHABILITATION 摂食嚥下障害リハビリテーション ABC, 212 : 51-60, 2017.
 13. 菊谷 武 (単著) : 誤嚥性肺炎における細菌叢と口腔ケア, Pharma Medica, 35 (8) : 27-31, 2017.
 14. 菊谷 武 (単著) : 認知症高齢者に対する歯科診療所の役割, 医師協 MATE, 301 : 12-13, 2017.
 15. 菊谷 武 (単著) : 退院後も安全に食べられる栄養指導を実践し口から食べる幸せを地域に広げる, 栄養経営エキスパート, 2 (3) : 69-71, 2017.
 16. 菊谷 武, 丸山道生, 原 純也 (共著) : 在宅でも口から食べるために乗り越えるべき 3 つの課題, 栄養経管エキスパート, 2 (6) : 21-24, 2017.
 17. 菊谷 武 (単著) : いつまでも口からおいしく食べるために, 介護の日しんぶん 2017, 1 : 8, 2017.
 18. 菊谷 武 (共著) : 高齢者歯科のキーワードは栄養である, 地域で「食べる」を支えるということ 一歯科に求められる役割一, 歯界展望, 特別号 : 99-100, 2017.
 19. 田村文誉 (分担執筆) : 地域連携最前線 : 国民目線の到達目標を考える, 歯界展望, 特別号 : 86, 2017.
 20. 田村文誉 (単著) : 歯科はどのようにして子どもたちの未来を支えるか, 歯科医療経済, 72 : 18-21, 2017.
 21. 田村文誉, 武井典子 : 健康で長生き, 上手に老いるために, 歯科医療経済, 77 : 36, 2017.
 22. 菊谷 武 (単著) : 口と歯の病気が「誤嚥性肺炎」を招く, 週刊現代, 59 (23) : 164-169, 2017.
 23. 児玉実穂 (共著) : 妊婦のむし歯&歯周ケア, たまごクラブ, 24 (8) : 97, 2017.
 24. 児玉実穂 (単著) : 妊婦の口腔内環境変化と安心安全な歯科治療~マイナス 1 歳からの口腔管理~, 日本歯科医師会雑誌, 70 (6) : 6-15, 2017.
 25. 菊谷 武 (単著) : 医原性肺炎に警鐘, 日本歯科新聞, 1997 : 5, 2017年11月21日.
 26. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む①, 日本歯科新聞, 1968 : 8, 2017年4月11日.
 27. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む②, 日本歯科新聞, 1972 : 8, 2017年5月16日.
 28. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む③, 日本歯科新聞, 1976 : 5, 2017年6月13日.
 29. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む④, 日本歯科新聞, 1980 : 9, 2017年7月11日.
 30. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む⑤, 日本歯科新聞, 1984 : 9, 2017年8月8日.
 31. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む⑥, 日本歯科新聞, 1988 : 7, 2017年9月12日.
 32. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む⑦, 日本歯科新聞, 1992 : 5, 2017年10月17日.
 33. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む⑧, 日本歯科新聞, 1996 : 8, 2017年11月14日.
 34. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む⑨, 日本歯科新聞, 2000 : 7, 2017年12月12日.
 35. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む⑩, 日本歯科新聞, 2005 : 5, 2018年1月30日.
 36. 田村文誉 (単著) : 増える「医療的ケア児」, 日本歯科新聞, 1982 : 11, 2017年7月25日.

37. 菊谷 武 (分担執筆) : 摂食嚥下障害と口腔健康管理, 歯学協が口腔健康管理をテーマにシンポジウムを有意義に開催, 日本歯科評論, 903 : 174-175, 2018.
38. 田村文誉, 水上美樹 (共著) : 【前編】保護者の悩みの核心と歯科医師への相談内容の差, 日本歯科評論, 77 (10) : 151-154, 2017.
39. 田村文誉, 水上美樹 (共著) : 子どもの摂食嚥下障害にどうかかわるか, 日本歯科評論, 77 (12) : 127-132, 2017.
40. 田村文誉, 山田裕之 (分担執筆) : 妊産婦及び乳幼児の栄養管理の支援のあり方に関する研究, 離乳支援について, 妊産婦及び乳幼児の栄養管理の支援のあり方に関する研究, 159-175, 2017.
41. 田村文誉 (単著) : 嚥下機能の向上を図るために, ひろしまの国保, 769 : 11-12, 2017.
42. 田村文誉 (単著) : 乳幼児のむし歯予防と口の健康, 母子保健, 7月号 : 13, 2017.
43. 菊谷 武 (分担執筆) : 口が知らせる「病気のサイン」とは?, 口から始まる健康生活, 毎日が発見, 161 : 58-59, 2017.
44. 菊谷 武, 西山耕一朗 (共著) : 誤嚥性肺炎の予防策 のど仏周辺の筋トレを, 毎日新聞, 3, 2017年7月20日.
45. 楠田 聡, 伊東宏晃, 鈴木俊治, 野村恭子, 清水俊明, 堤ちはる, 埴 佳生, 田村文誉, 米本直裕, 平池春子, 磯島 豪, 朝倉比都美, 日野優子, 田辺杏由美, 服部綾香, 東海林宏道, 戸津五月, 三橋扶佐子, 山田裕之 : H29年度厚生労働科学研究費補助金 妊産婦及び乳幼児の栄養管理の支援のあり方に関する研究, 2017.
46. 田村文誉 (単著) : コラムニスト オススメの一冊, ぼくのおとうとは機械の鼻, 日本歯科新聞, 2002 : 16, 2018.
47. 高橋賢晃 (分担執筆) : オーラルフレイルとは何ですか, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 42 (4) : 35, 2017.
48. 菊谷 武, 田村文誉 (共著) : 多摩クリニック開院5周年, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 43 (2) : 73, 2017.
49. 古屋裕康, 須田牧夫, 菊谷 武 (共著) : オーラルフレイルを学ぶ第3回 オーラルフレイルをどのように診断するか?, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 21 (3) : 2-6, 2018.
50. 菊谷 武 : あさイチ, NHK, 2017年12月4日【テレビ出演】.
51. 菊谷 武 : 深層ニュース, BS日テレ, 2018年1月25日【テレビ出演】.
52. 菊谷 武 : 主治医が見つかる診療所, テレビ東京, 2018年2月1日【テレビ出演】.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 山田裕之, 松田英恵, 小方清和, 佐藤潤子, 鈴木厚子, 田村文誉 : 京都多摩地区における小児在宅歯科医療の取り組み, 小児歯科学雑誌, 55 (2) : 189, 2017.
2. 五十嵐公美, 尾関麻衣子, 佐川敬一朗, 戸原 雄, 須田牧夫, 田村文誉, 菊谷 武 : 舌圧と摂食機能, 栄養状態についての検討, 老年歯学, 32 (2) : 112, 2017.
3. 鈴木いずみ, 岩渕 信, 五十嵐公美, 仲澤裕次郎, 菊谷 武 : 当クリニックにおける介護予防を目的とした短期集中訓練サービスの取り組み, 老年歯学, 32 (2) : 122-123, 2017.
4. 尾関麻衣子, 菊谷 武, 田村文誉, 須田牧夫, 五十嵐公美, 平澤玲子 : 進行性の神経・筋疾患患者に対する管理栄養士による栄養ケア後の変化の検討, 老年歯学, 32 (2) : 126-127, 2017.

5. 佐川敬一朗, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田村文誉, 菊谷 武 : 地域における嚥下調整食の情報提供に関する追跡調査, 老年歯学, 32 (2) : 128-129, 2017.
6. 加藤正浩, 辰野 隆, 宮原隆雄, 蒲地史郎, 鈴木健太郎, 戸原 雄, 菊谷 武 : 介護老人福祉施設における摂食支援カンファレンス 4 年間の推移と今後の展開, 老年歯学, 32 (2) : 155-156, 2017.
7. 新藤広基, 仲澤裕次郎, 矢島悠里, 田中康貴, 有友たかね, 田中祐子, 田村文誉, 菊谷 武 : 就寝前の口腔清掃が就寝中の高齢者の細菌数に与える効果, 老年歯学, 32 (2) : 160-161, 2017.
8. 鰐原賀子, 高橋賢晃, 児玉実穂, 須釜慎子, 田村文誉, 菊谷 武 : 上顎癌切除後の皮弁再建の有無が顎補綴前後の QOL に与える影響, 老年歯学, 32 (2) : 181-182, 2017.
9. 関野 愉, 沼部幸博, 田村文誉, 菊谷 武 : 介護老人福祉施設入居者の口腔衛生状態と歯周疾患罹患状況一検診事業開始 10 年後の観察研究一, 老年歯学, 32 (2) : 188-189, 2017.
10. 永島圭悟, 古屋裕康, 渡邊 裕, 大島克郎, 田村文誉, 菊谷 武 : 通所施設における栄養改善および口腔機能向上サービスの実施体制に関する調査, 老年歯学, 32 (2) : 198-199, 2017.
11. 奥山秀樹, 南 温, 占部秀徳, 木村年秀, 岡林志伸, 長谷剛志, 平野浩彦, 菊谷 武, 植田耕一郎 : 在宅高齢者の口から食べる楽しみの支援に関する調査 第 1 報 一自治体アンケート調査とヒアリング調査一, 老年歯学, 32 (2) : 220-221, 2017.
12. 岡林志伸, 南 温, 木村年秀, 占部秀徳, 長谷剛志, 奥山秀樹, 平野浩彦, 菊谷 武, 植田耕一郎 : 在宅高齢者の口から食べる楽しみの支援に関する調査 第 2 報 一高齢者の「食」に対する意識調査一, 老年歯学, 32 (2) : 225-226, 2017.
13. 田中敏光, 戸原 雄, 新藤広基, 岡澤仁志, 菊谷 武 : 入院中から在宅復帰にかけて歯科がシームレスにかかわることができた 1 症例, 老年歯学, 32 (2) : 227-228, 2017.
14. 宮原隆雄, 辰野 隆, 蒲地史郎, 鈴木健太郎, 加島正浩, 田中康貴, 戸原 雄, 菊谷 武 : 1 症例を通して 4 年半の摂食支援カンファレンスから見えてきたこと, 老年歯学, 32 (2) : 228-229, 2017.
15. 古屋裕康, 永島圭悟, 岩淵 信, 石黒幸枝, 久保山裕子, 渡邊 裕, 大島克郎, 田村文誉, 菊谷 武 : 通所介護施設での口腔機能低下及び低栄養に対する食支援モデルの検討, 老年歯学, 32 (2) : 236, 2017.
16. 須釜慎子 : 摂食嚥下リハビリテーションにより経口摂取が可能となった口腔癌術後患者一例, 日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 246, 2017.
17. 新藤広基 : 高齢舌癌患者に対して摂食嚥下リハビリテーションを行い, QOL の改善につながった症例, 日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 247, 2017.
18. 矢島悠里 : 廃用を伴う慢性閉塞性肺疾患患者に歯科介入を行い栄養状態と摂食嚥下機能の改善を認めた一例, 日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 264, 2017.
19. 須田牧夫 : 食品の口腔内停滞を主訴としたパーキンソン病患者に対し舌接触補助床を応用した 1 症例, 日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 271, 2017.
20. 後藤優子, 勝部真由, 五味麻里, 戸原 雄, 五十嵐公美, 森光朋子 : 倫理的な意思決定を考える～摂食嚥下機能障害についての基礎知識とグループディスカッション～, 日本精神看護学会第 27 回学術大会・総会プログラム・抄録集, 77, 2017.
21. 尾関麻衣子, 矢島悠里, 菊谷 武, 佐川敬一朗, 有友たかね, 田中祐子 : 摂食嚥下リハビリテーション専門クリニックにおいて歯科医師と管理栄養士による栄養状態の改善を図った症例, 日本在宅栄養管理学会誌, 4 (1) : 60, 2017.
22. 佐川敬一朗, 原 純也, 松野さおり, 田村文誉, 菊谷 武 : 地域における食の情報共有を目的と

- した食支援ホームページの作成と利用状況に関する報告, 第 23 回摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 525, 2017.
23. 山田裕之, 田村文誉, 關 達也, 石井利明, 永島圭悟, 宮下大志, 菊谷 武: 口腔周囲筋の活動を測定する小型筋電センサーシステムの開発, 第 23 回摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 597, 2017.
 24. 菊池真依, 水上美樹, 西澤加代子, 田中祐子, 菊谷 武, 田村文誉: 小児摂食外来における経管栄養患者の実態調査, 日衛学誌 (JJSDH), 12 (1): 104, 2017.
 25. 松田英恵, 小方清和, 山田裕之, 田村文誉, 佐藤潤子, 鈴木厚子, 渡邊里子: 多摩地区における小児在宅歯科医療の支援システム構築と医療連携, 小児歯科学雑誌, 56 (1): 108, 2017.
 26. 荒川いつか, 戸原 雄, 白野美和, 二宮一智, 菊谷 武: 健常高齢者の口腔機能低下と口腔機能トレーニングに関する検討, 日本サルコペニア・フレイル学会誌プログラム&抄録集, 76, 2017.
 27. 礪田友子, 田村文誉, 水上美樹, 西澤加代子, 保母妃美子, 菊谷 武: ダウン症候群児の摂食機能の発達—捕食時口唇圧について—, 障歯誌, 38 (3): 259, 2017.
 28. 仲澤裕次郎, 元開早絵, 新藤広基, 礪田友子, 菊池栄子, 元橋功典, 齊藤 峻, 千木良あき子, 田村文誉, 菊谷 武: 経管栄養注入前の事前経口摂取が重症心身障害者の脳機能に与える効果について, 障歯誌, 38 (3): 263, 2017.
 29. 矢島悠里: 同一家族内で発症した摂食嚥下機能障害を有する筋強直性ジストロフィー患者の検討, 障歯誌, 38 (3): 430, 2017.
 30. 元開早絵, 町田麗子, 児玉実穂, 須釜慎子, 田村文誉, 菊谷 武: 18 トリソミー児に対し在宅訪問診療にて摂食指導を行った症例, 障歯誌, 38 (3): 432, 2017.
 31. 水上美樹, 田村文誉, 礪田友子, 西澤加代子, 松山美和, 菊谷 武: ダウン症候群児に特化した摂食機能プロトコルの開発に向けての取り組み—新たな分類の有用性についての検討—, 障歯誌, 38 (3): 436, 2017.
 32. 山田裕之, 田村文誉, 杉本 明, 辰野 隆, 田村光平, 矢島悠里, 水上美樹, 土方深雪, 小方清和, 菊谷 武: 訪問看護ステーションが対応している重症心身障害児と在宅歯科医療の現状を確認したアンケート, 障歯誌, 38 (3): 451, 2017.
 33. 児玉実穂: 訪問摂食指導を行っている 13 トリソミー症候群の検討, 障歯誌, 38 (3): 431, 2017.
 34. 田中祐子, 松山美和, 田村文誉, 礪田友子, 菊谷 武: 口腔リハビリテーションクリニックにおける偏食・拒食を有する発達期障害児の現状, 第 31 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 254, 2017.
 35. 菊谷 武, 矢島悠里, 五十嵐公美, 古屋裕康, 佐川敬一郎, 須田牧夫, 田村文誉: 摂食嚥下リハビリテーション外来に来院したサルコペニアによる摂食嚥下障害患者についての臨床的検討, 日本静脈経腸栄養学会雑誌, 33: 462, 2018.
 36. 佐川敬一郎, 田村文誉, 菊谷 武: 地域における食支援を推進する取り組み—地域における嚥下調整食に関する実態調査の結果から—, 第 4 回日本栄養材形状機能研究会学術集会, 2017 年 9 月 30 日, https://www.jstage.jst.go.jp/article/jspen/32/5/32_SUP132/_pdf/-char/ja. (参照 2018 年 3 月 8 日)

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 菊谷 武: 呼吸器疾患における嚥下障害の病態とアウトカム (誤嚥性肺炎予防と口腔ケア), 第 57 回日本呼吸器学会学術講演会, 講演会, 東京都, 2017 年 4 月 22 日.
2. 菊谷 武: 高齢者の口から食べる楽しみを支援するために, 第 8 回日本プライマリ・ケア連合学

会, シンポジウム, 香川県, 2017年5月14日.

3. 菊谷 武: 歯科と栄養が会う時, 第28回日本老年歯科医学会, シンポジウム, 愛知県, 2017年6月16日.
4. 田村文誉: 口腔機能低下症について理解を深めよう, 第28回日本老年歯科医学会, シンポジウム, 愛知県, 2017年6月16日.
5. 菊谷 武: 地域で食べるを支えるということ, 第19回日本在宅医学会大会, ランチョンセミナー, 愛知県, 2017年6月17日.
6. 菊谷 武: 食の情報が地域で共有されるために, 第5回日本在宅栄養管理学会, シンポジウム, 神奈川県, 2017年7月2日.
7. 菊谷 武: 地域における食支援—なにをどう食べるかを地域で共有するために—, 全国栄養士大会, 講演会, 神奈川県, 2017年8月6日.
8. 菊谷 武: 在宅医療における口腔機能管理～食べるを支える, 平成29年度 公益社団法人日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会, 県民フォーラム, 山口県, 2017年8月26日.
9. 戸原 雄: いつまでも口から食べるために, 第12回新潟口腔ケア研究会, 特別講演, 新潟県, 2017年9月3日.
10. 菊谷 武: 食べることに問題のある患者に歯科は何ができるか, 日本口腔インプラント学会, 講習会, 東京都, 2017年9月10日.
11. 菊谷 武: 口腔の機能低下(オーラルフレイル)が及ぼす病態と対策, 第10回日本健康医療学会, 基調講演, 東京都, 2017年9月17日.
12. 田村文誉: 子どもの口腔機能を育むために, 日本歯科衛生学会第12回学術大会, 教育講演, 東京都, 2017年9月17日.
13. 高橋賢晃: フレイル・サルコペニアに対する在宅生活期リハビリテーション, 第28回日本在宅医療学会, シンポジウム, 東京都, 2017年9月18日.
14. 菊谷 武: 音声言語における“歯”の役割—忘れていませんか? 歯の問題—, 第62回日本音声言語医学会, 教育セミナー, 宮城県, 2017年10月6日.
15. 菊谷 武: いまなぜオーラルフレイルが重要なのか, 日本サルコペニア・フレイル学会, シンポジウム, 京都府, 2017年10月14日.
16. 菊谷 武: 摂食嚥下障害と口腔健康管理, 日本歯学系学会協議会, シンポジウム, 東京都, 2017年11月12日.
17. 田村文誉: 大学附属摂食嚥下専門クリニックにおける小児の摂食指導の取り組みと地域連携, 第14回東北摂食嚥下リハビリテーション研究会, 特別講演, 宮城県, 2017年11月12日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 佐川敬一郎: 地域における嚥下調整食の実態調査および食支援ホームページの作成に関する報告, 第20回多摩NST研究会, 東京都武蔵野市, 2017年4月18日.
2. 菊谷 武: 地域における食支援～食支援マップの活用と応用～, 介護関連職種向け講演会, 東京都西東京市, 2017年4月18日.
3. 元開早絵: 摂食指導研修会, 平成29年度摂食指導研修会, 都立多摩桜の丘学園保護者研修会, 東京都多摩市, 2017年4月26日.
4. 菊谷 武: 「地域で食べるを支えるということ」, 平成29年度全国厚生連栄養士協議会 所属長会議, 東京都渋谷区, 2017年5月12日.
5. 児玉実穂: 妊婦の口腔内環境変化と安心安全な歯科治療～マイナス1歳からの口腔管理～, 板橋

区歯科医師会 学術講演会, 川崎市中原区歯科医師会 医療安全講習会, 荒川区歯科医師会 公衆衛生講習会, 東京都板橋区 (2017年5月24日), 神奈川県川崎市 (10月21日), 東京都荒川区 (11月29日).

6. 町田麗子: 食べる機能を育てる, 千葉県立富里特別支援学校保護者向け研修会, 千葉県富里市, 2017年5月25日.
7. 菊谷 武: 要介護高齢者の口腔機能と食形態, ifia JAPAN 2017「おいしさを創るテクスチャー」セミナー講演, 東京都江東区, 2017年5月25日.
8. 菊谷 武: 摂食えん下障害患者に対する栄養指導, 平成29年度特定給食施設(病院・福祉施設等)栄養士講習会, 東京都荒川区, 2017年5月29日.
9. 須田牧夫: ご存知ですか? 口の環境が影響する病気とは, サンシティみなとみらい east 口腔ケア研修会, 神奈川県横浜市, 2017年5月31日.
10. 町田麗子: 乳幼児の食べる機能と発達～保育園で配慮すべき離乳食・幼児食の進め方とは～, 荒川区保健所, 東京都荒川区, 2017年6月2日.
11. 菊谷 武: 「認知症と歯科」～認知症になる前にすること。なったらすること～, 県民向け無料公開講座「彩歯健康アカデミー」, 埼玉県さいたま市, 2017年6月4日.
12. 菊谷 武: 高齢者に必要なお口の知識, 木曜会, 東京都小金井市, 2017年6月8日.
13. 菊谷 武: 「明日から実践! 摂食嚥下に強くなる。」～口から食べ続けるための技術と応用～, 臨床栄養学セミナーI, 神奈川県海老名市, 2017年6月9日.
14. 菊谷 武: 認知症と嚥下機能, 社会福祉法人青梅白寿会シルバーコート丹三郎研修会, 東京都青梅市, 2017年6月10日.
15. 菊谷 武: 参議院あついで, 歯科口腔医療勉強会, 東京都千代田区, 2017年6月12日.
16. 須釜慎子: 「おいしく楽しく食事をするために」, 小平市立障害福祉センター児童発達支援事業あすの子園保護者研修会, 東京都小平市, 2017年6月21日.
17. 菊谷 武: 誤えん性肺炎発症を防ぐ歯の健康, お口の歯つらつ元気塾, 東京都荒川区, 2017年6月22日.
18. 児玉実穂: 食べる機能の発達と障害, さざんかキッズ 職員研修会, 千葉県船橋市, 2017年7月2日.
19. 菊谷 武: 認知症高齢者の歯科検診について, すこやか歯科検診研修会, 東京都世田谷区, 2017年7月7日.
20. 鰐原賀子: 口腔ケアについて皆さんと共有したいこと, 東川口病院病棟看護師向け勉強会, 埼玉県川口市, 2017年7月7日, 7月21日.
21. 田村文誉: 摂食嚥下機能評価法とリハビリテーション, 歯科医師向け摂食嚥下リハビリテーション研修(東京歯科大学口腔健康科学講座摂食嚥下リハビリテーション研究室), 東京都千代田区, 2017年7月13日.
22. 田村文誉: 障害児者の摂食嚥下障害, 平成29年度歯科保健研修会(広島県国民健康保険診療施設協議会), 広島県広島市, 2017年7月21日.
23. 菊谷 武: 『摂食・嚥下障害のある高齢者の「食べる」を支える』, 平成29年度第2回給食施設従事者講習会, 東京都江戸川区, 2017年7月24日.
24. 町田麗子: 形態別調理研修会～食べる機能の発達と障害～, 東京都学校給食会形態別調理研修会, 東京都文京区, 2017年7月25日.
25. 菊谷 武: 摂食嚥下の栄養管理と地域連携, 東京都委託事業 栄養指導従事者教育事業研修会, 東京都武蔵野市, 2017年7月25日.

26. 佐川敬一郎：地域包括ケアにおける摂食嚥下の取り組み，東京都荒川区薬剤師会研修会，東京都荒川区，2017年7月26日。
27. 田村文誉：上手に食べるために，一般社団法人鳥取県歯科医師会，鳥取県鳥取市，2017年7月27日。
28. 菊谷 武：「噛むこと・食べること・飲み込むこと」，平成29年度区民（介護者）向け摂食えん下講座，東京都北区，2017年7月27日。
29. 町田麗子：食べる機能を育む学校給食の役割，千葉県立富里特別支援学校職員研修会，目黒区立油面小学校わかたけ学級職員研修会，千葉県富里市（2017年7月27日），東京都目黒区（9月27日）。
30. 菊谷 武：摂食嚥下障害の評価と対応，日本訪問歯科協会認定医講座，東京都千代田区，2017年7月30日。
31. 戸原 雄：スクリーニングによる摂食嚥下機能の評価，第7回新潟病院ベーシックセミナー，新潟県新潟市，2017年7月31日。
32. 山田裕之：口の健康づくり推進事業～摂食について～，平成29年度東京都立清瀬特別支援学校教職員向け研修会，平成29年度東京都立清瀬特別支援学校保護者向け研修会，東京都小平市，2017年7月31日，10月26日。
33. 須田牧夫：ご存知ですか？口の環境が影響する病気とは，クラシックコミュニティー横浜そよ風口腔ケア研修会，神奈川県横浜市，2017年8月2日。
34. 高橋賢晃：口腔ケアの重要性と実際の症例について，第6回我孫子市多職種交流会，千葉県我孫子市，2017年8月3日。
35. 田村文誉：ダウン症児への摂食指導，ダウン症への理解と生涯発達をふまえたサポート一子育てへのケアも含めて一，東京都江東区，2017年8月8日。
36. 須田牧夫：ご存知ですか？口の環境が影響する病気とは，マゼラン葉山一色口腔ケア研修会，神奈川県葉山町，2017年8月20日。
37. 須田牧夫：第1回安全に食べるための総合的アプローチ～摂食嚥下障害者への対応方法とは～，学校法人北斗文化学園 特定非営利活動イケアネット 産学連携地域包括ケア推進プロジェクト研修会，北海道札幌市，2017年8月26日。
38. 田村文誉：子どもの食と口腔機能の発達について，公益社団法人東京都歯科医師会，東京都千代田区，2017年8月28日。
39. 田村文誉：上手に食べるために～食べる機能の発達と支援～，立川市保育課講演会，東京都立川市，2017年9月1日。
40. 田村文誉：摂食嚥下障害の原因とリスク評価と対応一食事外部観察評価一，一般社団法人愛知県歯科医師会，愛知県名古屋市，2017年9月3日。
41. 菊谷 武：高齢者の低栄養予防と多職種との食支援について，栄養士会佐久支部支部研修会，長野県佐久市，2017年9月9日。
42. 菊谷 武：食べることに問題のある患者に歯科は何が出来るのか，公益社団法人日本口腔インプラント学会認定講習会，東京都港区，2017年9月10日。
43. 佐川敬一郎：地域で食べるを支える 地域における食支援を推進させる取り組み，第3回鹿沼地区の在宅医療と介護を考える会，栃木県鹿沼市，2017年9月12日。
44. 児玉実穂：重度障害児（者）等のオーラルケア，平成29年度訪問看護師等育成研修（レベルアップ編），東京都中野区，2017年9月15日。
45. 菊谷 武：「摂食能力と食形態～スマイルケア食の活用方法～」，平成29年度農山漁村第6次産

- 業化対策事業「スマイルケア食普及対策事業」，東京都千代田区，2017年9月20日。
46. 菊谷 武：摂食嚥下と口腔ケアの意義，第15回口腔ケア研修会，2017年9月21日。
 47. 田村文誉：発達障害における摂食嚥下の困難と支援 食べる機能はどのように獲得していくの？
どのような支援をするの？，NPO 法人しょーとてんぱー・NPO 法人東京都自閉症協会主催 9月
勉強会，東京都小金井市，2017年9月22日。
 48. 須田牧夫：口から安全に食べるにはどうする？ 高齢者への対応方法について，らくら華やぎ 職
員口腔ケア研修会，北海道札幌市，2017年9月23日。
 49. 高橋賢晃：在宅歯科診療へ踏み出す為の研修，山梨県高齢者食支援研修事業，山梨県甲府市，2017
年9月24日，10月1日。
 50. 戸原 雄：摂食嚥下障害患者の見分け方，日本歯科大学新潟病院 摂食嚥下研修会，新潟県新潟
市，2017年9月29日。
 51. 菊谷 武：いつまでもおいしく口から食べるために、いつまでも楽しく会話ができるために、口
腔リハビリの観点から「口」を守ることの大切さを理解するとともにその方策について，法人拡
大研修「口腔リハビリテーション～いつまでも口から食事を～」，東京都青梅市，2017年9月29
日。
 52. 古屋裕康：口腔機能へのアプローチ方法について，公益社団法人東京都町田市歯科医師会，東京
都町田市，2017年9月30日。
 53. 菊谷 武：多職種連携で「食べる」を支える，多職種連携のためのセミナー，神奈川県横須賀市，
2017年10月3日。
 54. 田村文誉：食事外部観察評価，公益社団法人日本歯科衛生士会，東京都文京区，2017年10月8
日。
 55. 菊谷 武：「知ってほしい僕たちのこと～歯と入れ歯の話～」，入れ歯感謝デー市民公開講座，東
京都江東区，2017年10月8日。
 56. 佐川敬一郎：野村病院における歯科介入の報告および効果検証，野村病院学会シンポジウム，東
京都三鷹市，2017年10月14日。
 57. 菊谷 武：「オーラルフレイルって知ってますか？—いつまでも楽しくお食事していただくため
に一」，8020 歯っぴい&健康フェスタ世田谷，東京都世田谷区，2017年10月15日。
 58. 菊谷 武：「オーラルフレイルって知ってますか？」～いつまでもおいしく食べる方法お教えし
ます～，市民公開講座，東京都小金井市，2017年10月18日。
 59. 田村文誉：食べる機能の障害，小児歯科、歯科衛生科、保育科の三科で子どもの食を考える，神
奈川県横浜市，2017年10月20日。
 60. 町田麗子：「食べる機能の発達」，鶴見大学3科合同で子どもの食を考える，神奈川県横浜市，2017
年10月20日。
 61. 菊谷 武：高齢者の栄養管理について，「臨床栄養ケアマネジメント論」「臨床栄養ケアマネジメ
ント実習」特別授業，東京都千代田区，2017年10月20日。
 62. 須田牧夫：第2回安全に食べるための総合的アプローチ ～摂食嚥下障害者への対応方法とは～，
学校法人北斗文化学園 特定非営利活動アイケアネット 産学連携地域包括ケア推進プロジェ
クト研修会，北海道札幌市，2017年10月21日。
 63. 須田牧夫：ご存知ですか？口の環境が影響する病気とは，らくら宮の森 口腔ケア研修会，北海
道札幌市，2017年10月22日。
 64. 菊谷 武：第6回在宅歯科医療研修会，滋賀県近江八幡市，2017年10月22日。
 65. 高橋賢晃：高齢者の食支援スキルアップ研修，山梨県高齢者食支援研修事業，山梨県甲府市 2017

年 10 月 22 日, 11 月 20 日, 12 月 17 日.

66. 菊谷 武:「知っていますかオーラルフレイルー口腔機能の低下とその対応ー」, 安佐歯科医師会主催講演会, 広島県広島市, 2017 年 10 月 24 日.
67. 菊谷 武:「食」を支える地域づくり～摂食・嚥下機能障害を支援する～, 在宅医療・介護連携推進協議会, 東京都武蔵野市, 2017 年 10 月 26 日.
68. 菊谷 武:口から食べることの重要性～「食」から考える高齢者の健康と幸せ～, CareTEX One in 横浜 専門セミナー, 神奈川県横浜市, 2017 年 11 月 1 日.
69. 戸原 雄:いつまでも口から食べるために, 岡山県美作歯科医師会主催学術講演会, 岡山県美作市, 2017 年 11 月 4 日.
70. 菊谷 武:在宅で管理栄養士に望む栄養指導のあり方, 第 8 回摂食・嚥下リハビリテーションと栄養ケアセミナー 摂食嚥下障害のリスク管理と栄養指導の実践, 東京都千代田区, 2017 年 11 月 4 日.
71. 菊谷 武:地域における食支援ーなにをどう食べるかを地域で共有するためにー, 群馬県歯科医師会・老年歯科医学会群馬支部, 群馬県前橋市, 2017 年 11 月 5 日.
72. 児玉実穂:子どもの食べる機能の発達と食べ方支援, 目黒区健康推進行政 食支援研修会, 東京都目黒区, 2017 年 11 月 8 日.
73. 須釜慎子:食べる機能の障害とその対応方法, 社会福祉法人あいのわ福祉会足立あかしあ園職員向け研修会, 東京都足立区, 2017 年 11 月 10 日, 12 月 8 日, 2018 年 1 月 12 日.
74. 菊谷 武:府中市摂食・嚥下専門相談について, 東京都府中市, 2017 年 11 月 16 日.
75. 水上美樹:摂食嚥下障害に対する訓練法, 徳島県歯科衛生士会認定研修, 徳島県徳島市, 2017 年 11 月 19 日.
76. 佐川敬一朗:多摩地域における食支援推進に向けての取り組み, 北多摩北部病病連携会議, 東京都小平市, 2017 年 11 月 20 日.
77. 菊谷 武:「噛むこと・食べる機能を知る～乳幼児から高齢者までの食支援のポイント～」, 給食施設管理講習会, 東京都品川区, 2017 年 11 月 20 日.
78. 田村文誉:離乳食について, 平成 29 年度東社協乳児部会乳児院研修会, 東京都小平市, 2017 年 11 月 21 日.
79. 高橋賢晃:地域における食支援, 職員研修会, 神奈川県横須賀市, 2017 年 11 月 22 日.
80. 高橋賢晃:口腔ケア概論, 介護予防実践運動指導員養成講座, 東京都日野市, 2017 年 11 月 23 日.
81. 菊谷 武:「口腔ケア」, 平成 29 年度回復期リハビリテーション看護師認定コース 第 11 期, 東京都港区, 2017 年 11 月 23 日.
82. 戸原 雄:摂食嚥下障害患者への対応法, 日本歯科大学新潟病院 摂食嚥下研修会, 新潟県新潟市, 2017 年 11 月 24 日.
83. 須田牧夫:高齢者への歯科対応、素朴な疑問? ～開業医に求められている高齢者への対応とは～, 愛知県日本歯科大学校友会学術講演会, 愛知県名古屋市, 2017 年 11 月 25 日.
84. 菊谷 武:『地域で食べるを支えるということー食の情報を地域でどのように共有するのか?ー』, 香川県摂食・嚥下障害研究会 第 15 回講演会, 香川県高松市, 2017 年 11 月 26 日.
85. 田村文誉:子どもの在宅歯科医療～行ってみよう、やってみよう～ 2. 在宅で行う摂食嚥下の支援, 子どものための在宅歯科医療セミナー 第 4 回多摩小児在宅歯科医療連携ネット(たましよ歯ネット)研修会, 東京都国分寺市, 2017 年 11 月 30 日.
86. 戸原 雄:ワークショップ 「ミールラウンド」, 第 7 回日本老年歯科医学会岡山支部セミナー, 岡山県井原市, 2017 年 12 月 3 日.

87. 菊谷 武：地域で“食べる”を支えるということ～在宅食支援からみえてきたこと～，岡山県委託事業 要介護高齢者の低栄養を防ぐための医師・歯科医師と管理栄養士による口腔栄養関連サービスの推進公開セミナー，岡山県岡山市，2017年12月3日。
88. 新藤広基：日野市において療養現場の変化に合わせて介入継続できた摂食嚥下リハビリテーション症例，日野市 ST 勉強会，東京都日野市，2017年12月4日。
89. 田村文誉：子どもの口腔機能を育むために，小児摂食機能研究会、昭和大学准教授・講師会新年会講演会，東京都文京区（2017年12月4日），東京都港区（2018年1月16日）。
90. 須釜慎子：中学部親子歯磨き教室「歯と口の健康づくり」，東京都立小金井特別支援学校保護者向け研修会，東京都国分寺市，2017年12月5日。
91. 菊谷 武：「地域で考える摂食嚥下機能支援」，平成 29 年度摂食嚥下機能支援連絡会シンポジウム，東京都調布市，2017年12月7日。
92. 菊谷 武：歯科医学教育 up to date③「地域包括ケアシステムにおける歯科医師の役割—なにを、どのように伝えるのか？—」，第 8 回歯科医学教育者のためのワークショップ，千葉県千葉市，2017年12月8日。
93. 須田牧夫：第 3 回安全に食べるための総合的アプローチ～摂食嚥下障害者への対応方法とは～，学校法人北斗文化学園 特定非営利活動アイケアネット 産学連携地域包括ケア推進プロジェクト研修会，北海道札幌市，2017年12月9日。
94. 菊谷 武：「増える歯科難民を救う」—トップランナーが語る訪問診療のコツとツボ—，愛知学院大学歯学部同窓会 平成 29 年度ポストグラデュエートコース，愛知県名古屋市，2017年12月10日。
95. 田村文誉：摂食嚥下機能を理解し「子どもの食べ方」を支援しよう，平成 29 年度乳幼児歯科保健事業従事者研修会（調布市福祉健康部健康推進課），東京都調布市，2017年12月11日。
96. 菊谷 武：平成 29 年度品川福祉カレッジ 口腔機能向上・ケア講座ステップアップ講座，東京都品川区，2017年12月12日。
97. 高橋賢晃：いつまでもおいしく楽しく食べること，千代田区介護講座，東京都千代田区，2017年12月14日。
98. 菊谷 武：平成 29 年度日本歯科大学学内校友会東京支部特別講演，東京都千代田区，2017年12月14日。
99. 菊谷 武：平成 29 年度介護予防ケアマネジメント研修，東京都中央区，2017年12月14日。
100. 戸原 雄：いつまでも口から食べるためにくちから食べるために，栄養情報提供書研修会，新潟県新潟市，2017年12月16日。
101. 菊谷 武：『地域における食支援—何をどう食べるかを共有するために—』，第 5 回豊田市在宅医療シンポジウム，愛知県豊田市，2017年12月16日。
102. 戸原 雄：ワークショップ「ミールラウンド」，第 8 回日本老年歯科医学会岡山支部セミナー，岡山県岡山市，2017年12月17日。
103. 菊谷 武：地域で支える高齢者の「食」～多職種連携と食形態の共有，平成 29 年度摂食嚥下機能支援基盤整備「摂食嚥下機能支援研修会」，東京都府中市，2017年12月18日。
104. 田村文誉：食べる機能の支援，平成 29 年度特別支援学校における歯・口の健康づくり研修会，東京都文京区，2018年1月10日。
105. 田村文誉：食べる機能の発達～自分の手で食べられるようになるまで～，公益社団法人東京都麻布赤坂歯科医師会，東京都港区，2018年1月16日。
106. 田村文誉：摂食・嚥下障害児への支援，地域母子保健 5「地域栄養活動～妊産婦から子ども～」，

東京都港区，2018年1月18日。

107. 菊谷 武：『オーラルフレイルって知っていますか？—何を診て、どう対応するのか？—，平成29年度口腔保健指導者研修会，岐阜県岐阜市，2018年1月18日。
108. 菊谷 武：「多職種連携による食支援について」，多職種連携による研修会，熊本県天草市，2018年1月20日。
109. 菊谷 武：「他職種でつなげる食支援について」，在宅歯科従事者研修事業，熊本県熊本市，2018年1月21日。
110. 戸原 雄：実際の症例を通じて考えてみよう，日本歯科大学新潟病院 摂食嚥下研修会，新潟県新潟市，2018年1月22日。
111. 新藤広基：完全経口移行が可能となった脳出血後遺症胃瘻患者への摂食嚥下リハビリテーション症例，平成29年度中野区在宅療養（摂食・嚥下機能）支援事業事例検討会，東京都中野区，2018年1月23日。
112. 須田牧夫：“命を狙う誤嚥性肺炎”その予防と対策法とは，サンシティみなとみらい east 口腔ケア研修会，神奈川県横浜市，2018年1月24日。
113. 須田牧夫：高齢者の摂食嚥下機能支援～在宅療養者の食べる、飲み込むを支援する～，平成29年度 摂食嚥下機能支援基盤整備研修会，東京都福生市，2018年1月25日。
114. 田村文誉：子どもの食べる機能の発達，摂食機能発達支援講習会（藤沢市），神奈川県藤沢市，2018年1月26日。
115. 菊谷 武：「地域で“食べる”を支えるということ」～食の情報を地域でどのように共有するのか～，在宅医療・介護連携講演会，三重県熊野市，2018年1月26日。
116. 菊谷 武：いつまでも口からおいしく食べるために～怪しい？食のメカニズムを知り対応する～，船橋市主催無料講演会，千葉県船橋市，2018年1月27日。
117. 菊谷 武：摂食嚥下にかかわるテーマ，名古屋掖済会病院 NST 講演会，愛知県名古屋市，2018年1月29日。
118. 田村文誉：呼吸障害のある新生児から乳幼児の摂食嚥下障害，多摩新生児懇話会講演会，東京都立川市，2018年1月30日。
119. 菊谷 武：「多職種による事例検討会」，北区摂食嚥下機能評価医・リハビリテーションチーム養成フォローアップ研修会，東京都北区，2018年1月30日。
120. 菊谷 武：「高齢者における摂食嚥下機能維持のための支援について」，平成29年度福祉施設栄養士研修会，宮城県仙台市，2018年1月30日。
121. 菊谷 武：「お家に行こう！—お家に行って行う事、お家に行く前に行う事—」，平成29年度東京都8020運動推進特別事業在宅歯科医療研修医会③，東京都小金井市，2018年2月2日。
122. 田村文誉：食べる機能発達に遅れや問題のあるお子さんへの対応，乳幼児や障がい児への摂食・嚥下指導について（保護者向け），鹿児島県大島郡伊仙町，2018年2月3日。
123. 田村文誉：食べる機能の発達と障害，乳幼児や障がい児への摂食・嚥下指導について（専門職向け），鹿児島県大島郡伊仙町，2018年2月4日。
124. 菊谷 武：歯科と認知症，港区緩和ケア講習会，東京都港区，2018年2月7日。
125. 菊谷 武：「知っていますか？オーラルフレイル～元気のもとは、お口から～」，オーラルフレイル研修会，静岡県浜松市，2018年2月12日。
126. 須田牧夫：認知症の方への摂食嚥下機能支援，平成29年度 摂食嚥下機能支援事例検討会，東京都福生市，2018年2月15日。
127. 菊谷 武：「摂食・嚥下」，平成29年度第3回研修会，熊本県熊本市，2018年2月17日。

128. 菊谷 武：オーラルフレイル普及にかかる研修会，山梨県甲府市，2018年2月18日。
129. 田村文誉：口腔機能の発達をふまえた乳幼児の食べる機能を育てる保健指導，乳幼児期の歯科・栄養・保健指導従事者研修会（熊本県有明保健所），熊本県玉名市，2018年2月23日。
130. 菊谷 武：高齢者の口腔機能の向上支援，口腔機能向上指導者養成講座，東京都新宿区，2018年2月23日。
131. 田村文誉：障がい児者の摂食嚥下障害について，平成29年度障がい児（者）の口腔ケア地域リーダー育成事業研修会，熊本県熊本市，2018年2月24日。
132. 須田牧夫：“命を狙う誤嚥性肺炎”その予防と対策法とは，マゼラン葉山一色口腔ケア研修会，神奈川県葉山町，2018年2月24日。
133. 菊谷 武：学術・障害者歯科診療・在宅歯科診療合同講習会，大阪府堺市，2018年2月24日。
134. 新藤広基：嚥下内視鏡検査（VE）と嚥下造影検査（VF）について，介護老人保健施設みんなの笑顔勉強会，東京都練馬区，2018年2月27日。
135. 戸原 雄：食べることを支える歯科医療，新潟市歯科医師会秋葉1班 会員研修会，新潟県新潟市，2018年2月28日。
136. 菊谷 武：「必修！これから歯科はオーラルフレイル」，8020推進地域活動研修会，静岡県浜松市，2018年3月1日。
137. 佐川敬一郎：地域における食支援を推進させる取組み，第22回神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会，神奈川県相模原市，2018年3月4日。
138. 菊谷 武：「知ってますか？オーラルフレイル—地域で取り組む口腔機能低下対策—」，市民講演会，北海道旭川市，2018年3月4日。
139. 佐川敬一郎：嚥下調整食に関する情報提供，第4回鹿沼地区の在宅医療と介護を考える会，栃木県鹿沼市，2018年3月7日。
140. 戸原 雄：日本歯科大学多摩クリニックと新潟附属病院を経験して，Everyday 食べる会 講演会，新潟県新潟市，2018年3月10日。
141. 新藤広基：摂食嚥下機能障害とは，さやま園摂食嚥下勉強会，東京都東村山市，2018年3月13日。
142. 菊谷 武：「認知症に対する歯科医療とは」，軽度認知障害支援歯科医・歯科衛生士認定講習会，大阪府大阪市，2018年3月18日。
143. 佐川敬一郎：在宅において管理栄養士と連携して関わった食支援の取組み，武蔵野赤十字病院NST 勉強会，東京都武蔵野市，2018年3月20日。

口腔リハビリテーション多摩クリニック Tama Oral Rehabilitation Clinic

1. 所属構成員等

口腔リハビリテーション科

教 授 菊谷 武 (口腔リハビリテーション多摩クリニック院長),
田村 文誉 (口腔リハビリテーション科科長)

講 師 須田 牧夫 (口腔リハビリテーション科多摩クリニック医長)

助 教 山田 裕之, 保母妃美子, 佐川敬一朗, 古屋 裕康, 矢島 悠里,
吉岡 裕雄 (人事交流, 日本歯科大学新潟病院 訪問歯科口腔ケア科)

非常勤歯科医師 新藤 広基

臨床教授 Michael Groher, 鈴木 文晴, 松本 宜明, 米山 武義

臨床准教授 今井 庸子, 五島 朋幸, 花形 哲夫, 吉田 光由

臨床講師 鈴木 亮, 西方 浩一, 池田 登顕, 南雲 健吾, 三好 真人,
佐々木由香, 兵頭 洋子, 沼田 淳子, 喜屋武ちひろ, 大石 朋子,
田代 晴基, 岡澤 仁志

スペシャルニーズ歯科

教 授 砂田 勝久 (歯科麻酔学講座)
篠原健一郎 (歯科麻酔学講座)
小森 成 (矯正歯科)

准 教 授 石垣 佳希 (口腔外科)

講 師 梅津糸由子 (小児歯科)
村松 健司 (小児歯科)
山崎てるみ (小児歯科)
筒井友花子 (歯科麻酔学講座)

助 教 酒井 有沙 (歯科麻酔学講座)
森本 恵子 (歯科麻酔学講座)
北詰 栄里 (口腔外科)
松崎 祐樹 (小児歯科)
新見 嘉邦 (小児歯科)

内科

教 授 佐野 潔

高齢者歯科学

助 教 有友たかね

医療職員

歯科衛生士 水上 美樹, 西澤加代子, 田中 祐子, 久保山絵梨, 菊池 真依,
鈴木いずみ, 服部万記子

管理栄養士 尾関麻衣子

言語聴覚士 高島 良代, 橋本 久美

事務職員 中山 和治, 中角 浩之, 前川 岳, 町田 保子, 栗崎 瑞季 (4月~6月),
関口智恵美 (7月~)

大学院生 仲澤裕次郎, 磯田 友子, 五十嵐公美, 光岡 一行, 永島 圭悟,
宮下 大志

2. 研究テーマ

- 1) 摂食・嚥下リハビリテーション Dysphagia rehabilitation.
- 2) 口腔ケア Oral health Care.
- 3) 高齢者に対する歯科診療 Dental treatment for Elderly People.
- 4) 歯科訪問診療 Home Visiting Dental Care.
- 5) 咀嚼器官の運動障害が咀嚼機能に与える影響 Masticatory function affected by masticatory disorders with motor disorder.
- 6) レット症候群の摂食機能 Feeding of Rett syndrome.
- 7) コミュニケーション障害患者のリハビリテーション Speech and language therapy in communication disorders.
- 8) 高次脳機能障害患者の社会復帰支援 Social problem for person with traumatic brain injury and their significant others.
- 9) 誤嚥性肺炎と口腔ケア Aspiration pneumonia and oral health care.
- 10) 障害児の摂食機能 Feeding function of disabled children.
- 11) 小児の摂食機能の発達と障害 Development and disabilities of feeding in children.
- 12) 子供の食の問題と母親の育児負担との関係 Relationship between children's eating problem and mother's parenting burden.
- 13) 原始反射の再出現が摂食機能に与える影響 Effects of reappearance of primitive reflexes on eating function and prognosis.
- 14) 口唇口蓋裂児の吸啜時の舌運動の解析 Analysis of tongue movements during sucking by infants with cleft lip and palate.
- 15) 地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成プログラムの構築 Development of cultivation program for dentist for the regional comprehension system.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 日本障害者歯科学会 iADH 研究奨励賞, 矢島悠里, 2017年10月28日, Relationship between tongue strength and 1-year life expectancy in elderly people needing nursing care.
- 2) 日本障害者歯科学会 iADH 研究奨励賞, 佐川敬一朗, 2017年10月28日, Tongue function is important for masticatory performance in the elderly people -A cross-sectional survey of community-dwelling elderly-.
- 3) 日本障害者歯科学会 iADH 研究奨励賞, 古屋裕康, 2017年10月28日, Approach to resuming oral food intake in patients receiving gastrostomy tube feeding at home.
- 4) 日本障害者歯科学会学術大会優秀発表賞, 仲澤裕次郎, 2017年10月29日, 経管栄養注入前の事前経口摂取が重症心身障害者の脳機能に与える効果について.
- 5) 日本障害者歯科学会学術大会優秀発表賞, 磯田友子, 2017年10月29日, ダウン症候群児の摂食機能に発達一捕食時口唇圧について一.

4. 学位取得者

- 1) 光岡一行, 上頸神経節の解剖学的研究—ヒト上頸神経節の形態による検討と老化モデルマウスを用いた上頸神経節細胞の分子マーカーの動態について—, *Anatomical study of superior cervical ganglion —Morphology of human superior cervical ganglion and dynamics of related markers in superior cervical ganglion cell of senescence-accelerated mouse—*, 2018年2月6日, 日本歯科大学.

5. 主催学会等

- 1) 摂食・嚥下研修会「食べるを支える」～発達期障害の理解を深める!～, 多摩クリニック, 2017年7月25日, 12月12日, 2018年1月23日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 2) Tokyo EAT 研修会, 小金井宮地楽器ホール, 2017年4月1日, 11月24日, 2018年2月19日, Tokyo EAT (栄養と摂食を考える研究会).
- 3) 医療・介護専門職向け研修セミナー 摂食嚥下研修会「食べるを支える」, 小金井宮地楽器ホール, 2017年6月30日, 9月21日, 11月17日, 2018年3月9日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.

6. 国際交流状況

- 1) 摂食・嚥下リハビリテーション分野において, 世界的に有名なアメリカ・レッドランズ大学のマイケル・グロハー教授の嚥下障害研修および症例検討会に参加するとともに, 研究打ち合わせのため, アメリカ・レッドランズ大学を訪問した. 平成29年5月14日～5月19日.
- 2) アメリカレッドランズ大学のマイケル・グロハー教授を招聘し, 摂食・嚥下障害コースの受講及び研究打ち合わせを東京で行った. 平成29年11月14日.
- 3) 中山医学院の Chuan-Hang Yu 教授が, 摂食嚥下障害の診断および診療方法を学び, 摂食嚥下リハビリテーションを台湾で広めることを目的に, 多摩クリニックにおいて見学研修を行った. 平成29年3月2日～4月28日.
- 4) 台湾高雄医学大学口腔医学院の医療関係者が来日し, 多摩クリニックにて見学研修を行った. 平成29年6月19日, 平成30年3月27日.

7. 外部・学内研究費

- 1) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (継続), 平成27～29年度, 経口摂取は胃瘻患者の認知機能および身体機能の改善に寄与できるか?, 田村文誉 (代表), 八重垣健 (分担), 菊谷 武 (分担), 町田麗子 (分担), 水上美樹 (分担), 4,680,000 円, 平成29年度 1,040,000 円.
- 2) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (継続), 平成27～29年度, 地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成システムの構築, 須田牧夫 (代表), 菊谷 武 (分担), 田村文誉 (分担), 町田麗子 (分担), 4,810,000 円, 平成29年度 780,000 円.
- 3) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 研究活動スタート支援 (継続), 平成28～29年度, 患者および家族の QOL の変化から見た在宅歯科医療のエビデンス構築, 古屋裕康 (代表), 2,990,000 円, 平成29年度 1,430,000 円.
- 4) 厚生労働科学研究, 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 (継続), 平成28～29年度, 妊産婦及び乳幼児の栄養管理の支援のあり方に関する研究, 楠田 聡 (代表), 田村文誉 (分担), 山田裕之 (分担), 9,000,000 円, 平成29年度 500,000 円.

- 5) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (継続), 平成 28~32 年, 新たな摂食嚥下機能プロトコールは早期加齢リスクのあるダウン症候群に有効か?, 水上美樹 (代表), 菊谷 武 (分担), 田村文誉 (分担), 松山美和 (分担), 4,810,000 円, 平成 29 年度 780,000 円.
- 6) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 若手研究 (B), 平成 29~30 年度, 小児口腔ケアを対象とした新たな医療連携開発: エビデンス構築による医科との関係強化, 山田裕之 (代表), 2,300,000 円, 平成 29 年度 1,820,000 円.

8. 研究業績

A. 著 書

1. 菊谷 武 (分担執筆): 第 2 章 高齢者に多い内科系疾患の歯科治療前評価と対応 3. 脳血管障害 (3) 脳血管疾患の後遺症, 68-69, 小谷順一郎, 砂田勝久 (編集), 高齢者歯科医療—歯科治療につながる医学知識—, 永末書店, 京都, 2017, ISBN: 978-4-8160-1323-2.
2. 田村文誉, 小方清和 (分担執筆): 歯科・口腔外科; 重症心身障害児に対する口腔ケア, 194-203, 浅倉次男 (監修), 重症心身障害児のトータルケア 新しい発達支援の方向性を求めて 改訂第 2 版, へるす出版, 東京, 2017, ISBN: 978-4-89269-934-4.
3. 田村文誉 (分担執筆): 8 章 障害児の歯科治療 脳性麻痺, 重症心身障害, 摂食嚥下障害, 374-382, 白川哲夫, 飯沼光生, 福本 敏 (編集), 小児歯科学 第 5 版, 医歯薬出版, 東京, 2017, ISBN: 978-4-263-45807-5.
4. 田村文誉, 児玉実穂 (分担執筆): 特別な支援が必要な人への歯科保健, 211-214, 泉福英信 (編集), デンタルスタッフの口腔衛生学・歯科衛生統計, 医歯薬出版, 東京, 2017, ISBN: 978-4-263-42246-5.
5. 田中祐子 (分担執筆): 進行性核上性麻痺・変性疾患・振戦・ストーマ・スピーチカニューレ・スプータ・全失語・前頭側頭型認知症, 41-44, 63, 尾崎哲則, 藤井一維, 武井典子, 吉田直美 (編集), 多職種連携で活用! ポケット版歯科衛生士のための医療用語・福祉用語, 医歯薬出版, 東京, 2017, ISBN: 978-4-263-42232-8.
6. 須田牧夫 (分担執筆): 誤嚥性肺炎の病態と予防策, 70-78, 下山和弘, 羽村 章 (編集), 疾患を有する高齢者の口腔健康管理, 口腔保健協会, 東京, 2017, ISBN: 978-4-89605-336-4.

B. 原 著

1. 戸原 雄, 菊谷 武, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田中康貴, 田村文誉: 市販咀嚼訓練食品を用いた咀嚼能力評価, ○日摂食嚥下リハ会誌, 2017; 21 (1): 3-10.
Tohara T, Kikutani T, Yajima Y, Igarashi K, Tanaka Y, Tamura F: An Attempt to Evaluate Masticatory Performance Using Commercially Sold Masticatory Training Food, ○The Japanese Journal of Dysphagia Rehabilitation, 2017; 21 (1): 3-10.
2. Yajima Y, Kikutani T, Tamura F, Yoshida M: Relationship between tongue strength and 1-year life expectancy in elderly people needing nursing care, ◎☆Odontology, 2017; 105: 477-483, doi: 10.1007/s10266-016-0289-7.
3. *Mitsuoka K, Kikutani T, Sato I: Morphological relationship between the superior cervical ganglion and cervical nerves in Japanese cadaver donors, ◎☆Brain. Behav., 2016; 7 (2): 1-9, doi: 10.1002/brb3.619.
(学位論文)
4. *Mitsuoka K, Kikutani T, Miwa Y, Sato I: Expression of CGRP neurotransmitter and vascular genesis marker mRNA is age-dependent in superior cervical ganglia of senescence-accelerated prone mice, ◎☆

Neurosci. Lett., 2018 ; 664 : 144–151, doi : 10.1016/j.neulet.2017.11.034. (学位論文)

5. Tohara T, Kikutani T, Tamura F, Yoshida M, Kuboki T : Multicentered epidemiological study of factors associated with total bacterial count in saliva of older people requiring nursing care, ◎☆Geriatrics & Gerontology International, 2017 ; 17 : 219–225, doi : 10.1111/ggi.12695.
6. Nanri H, Yamada Y, Itoi A, Yamagata E, Watanabe Y, Yoshida T, Miyake M, Date H, Ishikawa-Takata K, Yoshida M, Kikutani T (11th), Kimura M (12 authors) : Frequency of Fruit and Vegetable Consumption and the Oral Health-Related Quality of Life among Japanese Elderly: A Cross-Sectional Study from the Kyoto-Kameoka Study, ◎☆Nutrients, 2017 ; 9 (12) : 1362, doi : 10.3390/nu9121362.
7. Higashiguchi T, Ohara H, Kamakura Y, Kikutani T, Kuzuya M, Enoki H, Sanada H, Matsuzaki M, Maruyama M (9 authors) : Efficacy of a New Post-Mouthwash Intervention (Wiping Plus Oral Nutritional Supplements) for Preventing Aspiration Pneumonia in Elderly People: A Multicenter, Randomized, Comparative Trial, ◎☆Ann. Nutr. Metab., 2017 ; 71 (3–4) : 253–260, doi : 10.1159/000485044.
8. Tanaka T, Takahashi K, Hirano H, Kikutani T, Watanabe Y, Ohara Y, Furuya H, Tsuji T, Akishita M, Iijima K : Oral Frailty as a Risk Factor for Physical Frailty and Mortality in Community-Dwelling Elderly, ◎☆J. Gerontol. A Biol. Sci. Med. Sci., 2017 ; doi : 10.1093/gerona/glx225. [Epub ahead of print]
9. Takeuchi K, Furuta M, Okabe Y, Suma S, Takeshita T, Akifusa S, Adachi M, Kinoshita T, Kikutani T (9th), Yamashita Y (10 authors) : Swallowing disorders and 1-year functional decline in community-dwelling older adults receiving home care, ◎☆J. Oral Rehabil., 2017 ; 44 (12) : 982–987, doi : 10.1111/joor.12577.
10. Yamada Y, Nanri H, Watanabe Y, Yoshida T, Yokoyama K, Itoi A, Date H, Yamaguchi M, Miyake M, Yamagata E, Tamiya H, Nishimura M, Fujibayashi M, Ebine N, Yoshida M, Kikutani T (16th), Yoshimura E, Ishikawa-Takata K, Yamada M, Nakaya T, Yoshinaka Y, Fujiwara Y, Arai H, Kimura M (27 authors) : Prevalence of Frailty Assessed by Fried and Kihon Checklist Indexes in a Prospective Cohort Study: Design and Demographics of the Kyoto-Kameoka Longitudinal Study, ◎☆J. Am. Med. Dir. Assoc., 2017 ; 18 (8) : 733, doi : 10.1016/j.jamda2017.02.022.
11. Watanabe Y, Hirano H, Arai H, Morishita S, Ohara Y, Edahiro A, Murakami M, Shimada H, Kikutani T (9th), Suzuki T (10 authors) : Relationship Between Frailty and Oral Function in Community-Dwelling Elderly Adults, ◎☆J. Am. Geriatr. Soc., 2017 ; 65 (1) : 66–76, doi : 10.1111/jgs.14355.
12. Koda Y, Aoike I, Hasegawa S, Osawa Y, Nakagawa Y, Iwabuchi F, Iwahashi C, Sugimoto T, Kikutani T (9th) (9 authors) : Feasibility of intermittent back-filtrate infusion hemodiafiltration to reduce intradialytic hypotension in patients with cardiovascular instability: a pilot study, ◎☆Clin. Exp. Nephrol., 2017, 21 (2) : 324–332, doi : 10.1007/s10157-016-1270-z.

C. 総説・解説

1. 田村文誉, 菊谷 武, 白川哲夫, 秋山茂久, 堤香奈子, 森崎市治郎, 保母妃美子, 玄 景華, 武井浩樹, 高森一乗 (共著) : レット症候群患者の口腔機能障害の把握と歯科医療支援, 障歯誌, 38 (2) : 140–147, 2017.
2. 田村文誉, 菊谷 武 (共著) : 歯科における細菌カウンタの利用, 日本歯科理工学会誌, 36 (4) : 237–240, 2017.
3. 田村文誉 (単著) : 認定衛生士 (障害者歯科) になって活躍しましょう!, 障歯誌, 38 (4) : ii – iii, 2017.

4. 田村文誉 (単著) : 授乳と離乳—小児科医の基礎知識, 小児内科, 50 (1) : 45-49, 2018.
5. 菊谷 武 (単著) : 摂食嚥下リハビリテーション, 総合リハビリテーション, 45 (11) : 1125-1129, 2017.
6. 田村文誉, 朝田芳信, 白川哲夫, 津賀一弘, 早崎治明, 水上美樹, 山崎要一, 木本茂成, 弘中祥司 (共著) : 小児の口腔機能発達評価マニュアル, 2017, <http://www.jads.jp/date/20180301manual.pdf>.
7. 田村文誉, 近藤博子, 筑比地昌子, 田沼直之, 高橋 智 (共著) : 子どもの食を育む歯科からのアプローチ, 日本歯科医学会誌, 37 : 23-32, 2018.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 佐川敬一朗, 尾関麻衣子, 戸原 雄, 須田牧夫, 菊谷 武 (共著) : “住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアシステムの現場から 外来診療, DENTAL DIAMOND, 42 (4) : 158-161, 2017.
2. 田村文誉 (分担執筆) : 嚥下機能低下, 口腔機能低下症って何? ~診断基準の7項目~, DENTAL DIAMOND, 42 (5) : 66-68, 2017.
3. 佐川敬一朗, 矢島悠里, 菊谷 武 (共著) : 住み慣れた街で生きるを支援する 地域包括ケアシステムの現場から, DENTAL DIAMOND, 42 (5) : 166-170, 2017.
4. 田村文誉 (分担執筆) : Q&A 小児の摂食嚥下障害に対する検査と支援, DENTAL DIAMOND, 42 (8) : 112-113, 2017.
5. 菊谷 武, 須田牧夫, 田中康貴, 戸原 雄 (共著) : “住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアシステムの現場から 介護保険施設との連携, DENTAL DIAMOND, 42 (8) : 146-150, 2017.
6. 古屋裕康, 矢島悠里, 有友たかね, 菊谷 武 (共著) : “住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアシステムの現場から, DENTAL DIAMOND, 42 (9) : 156-161, 2017.
7. 高島良代, 水上美樹, 橋本久美, 磯田友子, 田村文誉, 菊谷 武 (共著) : 知的特別支援学校における知的障害教育外部専門員としての取り組み, “住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアの現場から 特別支援学校への支援を通じて地域とかがわる, DENTAL DIAMOND, 42 (11) : 186-190, 2017.
8. 橋本久美, 尾関麻衣子, 高島良代, 西澤加代子, 古屋裕康, 田村文誉, 菊谷 武 (共著) : “住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアの現場から イベントを通じて地域とかがわる, DENTAL DIAMOND, 42 (12) : 176-181, 2017.
9. 尾関麻衣子, 菊谷 武 (共著) : “住み慣れた街で生きる”を支援する 地域ケアシステムの現場から 栄養指導, DENTAL DIAMOND, 42 (13) : 154-159, 2017.
10. 戸原 雄, 山田裕之, 田村文誉, 菊谷 武 (共著) : “住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアの現場から 地域との連携, DENTAL DIAMOND, 42 (15) : 186-191, 2017.
11. 菊谷 武, 佐川敬一朗, 矢島悠里 (共著) : 地域包括ケアと在宅医療 在宅における摂食嚥下リハビリテーション, MEDICAL REHABILITATION, 217 : 104-111, 2017.
12. 菊谷 武, 戸原 雄, 佐川敬一朗, 古屋裕康 (共著) : 在宅における食支援, MEDICAL REHABILITATION 摂食嚥下障害リハビリテーションABC, 212 : 51-60, 2017.
13. 菊谷 武 (単著) : 誤嚥性肺炎における細菌叢と口腔ケア, Pharma Medica, 35 (8) : 27-31, 2017.
14. 菊谷 武 (単著) : 認知症高齢者に対する歯科診療所の役割, 医師協 MATE, 301 : 12-13, 2017.
15. 菊谷 武 (単著) : 退院後も安全に食べられる栄養指導を実践し口から食べる幸せを地域に広げる, 栄養経営エキスパート, 2 (3) : 69-71, 2017.

16. 菊谷 武, 丸山道生, 原 純也 (共著) : 在宅でも口から食べるために乗り越えるべき 3 つの課題, 栄養経管エキスパート, 2 (6) : 21-24, 2017.
17. 菊谷 武 (単著) : いつまでも口からおいしく食べるために, 介護の日しんぶん 2017, 1 : 8, 2017.
18. 菊谷 武 (共著) : 高齢者歯科のキーワードは栄養である, 地域で「食べる」を支えるということ—歯科に求められる役割—, 歯界展望, 特別号 : 99-100, 2017.
19. 田村文誉 (分担執筆) : 地域連携最前線 : 国民目線の到達目標を考える, 歯界展望, 特別号 : 86, 2017.
20. 田村文誉 (単著) : 歯科はどのようにして子どもたちの未来を支えるか, 歯科医療経済, 72 : 18-21, 2017.
21. 田村文誉, 武井典子 : 健康で長生き, 上手に老いるために, 歯科医療経済, 77 : 36, 2017.
22. 水上美樹 (分担執筆) : 卒業後の道—就職について, 歯科衛生士になるためのオリエンテーション 2017, 18, 2017.
23. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む①, 日本歯科新聞, 1968 : 8, 2017年4月11日.
24. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む②, 日本歯科新聞, 1972 : 8, 2017年5月16日.
25. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む③, 日本歯科新聞, 1976 : 5, 2017年6月13日.
26. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む④, 日本歯科新聞, 1980 : 9, 2017年7月11日.
27. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む⑤, 日本歯科新聞, 1984 : 9, 2017年8月8日.
28. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む⑥, 日本歯科新聞, 1988 : 7, 2017年9月12日.
29. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む⑦, 日本歯科新聞, 1992 : 5, 2017年10月17日.
30. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む⑧, 日本歯科新聞, 1996 : 8, 2017年11月14日.
31. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む⑨, 日本歯科新聞, 2000 : 7, 2017年12月12日.
32. 田村文誉 (単著) : 食べる機能を育む⑩, 日本歯科新聞, 2005 : 5, 2018年1月30日.
33. 田村文誉 (単著) : 増える「医療的ケア児」, 日本歯科新聞, 1982 : 11, 2017年7月25日.
34. 菊谷 武 (分担執筆) : 摂食嚥下障害と口腔健康管理, 歯学協が口腔健康管理をテーマにシンポジウムを有意義に開催, 日本歯科評論, 903 : 174-175, 2018.
35. 田村文誉, 水上美樹 (共著) : 【前編】保護者の悩みの核心と歯科医師への相談内容の差, 日本歯科評論, 77 (10) : 151-154, 2017.
36. 田村文誉, 水上美樹 (共著) : 子どもの摂食嚥下障害にどうかかわるか, 日本歯科評論, 77 (12) : 127-132, 2017.
37. 田村文誉, 山田裕之 (分担執筆) : 妊産婦及び乳幼児の栄養管理の支援のあり方に関する研究, 離乳支援について, 妊産婦及び乳幼児の栄養管理の支援のあり方に関する研究, 159-175, 2017.
38. 田村文誉 (単著) : 嚥下機能の向上を図るために, ひろしまの国保, 769 : 11-12, 2017.
39. 尾関麻衣子 (分担執筆) : 高栄養な嚥下調整食, ヘルシケア・レストラン, 25 (12) : 26-27, 2017.
40. 田村文誉 (単著) : 乳幼児のむし歯予防と口の健康, 母子保健, 7月号 : 13, 2017.
41. 菊谷 武 (分担執筆) : 口が知らせる「病気のサイン」とは?, 口から始まる健康生活, 毎日が発見, 161 : 58-59, 2017.
42. 菊谷 武, 西山耕一朗 (共著) : 誤嚥性肺炎の予防策—のど仏周辺の筋トレを, 毎日新聞, 3, 2017年7月20日.
43. 尾関麻衣子 (分担執筆) : こんにちは最前線—管理栄養士が活躍する歯科クリニック, 臨床栄養, 131 (3) : 308-311, 2017.
44. 楠田 聡, 伊東宏晃, 鈴木俊治, 野村恭子, 清水俊明, 堤ちはる, 埴 佳生, 田村文誉, 米本直裕, 平池春子, 磯島 豪, 朝倉比都美, 日野優子, 田辺杏由美, 服部綾香, 東海林宏道, 戸津五

月, 三橋扶佐子, 山田裕之: H29 年度厚生労働科学研究費補助金 妊産婦及び乳幼児の栄養管理の支援のあり方に関する研究, 2017.

45. 田村文誉 (単著): コラムニスト オススメの一冊, ぼくのおとうとは機械の鼻, 日本歯科新聞, 2002: 16, 2018.
46. 菊谷 武, 田村文誉 (共著): 多摩クリニック開院 5 周年, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 43 (2): 73, 2017.
47. 古屋裕康, 須田牧夫, 菊谷 武 (共著): オーラルフレイルを学ぶ第 3 回 オーラルフレイルをどのように診断するか?, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 21 (3): 2-6, 2018.
48. 有友たかね (分担執筆): 在宅要介護者は、なにがきっかけで要介護となす?, 菊谷 武 (監修), 12 ヶ月でこっそり習得集まれ! 訪問ビギナーズ 1 月目 訪問依頼が来たら, まずは情報収集!, 歯科衛生士, January (42): 60-67, 2018.
49. 有友たかね (分担執筆): Q 何を持って行けばいいの?, 菊谷 武 (監修), 12 ヶ月でこっそり習得集まれ! 訪問ビギナーズ 2 月目 訪問に行けるとなったら, どんな準備が必要?, 歯科衛生士, February (42): 59-66, 2018.
50. 菊谷 武: あさいち, NHK, 2017 年 12 月 4 日 【テレビ出演】.
51. 菊谷 武: 深層ニュース, BS 日テレ, 2018 年 1 月 25 日 【テレビ出演】.
52. 菊谷 武: 主治医が見つかる診療所, テレビ東京, 2018 年 2 月 1 日 【テレビ出演】.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 山田裕之, 松田英恵, 小方清和, 佐藤潤子, 鈴木厚子, 田村文誉: 京都多摩地区における小児在宅歯科医療の取り組み, 小児歯科学雑誌, 55 (2): 189, 2017.
2. 五十嵐公美, 尾関麻衣子, 佐川敬一郎, 戸原 雄, 須田牧夫, 田村文誉, 菊谷 武: 舌圧と摂食機能, 栄養状態についての検討, 老年歯学, 32 (2): 112, 2017.
3. 鈴木いずみ, 岩淵 信, 五十嵐公美, 仲澤裕次郎, 菊谷 武: 当クリニックにおける介護予防を目的とした短期集中訓練サービスの取り組み, 老年歯学, 32 (2): 122-123, 2017.
4. 尾関麻衣子, 菊谷 武, 田村文誉, 須田牧夫, 五十嵐公美, 平澤玲子: 進行性の神経・筋疾患患者に対する管理栄養士による栄養ケア後の変化の検討, 老年歯学, 32 (2): 126-127, 2017.
5. 佐川敬一郎, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田村文誉, 菊谷 武: 地域における嚥下調整食の情報提供に関する追跡調査, 老年歯学, 32 (2): 128-129, 2017.
6. 加藤正浩, 辰野 隆, 宮原隆雄, 蒲地史郎, 鈴木健太郎, 戸原 雄, 菊谷 武: 介護老人福祉施設における摂食支援カンファレンス 4 年間の推移と今後の展開, 老年歯学, 32 (2): 155-156, 2017.
7. 新藤広基, 仲澤裕次郎, 矢島悠里, 田中康貴, 有友たかね, 田中祐子, 田村文誉, 菊谷 武: 就寝前の口腔清掃が就寝中の高齢者の細菌数に与える効果, 老年歯学, 32 (2): 160-161, 2017.
8. 鰐原賀子, 高橋賢晃, 児玉実穂, 須釜慎子, 田村文誉, 菊谷 武: 上顎癌切除後の皮弁再建の有無が顎補綴前後の QOL に与える影響, 老年歯学, 32 (2): 181-182, 2017.
9. 関野 愉, 沼部幸博, 田村文誉, 菊谷 武: 介護老人福祉施設入居者の口腔衛生状態と歯周疾患罹患状況—検診事業開始 10 年後の観察研究—, 老年歯学, 32 (2): 188-189, 2017.
10. 永島圭悟, 古屋裕康, 渡邊 裕, 大島克郎, 田村文誉, 菊谷 武: 通所施設における栄養改善お

- よび口腔機能向上サービスの実施体制に関する調査, 老年歯学, 32 (2) : 198-199, 2017.
11. 奥山秀樹, 南 温, 占部秀徳, 木村年秀, 岡林志伸, 長谷剛志, 平野浩彦, 菊谷 武, 植田耕一郎: 在宅高齢者の口から食べる楽しみの支援に関する調査 第1報 一自治体アンケート調査とヒアリング調査一, 老年歯学, 32 (2) : 220-221, 2017.
 12. 岡林志伸, 南 温, 木村年秀, 占部秀徳, 長谷剛志, 奥山秀樹, 平野浩彦, 菊谷 武, 植田耕一郎: 在宅高齢者の口から食べる楽しみの支援に関する調査 第2報 一高齢者の「食」に対する意識調査一, 老年歯学, 32 (2) : 225-226, 2017.
 13. 田中敏光, 戸原 雄, 新藤広基, 岡澤仁志, 菊谷 武: 入院中から在宅復帰にかけて歯科がシームレスにかかわることができた1症例, 老年歯学, 32 (2) : 227-228, 2017.
 14. 宮原隆雄, 辰野 隆, 蒲地史郎, 鈴木健太郎, 加島正浩, 田中康貴, 戸原 雄, 菊谷 武: 1症例を通して4年半の摂食支援カンファレンスから見えてきたこと, 老年歯学, 32 (2) : 228-229, 2017.
 15. 古屋裕康, 永島圭悟, 岩淵 信, 石黒幸枝, 久保山裕子, 渡邊 裕, 大島克郎, 田村文誉, 菊谷 武: 通所介護施設での口腔機能低下及び低栄養に対する食支援モデルの検討, 老年歯学, 32 (2) : 236, 2017.
 16. 新藤広基: 高齢舌癌患者に対して摂食嚥下リハビリテーションを行い, QOL の改善につながった症例, 日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 247, 2017.
 17. 矢島悠里: 廃用を伴う慢性閉塞性肺疾患患者に歯科介入を行い栄養状態と摂食嚥下機能の改善を認めた一例, 日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 264, 2017.
 18. 須田牧夫: 食品の口腔内停滞を主訴としたパーキンソン病患者に対し舌接触補助床を応用した1症例, 日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 271, 2017.
 19. 後藤優子, 勝部真由, 五味麻里, 戸原 雄, 五十嵐公美, 森光朋子: 倫理的な意思決定を考える～摂食嚥下機能障害についての基礎知識とグループディスカッション～, 日本精神看護学会第27回学術大会・総会プログラム・抄録集, 77, 2017.
 20. 尾関麻衣子, 矢島悠里, 菊谷 武, 佐川敬一郎, 有友たかね, 田中祐子: 摂食嚥下リハビリテーション専門クリニックにおいて歯科医師と管理栄養士による栄養状態の改善を図った症例, 日本在宅栄養管理学会誌, 4 (1) : 60, 2017.
 21. 佐川敬一郎, 原 純也, 松野さおり, 田村文誉, 菊谷 武: 地域における食の情報共有を目的とした食支援ホームページの作成と利用状況に関する報告, 第23回摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 525, 2017.
 22. 山田裕之, 田村文誉, 關 達也, 石井利明, 永島圭悟, 宮下大志, 菊谷 武: 口腔周囲筋の活動を測定する小型筋電センサーシステムの開発, 第23回摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 597, 2017.
 23. 菊池真依, 水上美樹, 西澤加代子, 田中祐子, 菊谷 武, 田村文誉: 小児摂食外来における経管栄養患者の実態調査, 日衛学誌 (JJS DH), 12 (1) : 104, 2017.
 24. 松田英恵, 小方清和, 山田裕之, 田村文誉, 佐藤潤子, 鈴木厚子, 渡邊里子: 多摩地区における小児在宅歯科医療の支援システム構築と医療連携, 小児歯科学雑誌, 56 (1) : 108, 2017.
 25. 荒川いつか, 戸原 雄, 白野美和, 二宮一智, 菊谷 武: 健常高齢者の口腔機能低下と口腔機能トレーニングに関する検討, 日本サルコペニア・フレイル学会誌プログラム&抄録集, 76, 2017.
 26. 磯田友子, 田村文誉, 水上美樹, 西澤加代子, 保母妃美子, 菊谷 武: ダウン症候群児の摂食機能の発達—捕食時口唇圧について—, 障歯誌, 38 (3) : 259, 2017.
 27. 仲澤裕次郎, 元開早絵, 新藤広基, 磯田友子, 菊池栄子, 元橋功典, 齊藤 峻, 千木良あき子,

- 田村文誉, 菊谷 武: 経管栄養注入前の事前経口摂取が重症心身障害者の脳機能に与える効果について, 障歯誌, 38 (3) : 263, 2017.
28. 矢島悠里: 同一家族内で発症した摂食嚥下機能障害を有する筋強直性ジストロフィー患者の検討, 障歯誌, 38 (3) : 430, 2017.
 29. 元開早絵, 町田麗子, 児玉実穂, 須釜慎子, 田村文誉, 菊谷 武: 18 トリソミー児に対し在宅訪問診療にて摂食指導を行った症例, 障歯誌, 38 (3) : 432, 2017.
 30. 水上美樹, 田村文誉, 磯田友子, 西澤加代子, 松山美和, 菊谷 武: ダウン症候群児に特化した摂食機能プロトコルの開発に向けての取り組み—新たな分類の有用性についての検討—, 障歯誌, 38 (3) : 436, 2017.
 31. 山田裕之, 田村文誉, 杉本 明, 辰野 隆, 田村光平, 矢島悠里, 水上美樹, 土方深雪, 小方清和, 菊谷 武: 訪問看護ステーションが対応している重症心身障害児と在宅歯科医療の現状を確認したアンケート, 障歯誌, 38 (3) : 451, 2017.
 32. 田中祐子, 松山美和, 田村文誉, 磯田友子, 菊谷 武: 口腔リハビリテーションクリニックにおける偏食・拒食を有する発達期障害児の現状, 第 31 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 254, 2017.
 33. 菊谷 武, 矢島悠里, 五十嵐公美, 古屋裕康, 佐川敬一朗, 須田牧夫, 田村文誉: 摂食嚥下リハビリテーション外来に来院したサルコペニアによる摂食嚥下障害患者についての臨床的検討, 日本静脈経腸栄養学会雑誌, 33 : 462, 2018.
 34. 高島良代: 特別支援学校中学部での知的障害教育外部専門員としての取り組み, 第 18 回日本言語聴覚学会 Web 抄録集, 島根県, 2017 年 6 月 23~24 日, <http://jaslht2017.jp/12560.html>. (参照 2017 年 6 月 23~24 日)
 35. 橋本久美: 特別支援学校との連携—4 年間の活動の経過と課題—, 第 18 回日本言語聴覚学会 Web 抄録集, 島根県, 2017 年 6 月 23~24 日, <http://jaslht2017.jp/12560.html>. (参照 2017 年 6 月 23~24 日)
 36. 佐川敬一朗, 田村文誉, 菊谷 武: 地域における食支援を推進する取り組み—地域における嚥下調整食に関する実態調査の結果から—, 第 4 回日本栄養材形状機能研究会学術集会, 2017 年 9 月 30 日, https://www.jstage.jst.go.jp/article/jspen/32/5/32_SUP132/_pdf/-char/ja. (参照 2018 年 3 月 8 日)

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 菊谷 武: 呼吸器疾患における嚥下障害の病態とアウトカム (誤嚥性肺炎予防と口腔ケア), 第 57 回日本呼吸器学会学術講演会, 講演会, 東京都, 2017 年 4 月 22 日.
2. 菊谷 武: 高齢者の口から食べる楽しみを支援するために, 第 8 回日本プライマリ・ケア連合学会, シンポジウム, 香川県, 2017 年 5 月 14 日.
3. 水上美樹子: 子どもの摂食嚥下障害とは—一症状とその対応—, 日本歯科医学会, 公開フォーラム, パネリスト, 東京都, 2017 年 5 月 28 日.
4. 菊谷 武: 歯科と栄養が会える時, 第 28 回日本老年歯科医学会, シンポジウム, 愛知県, 2017 年 6 月 16 日.
5. 田村文誉: 口腔機能低下症について理解を深めよう, 第 28 回日本老年歯科医学会, シンポジウム, 愛知県, 2017 年 6 月 16 日.
6. 菊谷 武: 地域で食べるを支えるということ, 第 19 回日本在宅医学会大会, ランチョンセミナー, 愛知県, 2017 年 6 月 17 日.

7. 菊谷 武：食の情報が地域で共有されるために，第 5 回日本在宅栄養管理学会，シンポジウム，神奈川県，2017 年 7 月 2 日．
8. 菊谷 武：地域における食支援一なにをどう食べるかを地域で共有するために一，全国栄養士大会，講演会，神奈川県，2017 年 8 月 6 日．
9. 菊谷 武：在宅医療における口腔機能管理～食べるを支える，平成 29 年度 公益社団法人日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会，県民フォーラム，山口県，2017 年 8 月 26 日．
10. 菊谷 武：食べることに問題のある患者に歯科は何ができるか，日本口腔インプラント学会，講習会，東京都，2017 年 9 月 10 日．
11. 田中祐子：歯科衛生士交流集会「摂食嚥下障害の臨床における現状と問題点～一歩先を行く歯科衛生士の報告～」，第 23 回摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会，交流集会，千葉県，2017 年 9 月 15 日．
12. 菊谷 武：口腔の機能低下（オーラルフレイル）が及ぼす病態と対策，第 10 回日本健康医療学会，基調講演，東京都，2017 年 9 月 17 日．
13. 田村文誉：子どもの口腔機能を育むために，日本歯科衛生学会第 12 回学術大会，教育講演，東京都，2017 年 9 月 17 日．
14. 菊谷 武：音声言語における“歯”の役割一忘れていませんか？歯の問題一，第 62 回日本音声言語医学会，教育セミナー，宮城県，2017 年 10 月 6 日．
15. 菊谷 武：いまなぜオーラルフレイルが重要なのか，日本サルコペニア・フレイル学会，シンポジウム，京都府，2017 年 10 月 14 日．
16. 菊谷 武：摂食嚥下障害と口腔健康管理，日本歯学系学会協議会，シンポジウム，東京都，2017 年 11 月 12 日．
17. 田村文誉：大学附属摂食嚥下専門クリニックにおける小児の摂食指導の取り組みと地域連携，第 14 回東北摂食嚥下リハビリテーション研究会，特別講演，宮城県，2017 年 11 月 12 日．

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 礪田友子：肢体不自由児の摂食指導，平成 29 年度東京都立八王子東特別支援学校新転任者研修会，東京都八王子市，2017 年 4 月 6 日．
2. 佐川敬一朗：地域における嚥下調整食の実態調査および食支援ホームページの作成に関する報告，第 20 回多摩 NST 研究会，東京都武蔵野市，2017 年 4 月 18 日．
3. 菊谷 武：地域における食支援～食支援マップの活用と応用～，介護関連職種向け講演会，東京都西東京市，2017 年 4 月 18 日．
4. 菊谷 武：「地域で食べるを支えるということ」，平成 29 年度全国厚生連栄養士協議会 所属長会議，東京都渋谷区，2017 年 5 月 12 日．
5. 菊谷 武：要介護高齢者の口腔機能と食形態，ifia JAPAN 2017 「おいしさを創るテクスチャー」セミナー講演，東京都江東区，2017 年 5 月 25 日．
6. 菊谷 武：摂食えん下障害患者に対する栄養指導，平成 29 年度特定給食施設（病院・福祉施設等）栄養士講習会，東京都荒川区，2017 年 5 月 29 日．
7. 須田牧夫：ご存知ですか？ 口の環境が影響する病気とは ，サンシティみなとみらい east 口腔ケア研修会，神奈川県横浜市，2017 年 5 月 31 日．
8. 菊谷 武：「認知症と歯科」～認知症になる前にすること。なったらすること～，県民向け無料公開講座「彩歯健康アカデミー」，埼玉県さいたま市，2017 年 6 月 4 日．
9. 田中祐子：口腔ケアと誤嚥性肺炎について学ぶ，杉並区障害者グループホーム地域ネットワーク

- 事業，東京都杉並区，2017年6月7日。
10. 菊谷 武：高齢者に必要なお口の知識，木曜会，東京都小金井市，2017年6月8日。
 11. 菊谷 武：「明日から実践！摂食嚥下に強くなる。」～口から食べ続けるための技術と応用～，臨床栄養学セミナーⅠ，神奈川県海老名市，2017年6月9日。
 12. 菊谷 武：認知症と嚥下機能，社会福祉法人青梅白寿会シルバーコート丹三郎研修会，東京都青梅市，2017年6月10日。
 13. 菊谷 武：参議院あとで，歯科口腔医療勉強会，東京都千代田区，2017年6月12日。
 14. 菊谷 武：誤えん性肺炎発症を防ぐ歯の健康，お口の歯つらつ元気塾，東京都荒川区，2017年6月22日。
 15. 磯田友子：摂食機能の発達と支援，平成29年度東京都立小平特別支援学校全校研修会，東京都小平市，2017年6月27日。
 16. 菊谷 武：認知症高齢者の歯科検診について，すこやか歯科検診研修会，東京都世田谷区，2017年7月7日。
 17. 水上美樹：発達期障がいに対する歯科衛生士の行う摂食機能療法，平成29年度第2回福島県歯科衛生士会研修会，福島県郡山市，2017年7月9日。
 18. 田村文誉：摂食嚥下機能評価法とリハビリテーション，歯科医師向け摂食嚥下リハビリテーション研修（東京歯科大学口腔健康科学講座摂食嚥下リハビリテーション研究室），東京都千代田区，2017年7月13日。
 19. 尾関麻衣子：いつもの料理にちょっと工夫！食べる人に合わせた食形態について学ぼう，東京都健康づくり調理士研修会（西多摩保健所・南多摩保健所），東京都青梅市（2017年7月13日），東京都あきる野市（7月25日），東京都多摩市（9月11日）。
 20. 田村文誉：障害児者の摂食嚥下障害，平成29年度歯科保健研修会（広島県国民健康保険診療施設協議会），広島県広島市，2017年7月21日。
 21. 菊谷 武：『摂食・嚥下障害のある高齢者の「食べる」を支える』，平成29年度第2回給食施設従事者講習会，東京都江戸川区，2017年7月24日。
 22. 菊谷 武：摂食嚥下の栄養管理と地域連携，東京都委託事業 栄養指導従事者教育事業研修会，東京都武蔵野市，2017年7月25日。
 23. 佐川敬一朗：地域包括ケアにおける摂食嚥下の取り組み，東京都荒川区薬剤師会研修会，東京都荒川区，2017年7月26日。
 24. 田村文誉：上手に食べるために，一般社団法人鳥取県歯科医師会，鳥取県鳥取市，2017年7月27日。
 25. 菊谷 武：「噛むこと・食べること・飲み込むこと」，平成29年度区民（介護者）向け摂食えん下講座，東京都北区，2017年7月27日。
 26. 菊谷 武：摂食嚥下障害の評価と対応，日本訪問歯科協会認定医講座，東京都千代田区，2017年7月30日。
 27. 戸原 雄：スクリーニングによる摂食嚥下機能の評価，第7回新潟病院ベーシックセミナー，新潟県新潟市，2017年7月31日。
 28. 山田裕之：口の健康づくり推進事業～摂食について～，平成29年度東京都立清瀬特別支援学校教職員向け研修会，平成29年度東京都立清瀬特別支援学校保護者向け研修会，東京都小平市，2017年7月31日，10月26日。
 29. 須田牧夫：ご存知ですか？口の環境が影響する病気とは，クラシックコミュニティー横浜そよ風口腔ケア研修会，神奈川県横浜市，2017年8月2日。

30. 田村文誉：ダウン症児への摂食指導，ダウン症への理解と生涯発達をふまえたサポート—子育てへのケアも含めて—，東京都江東区，2017年8月8日。
31. 須田牧夫：ご存知ですか？口の環境が影響する病気とは，マゼラン葉山一色口腔ケア研修会，神奈川県葉山町，2017年8月20日。
32. 須田牧夫：第1回安全に食べるための総合的アプローチ～摂食嚥下障害者への対応方法とは～，学校法人北斗文化学園 特定非営利活動アイケアネット 産学連携地域包括ケア推進プロジェクト研修会，北海道札幌市，2017年8月26日。
33. 田村文誉：子どもの食と口腔機能の発達について，公益社団法人東京都歯科医師会，東京都千代田区，2017年8月28日。
34. 田村文誉：上手に食べるために～食べる機能の発達と支援～，立川市保育課講演会，東京都立川市，2017年9月1日。
35. 田村文誉：摂食嚥下障害の原因とリスク評価と対応—食事外部観察評価—，一般社団法人愛知県歯科医師会，愛知県名古屋市，2017年9月3日。
36. 水上美樹：摂食嚥下障害者（児）への理解と対応—臨床から基礎まで—，函館歯科衛生士専門学校 平成29年度第2回卒後研修会，北海道函館市，2017年9月3日。
37. 菊谷 武：高齢者の低栄養予防と多職種との食支援について，栄養士会佐久支部支部研修会，長野県佐久市，2017年9月9日。
38. 菊谷 武：食べることに問題のある患者に歯科は何が出来るのか，公益社団法人日本口腔インプラント学会認定講習会，東京都港区，2017年9月10日。
39. 有友たかね：「口腔ケアの実技・研修」，平成29年度口腔保健支援事業 第2回口腔ケア実技講習会，千葉県船橋市，2017年9月12日。
40. 佐川敬一朗：地域で食べるを支える 地域における食支援を推進させる取組み，第3回鹿沼地区の在宅医療と介護を考える会，栃木県鹿沼市，2017年9月12日。
41. 菊谷 武：「摂食能力と食形態～スマイルケア食の活用方法～」，平成29年度農山漁村第6次産業化対策事業「スマイルケア食普及対策事業」，東京都千代田区，2017年9月20日。
42. 菊谷 武：摂食嚥下と口腔ケアの意義，第15回口腔ケア研修会，2017年9月21日。
43. 田村文誉：発達障害における摂食嚥下の困難と支援 食べる機能はどのように獲得していくの？ どのような支援をするの？，NPO法人しょーとてんぱー・NPO法人東京都自閉症協会主催9月勉強会，東京都小金井市，2017年9月22日。
44. 須田牧夫：口から安全に食べるにはどうする？ 高齢者への対応方法について，らくら華やぎ 職員口腔ケア研修会，北海道札幌市，2017年9月23日。
45. 菊谷 武：いつまでもおいしく口から食べるために，いつまでも楽しく会話ができるために，口腔リハビリの観点から「口」を守ることの大切さを理解するとともにその方策について，法人拡大研修「口腔リハビリテーション～いつまでも口から食事を～」，東京都青梅市，2017年9月29日。
46. 古屋裕康：口腔機能へのアプローチ方法 について，公益社団法人東京都町田市歯科医師会，東京都町田市，2017年9月30日。
47. 菊谷 武：多職種連携で「食べる」を支える，多職種連携のためのセミナー，神奈川県横須賀市，2017年10月3日。
48. 田村文誉：食事外部観察評価，公益社団法人日本歯科衛生士会，東京都文京区，2017年10月8日。
49. 菊谷 武：「知ってほしい僕たちのこと～歯と入れ歯の話～」，入れ歯感謝デー市民公開講座，東

京都江東区，2017年10月8日。

50. 水上美樹，田中祐子：摂食嚥下訓練，日本歯科衛生士会認定歯科衛生士セミナー，東京都文京区，2017年10月8日，10月9日。
51. 水上美樹，田中祐子：問題解決力の実践，日本歯科衛生士会認定歯科衛生士セミナー，東京都文京区，2017年10月8日，10月9日。
52. 佐川敬一郎：野村病院における歯科介入の報告および効果検証，野村病院学会シンポジウム，東京都三鷹市，2017年10月14日。
53. 菊谷 武：「オーラルフレイルって知ってますか？—いつまでも楽しくお食事していただくために—」，8020 歯っぴい&健康フェスタ世田谷，東京都世田谷区，2017年10月15日。
54. 菊谷 武：「オーラルフレイルって知ってますか？」～いつまでもおいしく食べる方法お教えします～，市民公開講座，東京都小金井市，2017年10月18日。
55. 尾関麻衣子：栄養管理からオーラルフレイルを考える，西多摩歯科医師会 意見交換会，東京都青梅市，2017年10月19日。
56. 田村文誉：食べる機能の障害，小児歯科、歯科衛生科、保育科の三科で子どもの食を考える，神奈川県横浜市，2017年10月20日。
57. 菊谷 武：高齢者の栄養管理について，「臨床栄養ケアマネジメント論」「臨床栄養ケアマネジメント実習」特別授業，東京都千代田区，2017年10月20日。
58. 須田牧夫：第2回安全に食べるための総合的アプローチ～摂食嚥下障害者への対応方法とは～，学校法人北斗文化学園 特定非営利活動アイケアネット 産学連携地域包括ケア推進プロジェクト研修会，北海道札幌市，2017年10月21日。
59. 須田牧夫：ご存知ですか？ 口の環境が影響する病気とは，らくら宮の森 口腔ケア研修会，北海道札幌市，2017年10月22日。
60. 菊谷 武：第6回在宅歯科医療研修会，滋賀県近江八幡市，2017年10月22日。
61. 菊谷 武：「知っていますかオーラルフレイル—口腔機能の低下とその対応—」，安佐歯科医師会主催講演会，広島県広島市，2017年10月24日。
62. 菊谷 武：「食」を支える地域づくり～摂食・嚥下機能障害を支援する～，在宅医療・介護連携推進協議会，東京都武蔵野市，2017年10月26日。
63. 菊谷 武：口から食べることの重要性～「食」から考える高齢者の健康と幸せ～，CareTEX One in 横浜 専門セミナー，神奈川県横浜市，2017年11月1日。
64. 菊谷 武：在宅で管理栄養士に望む栄養指導のあり方，第8回摂食・嚥下リハビリテーションと栄養ケアセミナー 摂食嚥下障害のリスク管理と栄養指導の実践，東京都千代田区，2017年11月4日。
65. 菊谷 武：地域における食支援—なにをどう食べるかを地域で共有するために—，群馬県歯科医師会・老年歯科医学会群馬支部，群馬県前橋市，2017年11月5日。
66. 有友たかね：口腔衛生管理～嚥下障害のある患者への口腔ケア～，斎藤病院院内研修会，東京都府中市，2017年11月16日。
67. 水上美樹：食べる力を考える—見えない危険に気付くために—，東京都南多摩保健所平成29年度障害者歯科保健研修会，東京都多摩市，2017年11月16日。
68. 菊谷 武：府中市摂食・嚥下専門相談について，東京都府中市，2017年11月16日。
69. 尾関麻衣子：在宅栄養指導に必要な知識と技術 ～口腔機能から見た嚥下・咀嚼評価による指導の実際～，日本臨床栄養協会 セミナー，東京都世田谷区，2017年11月18日。
70. 水上美樹：摂食嚥下障害に対する訓練法，徳島県歯科衛生士会認定研修，徳島県徳島市，2017年

11月19日.

71. 佐川敬一朗：多摩地域における食支援推進に向けての取り組み，北多摩北部病病連携会議，東京都小平市，2017年11月20日.
72. 菊谷 武：「噛むこと・食べる機能を知る～乳幼児から高齢者までの食支援のポイント～」，給食施設管理講習会，東京都品川区，2017年11月20日.
73. 田村文誉：離乳食について，平成29年度東社協乳児部会乳児院研修会，東京都小平市，2017年11月21日.
74. 菊谷 武：「口腔ケア」，平成29年度回復期リハビリテーション看護師認定コース 第11期，東京都港区，2017年11月23日.
75. 須田牧夫：高齢者への歯科対応、素朴な疑問？ ～開業医に求められている高齢者への対応とは～，愛知県日本歯科大学校友会学術講演会，愛知県名古屋市，2017年11月25日.
76. 菊谷 武：『地域で食べるを支えるということ—食の情報を地域でどのように共有するのか？—』，香川県摂食・嚥下障害研究会 第15回講演会，香川県高松市，2017年11月26日.
77. 高島良代：発達障害のコミュニケーションについて，江戸川区立小岩第二中学校特別支援学級講演会，東京都江戸川区，2017年11月29日.
78. 田村文誉：子どもの在宅歯科医療～行ってみよう、やってみよう～ 2. 在宅で行う摂食嚥下の支援，子どものための在宅歯科医療セミナー 第4回多摩小児在宅歯科医療連携ネット（たましよ歯ネット）研修会，東京都国分寺市，2017年11月30日.
79. 菊谷 武：地域で“食べる”を支えるということ～在宅食支援からみえてきたこと～，岡山県委託事業 要介護高齢者の低栄養を防ぐための医師・歯科医師と管理栄養士による口腔栄養関連サービスの推進公開セミナー，岡山県岡山市，2017年12月3日.
80. 新藤広基：日野市において療養現場の変化に合わせて介入継続できた摂食嚥下リハビリテーション症例，日野市ST勉強会，東京都日野市，2017年12月4日.
81. 田村文誉：子どもの口腔機能を育むために，小児摂食機能研究会、昭和大学准教授・講師会新年会講演会，東京都文京区（2017年12月4日），東京都港区（2018年1月16日）.
82. 菊谷 武：「地域で考える摂食嚥下機能支援」，平成29年度摂食嚥下機能支援連絡会シンポジウム，東京都調布市，2017年12月7日.
83. 菊谷 武：歯科医学教育 up to date③「地域包括ケアシステムにおける歯科医師の役割—なにを、どのように伝えるのか？—」，第8回歯科医学教育者のためのワークショップ，千葉県千葉市，2017年12月8日.
84. 須田牧夫：第3回安全に食べるための総合的アプローチ～摂食嚥下障害者への対応方法とは～，学校法人北斗文化学園 特定非営利活動イケアネット 産学連携地域包括ケア推進プロジェクト研修会，北海道札幌市，2017年12月9日.
85. 菊谷 武：「増える歯科難民を救う」—トップランナーが語る訪問診療のコツとツボ—，愛知学院大学歯学部同窓会 平成29年度ポストグラデュエートコース，愛知県名古屋市，2017年12月10日.
86. 田村文誉：摂食嚥下機能を理解し「子どもの食べ方」を支援しよう，平成29年度乳幼児歯科保健事業従事者研修会（調布市福祉健康部健康推進課），東京都調布市，2017年12月11日.
87. 菊谷 武：平成29年度品川福祉カレッジ 口腔機能向上・ケア講座ステップアップ講座，東京都品川区，2017年12月12日.
88. 菊谷 武：平成29年度日本歯科大学学内校友会東京支部特別講演，東京都千代田区，2017年12月14日.

89. 菊谷 武：平成 29 年度介護予防ケアマネジメント研修，東京都中央区，2017 年 12 月 14 日。
90. 菊谷 武：『地域における食支援―何をどう食べるかを共有するために―』，第 5 回豊田市在宅医療シンポジウム，愛知県豊田市，2017 年 12 月 16 日。
91. 菊谷 武：地域で支える高齢者の「食」～多職種連携と食形態の共有，平成 29 年度摂食嚥下機能支援基盤整備「摂食嚥下機能支援研修会」，東京都府中市，2017 年 12 月 18 日。
92. 尾関麻衣子：嘔む・飲み込むが 困難な人の食事，小金井市介護職員現任研修，東京都小金井市，2017 年 12 月 21 日。
93. 田村文誉：食べる機能の支援，平成 29 年度特別支援学校における歯・口の健康づくり研修会，東京都文京区，2018 年 1 月 10 日。
94. 田村文誉：食べる機能の発達～自分の手で食べられるようになるまで～，公益社団法人東京都麻布赤坂歯科医師会，東京都港区，2018 年 1 月 16 日。
95. 田村文誉：摂食・嚥下障害児への支援，地域母子保健 5「地域栄養活動～妊産婦から子ども～」，東京都港区，2018 年 1 月 18 日。
96. 菊谷 武：『オーラルフレイルって知っていますか？―何を診て、どう対応するのか？―』，平成 29 年度口腔保健指導者研修会，岐阜県岐阜市，2018 年 1 月 18 日。
97. 菊谷 武：「多職種連携による食支援について」，多職種連携による研修会，熊本県天草市，2018 年 1 月 20 日。
98. 菊谷 武：「他職種でつなげる食支援について」，在宅歯科従事者研修事業，熊本県熊本市，2018 年 1 月 21 日。
99. 新藤広基：完全経口移行が可能となった脳出血後遺症胃瘻患者への摂食嚥下リハビリテーション症例，平成 29 年度中野区在宅療養（摂食・嚥下機能）支援事業事例検討会，東京都中野区，2018 年 1 月 23 日。
100. 須田牧夫：「命を狙う誤嚥性肺炎」その予防と対策法とは，サンシティみなとみらい east 口腔ケア研修会，神奈川県横浜市，2018 年 1 月 24 日。
101. 須田牧夫：高齢者の摂食嚥下機能支援～在宅療養者の食べる、飲み込むを支援する～，平成 29 年度 摂食嚥下機能支援基盤整備研修会，東京都福生市，2018 年 1 月 25 日。
102. 尾関麻衣子：在宅患者に対する栄養指導，杉並区歯科保健医療センター スタッフ研修会，東京都杉並区，2018 年 1 月 25 日。
103. 田村文誉：子どもの食べる機能の発達，摂食機能発達支援講習会（藤沢市），神奈川県藤沢市，2018 年 1 月 26 日。
104. 菊谷 武：「地域で“食べる”を支えるということ」～食の情報を地域でどのように共有するのか～，在宅医療・介護連携講演会，三重県熊野市，2018 年 1 月 26 日。
105. 菊谷 武：いつまでも口からおいしく食べるために～怪しい？食のメカニズムを知り対応する～，船橋市主催無料講演会，千葉県船橋市，2018 年 1 月 27 日。
106. 菊谷 武：摂食嚥下にかかわるテーマ，名古屋掖済会病院 NST 講演会，愛知県名古屋市，2018 年 1 月 29 日。
107. 田村文誉：呼吸障害のある新生児から乳幼児の摂食嚥下障害，多摩新生児懇話会講演会，東京都立川市，2018 年 1 月 30 日。
108. 菊谷 武：「多職種による事例検討会」，北区摂食嚥下機能評価医・リハビリテーションチーム養成フォローアップ研修会，東京都北区，2018 年 1 月 30 日。
109. 菊谷 武：「高齢者における摂食嚥下機能維持のための支援について」，平成 29 年度福祉施設栄養士研修会，宮城県仙台市，2018 年 1 月 30 日。

110. 菊谷 武：「お家に行こう！—お家に行って行う事、お家に行く前に行う事—」，平成 29 年度東京都 8020 運動推進特別事業在宅歯科医療研修医会③，東京都小金井市，2018 年 2 月 2 日。
111. 田村文誉：食べる機能発達に遅れや問題のあるお子さんへの対応，乳幼児や障がい児への摂食・嚥下指導について（保護者向け），鹿児島県大島郡伊仙町，2018 年 2 月 3 日。
112. 田村文誉：食べる機能の発達と障害，乳幼児や障がい児への摂食・嚥下指導について（専門職向け），鹿児島県大島郡伊仙町，2018 年 2 月 4 日。
113. 菊谷 武：歯科と認知症，港区緩和ケア講習会，東京都港区，2018 年 2 月 7 日。
114. 菊谷 武：「知っていますか？オーラルフレイル～元気のもとは、お口から～」，オーラルフレイル研修会，静岡県浜松市，2018 年 2 月 12 日。
115. 須田牧夫：認知症の方への摂食嚥下機能支援，平成 29 年度 摂食嚥下機能支援事例検討会，東京都福生市，2018 年 2 月 15 日。
116. 菊谷 武：「摂食・嚥下」，平成 29 年度第 3 回研修会，熊本県熊本市，2018 年 2 月 17 日。
117. 菊谷 武：オーラルフレイル普及にかかる研修会，山梨県甲府市，2018 年 2 月 18 日。
118. 尾関麻衣子：地域で食べるを支える～クリニックにおける外来・訪問栄養指導について～，さいたま市保健所 給食従事者研修会，埼玉県さいたま市，2018 年 2 月 20 日。
119. 田村文誉：口腔機能の発達をふまえた乳幼児の食べる機能を育てる保健指導，乳幼児期の歯科・栄養・保健指導従事者研修会（熊本県有明保健所），熊本県玉名市，2018 年 2 月 23 日。
120. 菊谷 武：高齢者の口腔機能の向上支援，口腔機能向上指導者養成講座，東京都新宿区，2018 年 2 月 23 日。
121. 田村文誉：障がい児者の摂食嚥下障害について，平成 29 年度障がい児（者）の口腔ケア地域リーダー育成事業研修会，熊本県熊本市，2018 年 2 月 24 日。
122. 須田牧夫：“命を狙う誤嚥性肺炎”その予防と対策法とは，マゼラン葉山一色口腔ケア研修会，神奈川県葉山町，2018 年 2 月 24 日。
123. 菊谷 武：学術・障害者歯科診療・在宅歯科診療合同講習会，大阪府堺市，2018 年 2 月 24 日。
124. 新藤広基：嚥下内視鏡検査（VE）と嚥下造影検査（VF）について，介護老人保健施設みんなの笑顔勉強会，東京都練馬区，2018 年 2 月 27 日。
125. 菊谷 武：「必修！これから歯科はオーラルフレイル」，8020 推進地域活動研修会，静岡県浜松市，2018 年 3 月 1 日。
126. 佐川敬一郎：地域における食支援を推進させる取組み，第 22 回神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会，神奈川県相模原市，2018 年 3 月 4 日。
127. 菊谷 武：「知っていますか？オーラルフレイル—地域で取り組む口腔機能低下対策—」，市民講演会，北海道旭川市，2018 年 3 月 4 日。
128. 佐川敬一郎：嚥下調整食に関する情報提供，第 4 回鹿沼地区の在宅医療と介護を考える会，栃木県鹿沼市，2018 年 3 月 7 日。
129. 新藤広基：摂食嚥下機能障害とは，さやま園摂食嚥下勉強会，東京都東村山市，2018 年 3 月 13 日。
130. 菊谷 武：「認知症に対する歯科医療とは」，軽度認知障害支援歯科医・歯科衛生士認定講習会，大阪府大阪市，2018 年 3 月 18 日。
131. 佐川敬一郎：在宅において管理栄養士と連携して関わった食支援の取組み，武蔵野赤十字病院 NST 勉強会，東京都武蔵野市，2018 年 3 月 20 日。

1. 所属構成員等

講 師 西脇 恵子
医 療 職 員 高島 良代, 橋本 久美

2. 研究テーマ

- 1) コミュニケーション障害患者のリハビリテーション Speech and language therapy in communication disorders.
- 2) 高次脳機能障害患者の社会復帰支援 Social problem for person with traumatic brain injury and their significant others.
- 3) 構音障害患者の舌運動の疲労 Speech-related tongue fatigue in patients with speech sound disorders.
- 4) 自閉症を伴うダウン症児のコミュニケーション障害 Communication disorder in children with Autism and Down syndrome.
- 5) 自閉症児の表情表出 Facial expression in Autism.
- 6) 特別支援教育における言語聴覚士の役割 The role of speech therapist in special needs education.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

- 1) アメリカ・レッドランズ大学のマイケル・グロハー教授による、摂食・嚥下障害コースの受講及び研究打ち合わせ。食道期の嚥下症例についてのプレゼンテーションと討論。2017年5月14日～5月19日。
- 2) 千葉県で開催された言語聴覚病理学における、アジア環太平洋の国際学会である 10th Asia Pacific Conference of Speech, language and Hearing の学術大会の Domestic 委員として学会の運営に協力した。
- 3) 中国の言語聴覚士たちと失語症に関する教科書の共同執筆を行った。(来年度発行予定)

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著 書

記載事項なし

B. 原 著

記載事項なし

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 高島良代（分担執筆）：知的特別支援学校における知的障害教育外部専門員としての取り組み，186-190，水上美樹，橋本久美，磯田友子，田村文誉，菊谷 武，デンタルダイヤモンド，2017.
2. 橋本久美（単独執筆）：住み慣れた街で生きるを支援する，176-181，デンタルダイヤモンド，2017.

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 高島良代，橋本久美，西脇恵子：特別支援学校中学部での知的障害教育外部専門員としての取り組み，<http://www.c-linkage.co.jp/jaslht2016/data/program160525.pdf>.（第 18 回日本言語聴覚学会，島根，2017.06.23-24）
2. 橋本久美，高島良代，西脇恵子：特別支援学校との連携—4 年間の活動の経過と課題—，<http://www.c-linkage.co.jp/jaslht2016/data/program160525.pdf>.（第 18 回日本言語聴覚学会，島根，2017.06.23-24）
3. Nishiwaki K, Takashima F, Hashimoto K : Support Group for patients with oral cancer, 10th Asia Pacific Conference of Speech, language and Hearing, 168, 2017.

G. 講 演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 西脇恵子：リハビリテーションを視点とした言語聴覚士と歯科領域との連携（顎顔面補綴領域における多職種連携），第 34 回日本顎顔面補綴学会，教育講演，東京，2017 年 6 月 3 日.
2. 西脇恵子：社会的行動障害に対する対応，東京都総合高次脳機能障害研究会，教育講演，東京，2017 年 8 月 6 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 西脇恵子：できるケア：摂食嚥下障害における対応，日本老人保健施設大会，松山市，2017 年 7 月 26 日.
2. 西脇恵子：災害リハと言語聴覚士，千葉県言語聴覚士会主催災害研修会，千葉市，2017 年 8 月 2 日.
3. 西脇恵子：子どもの摂食嚥下障害のリハビリテーションにおけるコミュニケーション機能，子ども摂食嚥下研修会，東京，2017 年 11 月 9 日.
4. 高島良代：発達障害のコミュニケーションについて，江戸川区立小岩第二中学校特別支援学級講演会，東京都江戸川区，2017 年 11 月 29 日.